2021
講義要綱
SYLLABUS

北翔大学　生涯スポーツ学部　4年次

HOKUSHO UNIVERSITY
School of lifelong sport

令和３年度　北翔大学・北翔大学短期大学部　学事日程

月		火		水		木		金		土		日		備考
						4／1		4／2		4／3		4／4		
4／5		4／6	在学生 オリエンテーション	4／7	入学式	4／8	オリエンテーション	4／9	オリエンテーション	4／10		4／11		教科書Web販売(～４月下旬)
4／12	①	4／13	①	4／14	①	4／15	①	4／16	①	4／17		4／18		教育学科養護教諭コース３年次 養護実習：４/13～５/７
4／19	②	4／20	②	4／21	②	4／22	②	4／23	②	4／24		4／25		
4／26	③	4／27	③	4／28	③	4／29	昭和の日	4／30	7/22の振替休日	5／1		5／2		
5／3	憲法記念日	5／4	みどりの日	5／5	こどもの日	5／6	③	5／7	③	5／8		5／9		スポーツ教育学科･教育学科音楽コース･芸術学科４年次 教育実習Ⅰ・Ⅱ(中･高)　５月～10月
5／10	④	5／11	④	5／12	④	5／13	④	5／14	④	5／15		5／16		
5／17	⑤	5／18	⑤	5／19	⑤	5／20	⑤	5／21	⑤	5／22		5／23		こども学科２年次 教育実習：５/17～６/４
5／24	⑥	5／25	⑥	5／26	⑥	5／27	⑥	5／28	⑥	5／29		5／30		
5／31	⑦	6／1	⑦	6／2	⑦	6／3	⑦	6／4	⑦	6／5		6／6		
6／7	⑧	6／8	⑧	6／9	⑧	6／10	⑧	6／11	⑧	6／12		6／13		
6／14	⑨	6／15	⑨	6／16	⑨	6／17	⑨	6／18	⑨	6／19		6／20		
6／21	⑩	6／22	⑩	6／23	⑩	6／24	⑩	6／25	⑩	6／26		6／27		健康福祉学科(介護)２年次 介護基礎実習：６月下旬
6／28	⑪	6／29	⑪	6／30	⑪	7／1	⑪	7／2	⑪	7／3		7／4		教育学科養護教諭コース２年次 看護学臨床実習：７月～９月
7／5	⑫	7／6	⑫	7／7	⑫	7／8	⑫	7／9	⑫	7／10		7／11		
7／12	⑬	7／13	⑬	7／14	⑬	7／15	⑬	7／16	⑬	7／17		7／18		
7／19	⑭	7／20	⑭	7／21	⑭	7／22	⑭海の日	7／23	⑭スポーツの日	7／24		7／25		
7／26	⑮	7／27	⑮	7／28	⑮	7／29	⑮	7／30	⑮	7／31		8／1		こども学科２年次 保育実習Ⅰ・Ⅱ(保育所)：８月～９月
8／2	補講・試験日（月）	8／3	補講・試験日（火）	8／4	補講・試験日（水）	8／5	補講・試験日（木）	8／6	補講・試験日（金）	8／7		8／8	山の日	心理カウンセリング学科４年次 精神保健福祉援助実習：８月～９月
8／9	振替休日(山の日)	8／10		8／11		8／12		8／13		8／14		8／15		心理カウンセリング学科３年次 心理実習：８月～９月
8／16		8／17		8／18		8／19		8／20		8／21		8／22		教育学科４年次 保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ： ８/17～８/30
8／23		8／24		8／25		8／26		8／27		8／28		8／29		教育学科３年次 教育実習Ⅰ(幼･小)：
8／30		8／31		9／1		9／2		9／3		9／4		9／5	創立記念日	幼稚園８/23～９/10 小学校８月中旬～９月中旬
9／6		9／7		9／8		9／9		9／10		9／11		9／12		健康福祉学科(介護)３年次 介護実習Ⅱ：８/17～９/24
9／13		9／14		9／15		9／16		9／17		9／18		9／19		健康福祉(他)３年次･健康福祉(介)４年次 相談援助実習：８/16～９/17
9／20	敬老の日	9／21		9／22	オリエンテーション	9／23	秋分の日	9／24	大学祭準備	9／25	大学祭	9／26		教科書Web販売(～10月中旬)
9／27	①	9／28	①	9／29	①	9／30	① 前学期学位記授与式	10／1	①	10／2		10／3		こども学科２年次 保育実習Ⅰ(施設)：９月～12月
10／4	②	10／5	②	10／6	②	10／7	②	10／8	②	10／9		10／10		
10／11	③	10／12	③	10／13	③	10／14	③	10／15	③	10／16		10／17		
10／18	④	10／19	④	10／20	④	10／21	④	10／22	④	10／23		10／24		
10／25	⑤	10／26	⑤	10／27	⑤	10／28	⑤	10／29	⑤	10／30		10／31		
11／1	⑥	11／2	⑥	11／3	文化の日	11／4	⑥	11／5	⑥	11／6		11／7		健康福祉学科(介護)４年次 訪問介護実習：11月上旬
11／8	⑦	11／9	⑦	11／10	⑥	11／11	⑦	11／12	⑦	11／13		11／14		
11／15	⑧	11／16	⑧	11／17	⑦	11／18	⑧	11／19	⑧	11／20		11／21		
11／22	⑨	11／23	⑨勤労感謝の日	11／24	⑧	11／25	⑨	11／26	⑨	11／27		11／28		
11／29	⑩	11／30	⑩	12／1	⑨	12／2	⑩	12／3	⑩	12／4		12／5		
12／6	⑪	12／7	⑪	12／8	⑩	12／9	⑪	12／10	⑪	12／11		12／12		
12／13	⑫	12／14	⑫	12／15	⑪	12／16	⑫	12／17	⑫	12／18		12／19		
12／20	⑬	12／21	⑬	12／22	⑫	12／23	⑬	12／24	⑬	12／25		12／26		
12／27		12／28		12／29		12／30		12／31		1／1	元日	1／2		
1／3		1／4		1／5		1／6		1／7	7/23の振替休日	1／8		1／9		
1／10	成人の日	1／11	11/23の振替休日	1／12	⑬	1／13	⑭	1／14	⑭	1／15		1／16		
1／17	⑭	1／18	⑭	1／19	⑭	1／20	⑮	1／21	⑮	1／22		1／23		
1／24	⑮	1／25	⑮	1／26	⑮	1／27	補講・試験日（木）	1／28	補講・試験日（金）	1／29		1／30		心理カウンセリング学科３年次 精神保健福祉援助実習：２月～３月
1／31	補講・試験日（月）	2／1	補講・試験日（火）	2／2	補講・試験日（水）	2／3		2／4		2／5		2／6		心理カウンセリング学科２年次 心理実習：２月～３月
2／7		2／8		2／9		2／10		2／11	建国記念の日	2／12		2／13		教育学科３年次 保育実習Ⅰ(保育所)：２/７～２/19
2／14		2／15		2／16		2／17		2／18		2／19		2／20		健康福祉学科(介護)２年次 介護実習Ⅰ：２/14～３/11
2／21		2／22		2／23	天皇誕生日	2／24		2／25		2／26		2／27		
2／28		3／1		3／2		3／3		3／4		3／5		3／6		教育学科３年次 保育実習Ⅰ(施設)：２/28～３/12
3／7		3／8		3／9		3／10		3／11		3／12		3／13		
3／14		3／15		3／16		3／17		3／18	学位記授与式	3／19		3／20		
3／21	春分の日	3／22		3／23		3／24		3／25		3／26		3／27		
3／28		3／29		3／30		3／31								

※　今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況により、変更となる場合があります。

講義要綱 SYLLABUS の利用にあたって

この冊子は、2021（令和３）年度に開講される授業科目の概要が記載されています。
授業の概要や到達目標をよく確認して授業を選択する参考にしてください。シラバスには、授業の担当教員名や、単位数等の他、次のような事項が記載されています。シラバスに記載された内容をよく理解し、授業に臨んでください。

・授業のねらい
・到達目標
・授業計画
・準備学習の内容（事前・事後の学習）
・使用するテキスト（教科書）や、参考書
・成績評価の方法（どのような基準で評価が決まるのか）
・質問への対応（連絡先など）
・その他（履修に当たっての特に注意すべき事項が記載されています）

《学習形態》

「授業の計画」各回の右欄に書かれている記号は学習形態を表し、授業の進め方、指導方法を表しています。

学習形態の用語説明

記号	学習形態	概要説明
A	講義	
B	演習	
C	実験	
D	実習	
E	実技	
F	プレゼンテーション	学生が、指示されたテーマや課題について、グループもしくは単独で調査・学習・実習等を行い、そのことについて他の受講生や教員等聴衆の前で発表する学習方法である。発表形式は、パワーポイントなどの情報機器を活用したものやポスターセッションなど様々である。発表後は、聴衆からの質疑に応答する。〇〇発表会、〇〇報告会等を含む。
G	レポートライティング	与えられたテーマや課題について調査や実験等を行い、調べた事実やデータを分析して、その過程と結果・考察などを文書にまとめる。あるいは、授業で学習したことを自分の言葉でまとめたり、自分の経験したことや体験したことなどについて、感じたことを理由とともにまとめるなど、知識や経験を自分の力で文書で表現する学習方法である。
H	グループワーク	教員から与えられた課題に対して、小グループ（３人から６人程度が一般的）内で共同作業やコミュニケーションをとりながら学修を進めていく協同学習である。コミュニケーション能力、メンバーが役割を分担した上で相互に協力・協働して課題に取り組む姿勢、自分の意見を主張する力と他人の意見を受け入れる力、決められた時間内に課題を解決して答えを出す力などを養成し、学生が社会に出てから活動するために必要な力を身につける。

I	ディベート	ある公的な主題について異なる立場（肯定側と否定側）に分かれ議論することを通して、第三者を客観的な証拠に基づいて説得するコミュニケーション形態（討論をする形式）である。 ディベートを通して学生の思考が活性化され、自分の意見や問題意識を持ったり、より論理的な考え方ができるようになるといった効果が期待される。
J	事例研究	ある事例について調査・研究し、問題の所在・原因を究明し、どのように対処するか解決策を見出す学習活動である。指導者は、学生の個別または集団研究に対して、研究の場を設定し、具体的な助言をしたり、事例を紹介したり、研究をコーディネートしたりして、学生の研究を導く立場で関わる。
K	ワークシート	授業前あるいは授業中に、学習の課題や問題等を提示した用紙を用い、調べたことや理解したことを確認し、理解の深化を促す学習方法である。また、講義の内容を書き込めるように準備された用紙等で理解の確認を行ったり、ワークシートに記入された個々の考えをもとに、ペアやグループワークで話し合い、学習内容を共有することもある。
L	ふり返り	授業の途中や終了時に、理解したことや分からなかったこと等について確認を行い、理解の促進を図る学習方法である。確認の方法としては、振り返りシート等の記入、ペア・グループワークによる意見の共有などがある。
M	フィールドワーク	社会調査における情報収集技法の一つである。研究者が直接現場へ出かけ一定期間滞在し、人々の生活に密着しながら出来事を観察・記述し、その空間の社会的構造をリアルに分析しようとするものである。 アクティブ・ラーニングの視点から、本学での「フィールドワーク」とは教員が提示したテーマや課題等について、学生が直接現場へ出かけ実地調査や研究等を通して、より深く分析し課題解決に向かうことをねらいとした学習形態である。
N	ロールプレイ	現実に起こる場面を想定して、参加者がそれぞれに与えられた役割を演じ（ロールプレイ）、疑似体験（シミュレート）をする学習方法である。技術・技能の修得や、現実的なケースにおける多面的な見方、態度・姿勢の涵養、他人の立場への理解などを促進する際に効果的である。

教 育 課 程 表

生涯スポーツ学部　全学共通科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数 4年次 前	年次・単位数 4年次 後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
就業力養成科目								
キャリア演習Ⅲ	演習	1		キャリア支援センター長				1
キャリア演習Ⅳ	演習・講義		1	キャリア支援センター長				2

生涯スポーツ学部　スポーツ教育学科　発展科目

科目名	授業形態	年次・単位数 4年次 前	年次・単位数 4年次 後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
社会と生活に関する科目群								
リカレント教育論	講義	2		佐々木　邦子		教育文化学部共通科目	[ス][健][教][芸][心]社会教育主事_選必	3
社会教育計画	講義	2		藤川　和信	○		[ス][健][教][芸][心]社会教育主事_必修	4
社会教育課題研究	講義	2		宗本　和博	○		[ス][健][教][芸][心]社会教育主事_必修	5
社会教育課題演習	演習		2	阿部　豊	○		[ス][健][教][芸][心]社会教育主事_必修	6
社会教育施設論	講義	2		阿部　豊	○		[ス][健][教][芸][心]社会教育主事_選必	7

生涯スポーツ学部　健康福祉学科　発展科目

科目名	授業形態	年次・単位数 4年次 前	年次・単位数 4年次 後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
心身・健康に関する科目群								
スポーツ施設管理論	講義	2		上田　知行		スポーツ教育学科専門科目 集中講義	[ス]認定トレーニング指導者_必修	8
社会と生活に関する科目群								
リカレント教育論	講義	2		佐々木　邦子		教育文化学部共通科目	[ス][健][教][芸][心]社会教育主事_選必	3
社会教育計画	講義	2		藤川　和信	○		[ス][健][教][芸][心]社会教育主事_必修	4
社会教育課題研究	講義	2		宗本　和博	○		[ス][健][教][芸][心]社会教育主事_必修	5
社会教育課題演習	演習		2	阿部　豊	○		[ス][健][教][芸][心]社会教育主事_必修	6
社会教育施設論	講義	2		阿部　豊	○		[ス][健][教][芸][心]社会教育主事_選必	7

《免許・資格欄表記》［ス］：スポーツ教育学科、［健］：健康福祉学科、［教］：教育学科、［芸］：芸術学科、［心］：心理カウンセリング学科
実務経験欄：実務経験のある教員等による授業科目に該当する科目

生涯スポーツ学部　学部共通科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数 4年次 前	年次・単位数 4年次 後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
介護予防論	講義	2		小田史郎				9
				小坂井留美				
				吉田修大				
スポーツ社会学	講義	2		植田俊			[ス]中・高1種(保健体育)_選択、 公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修、 レク・コーディネーター_必修 [健]公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修	10
就業力特別演習Ⅱ	演習	1		阿部豊		公務員		11
				梶晴美		介護福祉士		12
				小坂井留美		健康運動指導士		13
				佐藤至英		特別支援		14
				久野真知子		社会福祉士		15
				森靖明	○	教職(保健体育)		16
				吉田真		AT		17
就業力特別演習Ⅲ	演習		1	井出幸二郎	○	JATI		18
				岩本希		社会福祉士		19
				大宮真一		ジュニアスポーツ指導員	[ス]ジュニアスポーツ指導員_選必 [健]ジュニアスポーツ指導員_必修	20
				髙田真吾		健康運動指導士		21
				竹田千春		介護福祉士		22
				吉田昌弘		AT		23
				黒田裕太				
				山本敬三				

スポーツ教育学科　学科専門科目　コース共通科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数 4年次 前	後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
スポーツ施設管理論	講義	2		上田知行		発展科目 集中講義	[ス]認定トレーニング指導者_必修	25
運動処方演習	演習	2		上田知行		健康福祉学科同時展開	[ス]健康運動指導士_必修	26
				沖田孝一				
				小坂井留美				
スポーツマーケティング	講義		2	永谷稔			[ス]アシスタントマネージャー_必修	27
生涯スポーツ指導演習(サッカー)	演習	2		安部久貴	○		[ス]中・高1種(保健体育)_選択	28
生涯スポーツ(障がい者スポーツ)	実技		1	松井由紀夫		健康福祉学科同時展開	[ス][健]障がい者スポ指導員_必修	29
				齊藤雄大				
専門演習Ⅲ	演習	②		担当教員		集中講義		30
卒業研究	演習		②	担当教員		集中講義		31
知的障害教育Ⅱ	講義	2		瀧澤聡		教育学科同時展開	[ス][教]特支1種_必修	32
肢体不自由教育Ⅱ	講義	2		石川大	○	教育学科同時展開	[ス][教]特支1種_必修	33
特別支援教育実習事後指導	講義		1	松井由紀夫	○	集中講義	[ス]特支1種_必修	34
				瀧澤聡				
特別支援教育実習	実習	2	2	松井由紀夫	○	集中講義	[ス]特支1種_必修	35
				瀧澤聡				

スポーツ教育学科　学科専門科目　スポーツ教育コース専門科目

科目名	授業形態	年次・単位数 4年次 前	後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
スポーツ教育学	講義	②		竹田唯史				36
スポーツ教育演習B	演習	2		森靖明	○			37
学校教育研究B	演習	2		渡部峻				38

スポーツ教育学科　学科専門科目　スポーツトレーナーコース専門科目

科目名	授業形態	年次・単位数 4年次 前	後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
健康産業施設実習	実習	2		上田知行		健康福祉学科同時展開 一部集中講義	[ス]健康運動指導士_必修、 JPSUスポーツトレーナー_選必	39
				髙田真吾				
アスレティックトレーニング指導実習	実習	← 4 →		吉田真		集中講義	[ス]JPSUスポーツトレーナー_選必、 アスレティックトレーナー_選必	40
				吉田昌弘				

スポーツ教育学科　学科専門科目　競技スポーツコース専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数 4年次 前	年次・単位数 4年次 後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
競技スポーツコーチング演習Ⅱ	演習	2		畝中智志		集中講義		41
				井上和佳奈				
				上田知行				
				菊地はるひ				
				小峯秋二				
				竹内雅明				
				永谷稔				
				廣田修平				
				横山茜理				
				渡部峻				

生涯スポーツ学部　スポーツ教育学科　教職に関する科目

科目名	授業形態	年次・単位数 4年次 前	年次・単位数 4年次 後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
教育実習事後指導	講義		①	森靖明	○	一部集中講義	[ス]中・高1種(保健体育)_必修	43
				瀧澤聡	○			
				西村貴之				
				松井由紀夫	○			
教育実習Ⅰ	実習	4	4	西村貴之		集中講義	[ス]中1種(保健体育)_必修、高1種(保健体育)_選必、JPSUスポーツトレーナー_選必、ジュニアスポーツ指導員_選必	44
				森靖明				
教育実習Ⅱ	実習	2	2	西村貴之		集中講義	[ス]高1種(保健体育)_選必、JPSUスポーツトレーナー_選必	45
				森靖明				
教職実践演習(中・高)	講義・演習		②	西村貴之			[ス]中・高1種(保健体育)_必修	46
				瀧澤聡				
				松井由紀夫				
				森靖明				

健康福祉学科　学科専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数 4年次 前	年次・単位数 4年次 後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
生涯スポーツ(障がい者スポーツ)	実技		1	松井 由紀夫		スポーツ教育学科同時展開	[健][ス]障がい者スポーツ指導員_必修	47
				齊藤 雄大				
運動処方演習	演習	2		上田 知行		スポーツ教育学科同時展開	[ス]健康運動指導士_必修	48
				沖田 孝一				
				小坂井 留美				
介護実践管理論	講義	2		八巻 貴穂			[健]介護福祉士_選必	49
				干場 有理子	○			
				前田 顕	○			
現代社会と福祉Ⅰ	講義	2		伊藤 新一郎		心理カウンセリング学科同時展開	[健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必 [心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必	50
現代社会と福祉Ⅱ	講義		2	伊藤 新一郎		心理カウンセリング学科同時展開	[健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必 [心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必	51
社会福祉行政・福祉計画論	講義	2		林 恭裕		心理カウンセリング学科同時展開	[健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必 [心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必	52
相談援助演習Ⅲ	演習	2		久野 真知子		介護福祉士養成課程	[健]社会福祉士_必修	53
相談援助演習Ⅳ	演習	2		久野 真知子		介護福祉士養成課程	[健]社会福祉士_必修	54
				高野 和美				
相談援助演習Ⅴ	演習		2	久野 真知子		介護福祉士養成課程	[健]社会福祉士_必修	55
				高野 和美				
相談援助実習指導Ⅱ	演習	←4→		岩本 希		介護福祉士養成課程	[健]社会福祉士_必修	56
				黒澤 直子				
				久野 真知子				
相談援助実習	実習	←6→		黒澤 直子	○	介護福祉士養成課程 学外実習：180時間以上実施 集中講義	[健]社会福祉士_必修	57
				岩本 希				
				久野 真知子				
健康福祉専門職演習Ⅰ	演習	2		岩本 希		社会福祉士		58
				八巻 貴穂		介護福祉士		59
健康福祉専門職演習Ⅱ	演習		2	久野 真知子		社会福祉士		60
				梶 晴美		介護福祉士		61
健康産業施設実習	実習	2		上田 知行		スポーツ教育学科同時展開 一部集中講義	[ス]健康運動指導士_必修、JPSUスポーツトレーナー_選必	62
				髙田 真吾				
福祉実践実習	実習・演習	←2→		黒澤 直子		一部集中講義		63
				尾形 良子				
専門演習Ⅲ	演習	②		担当教員		集中講義		64
専門演習Ⅳ	演習		①	担当教員		集中講義		65
卒業研究	演習		2	担当教員		集中講義		66

健康福祉学科　学科専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数 4年次 前	年次・単位数 4年次 後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
介護実習指導Ⅱ	演習	←2		八巻貴穂		介護福祉士養成課程 3年次前学期から通年	[健]介護福祉士_必修	67
				古市孝義				
				小川好子				
介護実習指導Ⅲ	演習・実習		1	八巻貴穂		介護福祉士養成課程 訪問介護実習を含む一部集中講義	[健]介護福祉士_必修	68
				梶　晴美				
				竹田千春				
				古市孝義				
医療的ケア演習	演習	1		竹内美幸	○	介護福祉士養成課程 集中講義	[健]介護福祉士_必修	69

全学共通科目

科目名	キャリア演習Ⅲ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	キャリア支援センター長				
授業の目的 ねらい	本学では将来のキャリア形成の育成を目指して全学年をとおして体系的にキャリア教育科目を開講しています。本演習は、その中で実践教育に位置づけされます。就職活動中の民間企業希望者や福祉施設希望者、面接試験を控えた教員や公務員希望者を対象に開講します。演習では、グループディスカッションや模擬面接を通して「面接力」の向上を目指します。				
授業の目的 到達目標	(1)模擬面接・模擬グループディスカッションを通して柔軟性と状況把握力を養う。 (2)志望先に合格できる「面接力」を向上する。				

授業の計画		
第1回	【テーマ】模擬グループディスカッション(1) 【計画内容】与えられたテーマに沿ってグループディスカッションを行う。終了後、同グループ内で自己評価する。 【授業時間外の学修内容】「キャリア演習Ⅱ」の評価項目を整理し、自分の中で改善の努力をしたうえで参加のこと。	A・H・K
第2回	【テーマ】模擬グループディスカッション(2) 【計画内容】Aチーム・Bチームに分かれて、それぞれのグループディスカッションを評価する。その後、他グループを評価する。 【授業時間外の学修内容】前回の評価項目を整理し、自分の中で改善の努力をしたうえで参加のこと。	A・H・K
第3回	【テーマ】面接官ワーク(1) 【計画内容】受験者、面接官、評価者の3役を体験し、面接官、評価者の視点を養う。 【授業時間外の学修内容】鏡の前でイメージトレーニングをしたうえで臨むこと。	A・H・K
第4回	【テーマ】面接官ワーク(2) 【計画内容】受験者、面接官、評価者の3役を体験し、面接官、評価者の視点を養う。 【授業時間外の学修内容】鏡の前でイメージトレーニングをしたうえで臨むこと。	A・H・K
第5回	【テーマ】面接官ワーク(3) 【計画内容】受験者、面接官、評価者の3役を体験し、面接官、評価者の視点を養う。 【授業時間外の学修内容】鏡の前でイメージトレーニングをしたうえで臨むこと。	A・H・K
第6回	【テーマ】模擬グループディスカッション(3) 【計画内容】Aチーム・Bチームに分かれて、それぞれのグループディスカッションを評価する。その後、他グループを評価する。 【授業時間外の学修内容】前回の評価項目を整理し、自分の中で改善の努力をしたうえで参加のこと。	A・H・K
第7回	【テーマ】「面接力」とは何かを考える 【計画内容】第6回までの体験を通して、面接力に必要な視点を考える。 【授業時間外の学修内容】今までの振り返りを整理したうえで臨むこと。	A・H・K
第8回	【テーマ】面接官ワーク(4)/まとめ(課題提出) 【計画内容】まとめとして、面接官ワークを行い、面接の本質を実践的に理解する。 【授業時間外の学修内容】前回の視点を生かしたうえで臨むこと。	A・H・K

テキスト	プリントを使用する
参考書	講義時に説明する

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足			毎回		平時	

課題に関するフィードバックの方法	
実務経験と授業の関連	経験内容
	科目との関連
質問への対応	講義終了後、必要な質問は随時受けます。
資格	
その他	

科目名	キャリア演習Ⅳ	授業形態	演習・講義	単位数	1
教員名	キャリア支援センター長				
授業の目的 ねらい	本学では将来のキャリア形成の育成を目指して全学年をとおして体系的にキャリア教育科目を開講しています。本演習は、その中で総括科目にあたります。将来の進路決定の有無に関わらず、今後一生続く自らのキャリアを見つめる社会人としての視点を習得することを目指します。さらに、社会人1年目から活躍できるように「＋αの社会人力」を身につけ、応用力を養成することをねらいとします。				
授業の目的 到達目標	(1)社会人の視点を習得する。 (2)物事に対する俯瞰的視点を習得する。 (3)社会のルール、社会的行動への理解を深める。				

授業の計画		
第1回	【テーマ】一段上を行く社会人マナー(1) 【計画内容】できる社会人としてのビジネスマナー応用編。実践的デモンストレーションを交える。 【授業時間外の学修内容】「キャリア演習Ⅱ」でならったビジネスマナーを復習しておくこと。	A・H・K
第2回	【テーマ】一段上を行く社会人マナー(2) 【計画内容】できる社会人としてのビジネスマナー応用編。実践的デモンストレーションを交える。 【授業時間外の学修内容】「キャリア演習Ⅱ」でならったビジネスマナーを復習しておくこと。	A・H・K
第3回	【テーマ】私のキャリア観(1) 【計画内容】仕事や社会活動等で輝いている人の講演を聞くことで自分のキャリアに生かしていく。 【授業時間外の学修内容】講師の略歴を参考に事前に質問したい項目をまとめておく。	A・H・K
第4回	【テーマ】私のキャリア観(2) 【計画内容】仕事や社会活動等で輝いている人の講演を聞くことで自分のキャリアに生かしていく。 【授業時間外の学修内容】講師の略歴を参考に事前に質問したい項目をまとめておく。	A・H・K
第5回	【テーマ】働く人の法制度(1) 【計画内容】Q&A 形式でわかりやすく、「こうした場合は？」と起こりがちなトラブルに対応できる知識を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】仕事に就くときのルール、仕事をするときのルールについて考えておく。	A・H・K
第6回	【テーマ】働く人の法制度(2) 【計画内容】Q&A 形式でわかりやすく、「こうした場合は？」と起こりがちなトラブルに対応できる知識を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】仕事に就くときのルール、仕事をするときのルールについて考えておく。	A・H・K
第7回	【テーマ】私のキャリア観(3) 【計画内容】仕事や社会活動等で輝いている人の講演を聞くことで自分のキャリアに生かしていく。 【授業時間外の学修内容】講師の略歴を参考に事前に質問したい項目をまとめておく。	A・H・K
第8回	【テーマ】私のキャリア観(4) 【計画内容】仕事や社会活動等で輝いている人の講演を聞くことで自分のキャリアに生かしていく。 【授業時間外の学修内容】講師の略歴を参考に事前に質問したい項目をまとめておく。	A・H・K

テキスト	プリントを使用する
参考書	講義時に説明する

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			50%		50%	
補足			毎回		平時	

課題に関するフィードバックの方法		
実務経験と授業の関連	経験内容	
	科目との関連	
質問への対応	講義終了後、必要な質問は随時受けます。	
資格		
その他	ニュースを見る、新聞を読むという社会人の基本は継続すること。	

発　展　科　目

科目名	リカレント教育論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	佐々木　邦子				

授業の目的	ねらい	リカレント教育とは、成人が学習の場に戻り再び職業へ回帰することをいう。生涯学習の範疇の一つであり、成人が学習する場合の重要な要素として位置づけられている。欧米では、主に職業的な向上を目指す教育として実施されてきたが、現在では満足感、達成感など精神的な面での効果も明らかになっている。そこで、本講義では、リカレント教育の日本での状況と、先進事例として、アクティブラーニングにより、学生の主体的で、かつ動的な学習を推進する。
	到達目標	(1)リカレント教育に対する OECD、ユネスコ、ILO など国際機関の取り扱いを理解する。 (2)学習社会が進んでも Education by education の実態があることを理解する。 (3)リカレント教育先進国の事例を学習する。 (4)日本でリカレント教育が発達しなかった理由について、日本の雇用慣行との関連を理解する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】講義のガイダンス、生涯学習、成人教育、継続教育、リカレント教育の基本的な考え方の説明 【計画内容】生涯学習やリカレント教育についての基礎になる点を話し、講義の目標と進め方を説明する。また講義の進行として、アクティブ・ラーニングを取り入れて実施することを確認する。 【授業時間外の学修内容】生涯学習の範疇である成人教育、継続教育について予習をしておくこと。	A	第9回	【テーマ】フランスにおけるリカレント教育 【計画内容】アソシアシオンやアニマトゥールなど、戦後から現在までのフランスでは、生涯学習や社会教育に関する事象が社会的にも進展がみられる。このような情勢で、成人教育やリカレント教育がどのように関わるのかについて学習する。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	B
	第2回	【テーマ】日本における生涯学習の成り立ちについての確認 【計画内容】「生涯学習論」を履修していたか否かで講義内容も変更をせざるを得ないため、学習した内容を復習し、本論のリカレント教育論につなげていく。 【授業時間外の学修内容】事前配付のテキストを必ず読んでくること。	A	第10回	【テーマ】スウェーデン社会と学校教育制度の概観 【計画内容】スウェーデンでは、1960年代から70年代にかけての高等教育を求める人々の急激な増大が、成人教育や継続教育に関して大きな影響を及ぼした。その関連性について学習する。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	B
	第3回	【テーマ】リカレント教育が日本で進行しなかった社会的背景 【計画内容】1960年代後半に我が国に紹介された生涯学習の一つとしてリカレント教育があるが、当時の我が国の雇用慣行とそぐわなかったことがリカレント教育が進展しなかった主な理由としてとらえられている。その詳細について、我が国特有の雇用慣行や労働市場の状況を学習する。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A	第11回	【テーマ】スウェーデンにおける教育政策としてのリカレント教育 【計画内容】1970年代から20年間ほどスウェーデンでは、リカレント教育を教育政策として展開した。そのような国はスウェーデンのみであるため、リカレント教育に関するかつての制度と、その制度が消失した現代にどのようにつながっているかを学習する。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	B
	第4回	【テーマ】生涯学習政策の変化によって着目度が進んだリカレント教育 【計画内容】我が国ではリカレント教育に耳目が集まったのは1990年代になってからである。そのような社会情勢とリカレント教育進展の関連に言及する。そのうえで、生涯学習政策の転換によってリカレント教育に進展の兆しが出てきたことを確認する。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A	第12回	【テーマ】ドイツの社会と学校教育制度　学生の発表 【計画内容】ドイツでは、初等教育・中等教育に他国と異なる大きな特徴がある。10歳で大学進学の決定、ギムナジウム、デュアルシステムなど、特殊なドイツの学校教育制度を確認する。 【授業時間外の学修内容】学生に課題としてレジュメ作成を課す。	F
	第5回	【テーマ】OECD・ユネスコにおけるリカレント教育の展開 【計画内容】ヨーロッパでは、リカレント教育は生涯学習の中でも職業的な向上を目指す学習としてとらえられることが多い。その背景には、OECD やユネスコでのリカレント教育に対する位置づけにあると考えられるため、両者の生涯学習やリカレント教育に対する概念を確認する。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A	第13回	【テーマ】ドイツにおけるリカレント教育 【計画内容】ドイツの学校制度が特殊であり、特に中等教育と成人教育が密接に絡んでいることは、成人教育を学ぶ者としては、理解をしておかなければならない点である。 【授業時間外の学修内容】学生に課題としてレジュメ作成を課す。	F
	第6回	【テーマ】ILO の有給教育休暇がリカレント教育の進展に与える影響の考察 【計画内容】ILO では労働者の教育機会を目的として1974年に有給教育休暇条約を採択した。それ以降多くの加盟国は条約を批准し、国内での成人教育や継続教育の推進に取り組んでいる。日本は、その条約について未批准である。これらのことから、この条約とリカレント教育の関連性について学習する。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A	第14回	【テーマ】リカレント教育に対する諸外国と日本の違い、その背景 【計画内容】リカレント教育に対する諸外国と日本の違いを確認し、その背景について学習する。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	B
	第7回	【テーマ】中間まとめとしての論点提示の上、考察 【計画内容】中間的なまとめとして前半に学習した内容について整理する。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	B	第15回	【テーマ】生涯学習やリカレント教育の社会的進展過程、課題を確認 【計画内容】生涯学習とリカレント教育が進展した経緯と、さらに起こっている課題を確認し、生涯学習社会に対する理解を深める。 【授業時間外の学修内容】これまでの復習をし、使用したプリントを持参する。	A
	第8回	【テーマ】フランス社会と学校教育制度の概観 【計画内容】学校制度と成人教育は深くかかわるため、事前にフランスの制度を確認する。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	B			

テキスト	プリントを使用します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	60%		25%		15%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	時々行うグループワークでは、グループの代表者から発表してもらい、それについて補足説明などをする。	
実務経験と授業の関連	経験内容	
	科目との関連	
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。	
資格	[ス][健][教][芸][心]社会教育主事_選必	
その他	シラバスをよく読んで、真剣に最後まで学習しようという人に履修していただきたいと思います。 提示の一か国について、各自で調べレジュメを作成、それを発表する形式をとり、アクティブ・ラーニングに対応させますので、積極的に臨んでください。	

科目名	社会教育計画	授業形態	講義	単位数	2
教員名	藤川　和信				
授業の目的 ねらい	生涯学習社会の構築をめざし、地域の振興策を考える上で社会教育が果たす役割は大変重要なものがあります。社会教育を進める際にその指針となるのが社会教育計画です。社会教育計画を策定するための基本的な考え方を踏まえ、様々な事例を検討しながら計画策定の方法について学びます。授業形態については「講義」を中心に行いますが、内容に応じて「グループ討議」や「演習」などを取り入れながら進めていきます。				
授業の目的 到達目標	(1)社会教育計画策定の基礎原理、策定手順に関する理論的枠組みが説明できる。 (2)社会教育における「学習プログラム」を企画することができる。 (3)自らすすんで課題を発見し、解決する姿勢をもつことができる。				

授業の計画					
第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】今年度の授業計画について説明し、各自受講するにあたっての目的意識を明確にします。各自の目標をワークシートに記入してもらいます。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】社会教育計画の意義と役割 【計画内容】社会教育計画の意義と役割について学びます。 【授業時間外の学修内容】本時の授業範囲を予習し、疑問点をまとめておくこと。	A
第2回	【テーマ】生涯学習社会における社会教育 【計画内容】生涯学習社会の構築に向けて、社会教育の果たす役割及び期待、課題などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】本時の授業範囲を予習し、疑問点をまとめておくこと。	A	第10回	【テーマ】社会教育計画策定の視点と方法 【計画内容】社会教育計画を策定する上での視点、方法、評価などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】本時の授業範囲を予習し、疑問点をまとめておくこと。	A
第3回	【テーマ】社会教育の対象の理解と組織化 【計画内容】学習者の特性を理解するとともに、学習集団のプロセスとその支援の方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】本時の授業範囲を予習し、疑問点をまとめておくこと。	A	第11回	【テーマ】社会教育計画策定の手順 【計画内容】社会教育計画策定の手順と各様式との関連について学びます。 【授業時間外の学修内容】本時の授業範囲を予習し、疑問点をまとめておくこと。	A
第4回	【テーマ】社会教育調査とデータの活用1 【計画内容】社会教育調査の定義と種類、意義と方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の授業終了時に示した課題についてレポートを作成すること。	A・G	第12回	【テーマ】社会教育事業計画の実際1 【計画内容】社会教育事業計画の必要性と計画の構造について学びます。 【授業時間外の学修内容】本時の授業範囲を予習し、疑問点をまとめておくこと。	A・B・H
第5回	【テーマ】社会教育調査とデータの活用2 【計画内容】社会教育調査の企画、調査票の作成、データの分析、活用方法などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】本時の授業範囲を予習し、疑問点をまとめておくこと。	A	第13回	【テーマ】社会教育事業計画の実際2 【計画内容】各種事業の企画、学習プログラム、展開プログラムの作成について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。	A・B・F・G
第6回	【テーマ】学習情報提供、学習相談1 【計画内容】学習情報提供とは何かについて、また学習情報提供の方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】本時の授業範囲を予習し、疑問点をまとめておくこと。	A	第14回	【テーマ】演習「青少年と社会教育計画」 【計画内容】青少年を対象とした事業計画と学習プログラムについて考察します。学習プログラムを作成します。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A・B・F・G
第7回	【テーマ】学習情報提供、学習相談2 【計画内容】学習相談の意義について、また学習相談と相談員について学びます。 【授業時間外の学修内容】本時の授業範囲を予習し、疑問点をまとめておくこと。	A	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまで学んできたことを振り返り、社会教育計画策定の意義などについて再確認します。 【授業時間外の学修内容】これまでの講義の内容や取り組みをまとめておくこと。	A・L
第8回	【テーマ】社会教育の広報、公聴 【計画内容】社会教育における広報の意義と実際、公聴の意義と実際について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。	A・G			

テキスト	プリントを使用します
参考書	プリントを使用します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	30%		30%		40%	
補足			レポート		出欠等	

課題に関するフィードバックの方法	レポート返却時に学んだ内容を振り返りながら講評をします。		
実務経験と授業の関連	該当	経験内容	社会教育主事
		科目との関連	道内市町村の社会教育計画策定に関する指導助言の経験をもとに指導を行う。
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。		
資格	[ス][健][教][芸][心]社会教育主事_必修		
その他	第16回に最終評価のためのテストを行います。 毎時間の出席を原則とします。講義計画及び展開方法等を変更する場合があります。		

科目名	社会教育課題研究	授業形態	講義	単位数	2
教員名	宗本　和博				

授業の目的	ねらい	現在、コロナ禍によって、従来からの社会教育活動はそのままの形で展開できなくなっています。このような状況下においてどのように社会教育活動活動を展開していくのか、またコロナ後の社会教育をどうしていくのか、それらが新たな課題となっています。本講では、それらを含めて社会教育課題としながら、その中から幾つかのテーマを選びそれについてできるだけ深く掘り下げ、考えていきます。
	到達目標	(1)多様で広範な社会教育課題についてそれらのとらえ方、特に考え方について理解する。 (2)社会教育を推進する上で、その中心的な役割を担う社会教育主事の在り方について理解する。

授業の計画					
第1回	【テーマ】講義のガイダンス。「社会教育課題」の概要を学びます。 【計画内容】社会教育課題の概要を理解するするとともに、授業のねらいや到達目標、授業計画、授業形態について把握します。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】社会教育施設の在り方と課題 【計画内容】これからの社会教育施設の在り方とは何か。社会教育施設の現状を押さえつつ、その大切さや必要性について、生涯学習推進の観点から、特に社会教育推進の立場から多面的に学びます。 【授業時間外の学修内容】事前に配付(配信)した資料をよく読んでおくこと	A・H
第2回	【テーマ】現代的課題と社会的課題 【計画内容】「現代的課題」や新しい社会的課題について、それらをどうとらえ、特にどう考えたら良いか、その時代的な背景を押さえながら学びます。 【授業時間外の学修内容】事前に配付(配信)した資料を読んで現代的な課題や新たな社会課題について考えておくこと	A・H	第10回	【テーマ】社会教育課題としての青少年教育 【計画内容】青少年にとって、自然体験、ボランティア活動などの社会体験、国際交流など、様々な体験活動がなぜ必要なのか、「新しい日常」における「社会教育課題としての青少年教育」について学びます。 【授業時間外の学修内容】事前に配付(配信)した資料をよく読んでおくこと	A・H
第3回	【テーマ】社会教育の機能や役割に果たす社会教育主事の在り方 【計画内容】社会教育主事の資質と能力とは何か。その役割や在り方などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】事前に配付(配信)した資料を読んでおくこと	A・K・H	第11回	【テーマ】社会教育課題としての少子・高齢問題 【計画内容】資料に基づき、少子・高齢問題の現状やその歴史について学びます。それらの問題について一人一人の意見交流をとおして学びを深めます。 【授業時間外の学修内容】事前に配付(配信)した資料をよく読んでおくこと	A・H
第4回	【テーマ】社会教育現場における「危機管理」 【計画内容】社会教育を展開する現場における事故や災害にどう対処するのか。そのための「危機管理」の考え方やその意義について学びます。 【授業時間外の学修内容】事前配付(配信)した資料を読んでおくこと	A・H	第12回	【テーマ】社会教育課題としての男女共同参画社会 【計画内容】変化の時代にあって、地域力を高めるためには、女性も男性も活躍できる地域社会の形成が大切です。特に女性の力を発揮できる社会はどうあらねばならないかについて学びます。 【授業時間外の学修内容】事前に配付(配信)した資料をよく読んでおくこと	A・H
第5回	【テーマ】社会教育における「連携・協力」と「ネットワーク」 【計画内容】社会教育を推進していくうえで、地域や学校、各種機関、各団体との連携・協力は必須です。その「連携・協力」の意味や意義に踏まえ、どのようにネットワーク化していくのかを学びます。 【授業時間外の学修内容】事前に配付(配信)した資料をよく読んでおくこと	A・F	第13回	【テーマ】社会教育と家庭教育支援 【計画内容】社会教育として、家庭教育支援の在り方はどうしたら良いのか。何ができるのか、資料を見ながらグループ討議で学びを深めます。 【授業時間外の学修内容】事前に配付(配信)した資料をよく読んでおくこと	A・H
第6回	【テーマ】社会教育課題としての情報社会 【計画内容】社会教育を推進するにあたり、情報化の課題(特に情報通信技術の課題等)について学び、情報社会における社会教育実践の在り方について考究します。 【授業時間外の学修内容】事前に配付(配信)した資料をよく読んでおくこと	A・H	第14回	【テーマ】社会教育と地域づくり 【計画内容】配付資料から地域づくりの実践と課題について学びます。コロナ下における地域づくりの実践事例を学びます。 【授業時間外の学修内容】事前に配付(配信)した資料、「わが町のまちづくり」のレポート発表	F
第7回	【テーマ】社会教育課題としての環境保全問題 【計画内容】社会教育を推進する上で環境保全問題について広く学ぶことは大切です。そのためには身近な環境問題だけでなく日本規模、世界規模の視点で環境問題をどう考えていった良いかを資料を基に学びます。 【授業時間外の学修内容】事前に配付(配信)した資料をよく読んでおくこと	A・H	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまで学んできたことを振り返り、社会教育における多様な課題について整理します。 【授業時間外の学修内容】これまでの講義内容をまとめておくこと	L
第8回	【テーマ】社会教育課題としての健康問題 【計画内容】例えば社会教育計画を策定する上で「健康とは何か」という押さえは大切です。生涯スポーツ、生涯学習を推進する上での「健康」の意義、特に「生死の課題と健康」について学びます。 【授業時間外の学修内容】事前に配付(配信)した資料をよく読んでおくこと	A・H			

テキスト	講義時に説明します
参考書	プリントを使用する

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			50%		35%	15%
補足			レポート等		関心意欲等	ワークシート等

課題に関するフィードバックの方法	毎回、授業の内容についてのレポート課題をだします。それについて評価し、その積み上げに基づいて評定します。		
実務経験と授業の関連	該当	経験内容	中学校教諭、社会教育主事等
		科目との関連	社会教育行政での経験を生かした指導を行う。
質問への対応	初回講義時に説明します。口頭の質問には口頭もしくは文書で、文書での質問には文書で回答します。 E-Mail:munemoto3@nifty.com		
資格	[ス][健][教][芸][心]社会教育主事_必修		
その他			

科目名	社会教育課題演習	授業形態	演習	単位数	2
教員名	阿部　豊				
授業の目的 ねらい	社会教育における学習者である成人や青少年の学習課題を明らかにし、社会教育施設の見学や、事業の企画・立案などの演習をとおして、学習目標の設定や学習内容の組み立て方について理解を深めるとともに、社会教育主事任用資格に必要なすべての科目にも着目しながら総合的に学習する。				
授業の目的 到達目標	(1)社会教育の意義と歴史的展開について理解する。 (2)社会教育行政、社会教育職員について理解する。 (3)社会教育における学習課題について理解する。 (4)演習をとおして、学習目標の設定や学習内容の組み立て方について理解する。				

授業の計画					
第1回	【テーマ】「生涯学習・社会教育」とは 【計画内容】生涯学習・社会教育の理念や意義、歴史的展開について学ぶとともに、授業のねらいや到達目標、授業の計画について把握する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを一読し、授業で習得したい事項、興味・関心のある事項について整理しておく。	A	第9回	【テーマ】社会教育施設における事業の実際(3) 【計画内容】社会教育施設の見学をとおして、社会教育施設の事業を理解する。(北海道立図書館で実施) 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に基づき、社会教育施設(図書館)の役割と機能について考えておく。	A・B
第2回	【テーマ】生涯学習・社会教育関連法令 【計画内容】生涯学習・社会教育に関連する法令について体系的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に基づき、関連法令について考えておく。	A	第10回	【テーマ】レクリエーションの企画と実際 【計画内容】レクリエーションの企画について、演習をとおして体験的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に基づき、アイスブレイクの展開方法などについて考えておく。	A・B
第3回	【テーマ】社会教育行政と社会教育職員 【計画内容】社会教育行政の意義と社会教育職員の職種や役割について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に基づき、社会教育職員について考えておく。	A	第11回	【テーマ】社会教育事業の企画・立案(1) 【計画内容】第5回から第10回までの授業を基に、青少年を対象とした事業の企画・立案を行う。この授業では、特に、青少年の課題を明らかにする。 【授業時間外の学修内容】青少年の課題が明らかになるデータ等、資料を準備しておく。	A・B
第4回	【テーマ】社会教育施設の意義と連携 【計画内容】公民館、図書館、博物館、青少年教育施設等の社会教育施設の役割・機能、各施設間の連携の意義について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に基づき、各種社会教育施設の特色について考えておく。	A	第12回	【テーマ】社会教育事業の企画・立案(2) 【計画内容】第11回の授業を基に、青少年の課題を解決するプログラムについて学習する。 【授業時間外の学修内容】事前に配付する青少年対象のプログラム例について理解しておく。	A・B
第5回	【テーマ】社会教育における学習課題(1) 【計画内容】社会の変化に伴う様々な問題点に着目し、成人や青少年の学習課題の変遷について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に基づき、社会の急激な変化とその対応について考えておく。	A・H	第13回	【テーマ】社会教育事業の企画・立案(3) 【計画内容】プログラムの目的を達成するための効果的・効率的な展開方法について学習する。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料(青少年教育施設の主催事業の例)に基づき、事業の展開方法について考えておく。	A・B
第6回	【テーマ】社会教育における学習課題(2) 【計画内容】青少年を取り巻く社会環境等の変化から生じる様々な問題点を踏まえ、青少年の学習課題を明らかにする。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に基づき、青少年の体力や学力、基本的生活習慣などについて考えておく。	A・H	第14回	【テーマ】社会教育事業の企画・立案(4) 【計画内容】プログラムの実施に必要な教材や講師、学習の展開方法など、より具体的な企画・立案を行う。 【授業時間外の学修内容】事業の実施に必要な連携機関・団体、講師陣について考えておく。	B
第7回	【テーマ】社会教育施設における事業の実際(1) 【計画内容】社会教育施設の見学をとおして、社会教育施設の事業を理解する。(北海道立近代美術館で実施) 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に基づき、社会教育施設(美術館)の役割と機能について考えておく。	A・B	第15回	【テーマ】社会教育事業の企画・立案(5) 【計画内容】演習をとおして企画・立案した事業について、相互に発表・交流を行い、社会教育事業の在り方について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事業の必要性や目的、特色などをまとめ、効率的なプレゼンテーションとなるよう準備しておく。	F
第8回	【テーマ】社会教育施設における事業の実際(2) 【計画内容】社会教育施設の見学をとおして、社会教育施設の事業を理解する。(北海道博物館で実施) 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に基づき、社会教育施設(博物館)の役割と機能について考えておく。	A・B			

テキスト	プリントを使用する
参考書	講義時に説明する

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足			レポート等		授業内課題等	

課題に関するフィードバックの方法	「社会教育事業の企画・立案」(1)～(4)の授業で作成する課題について、その(5)の最終授業(第15回授業)で相互に発表・交流を行います。

実務経験と授業の関連	該当	経験内容	北海道教育委員会社会教育主事、同生涯学習課長、国立社会教育研修所専門職員等を歴任
		科目との関連	上記の経験を生かして、生涯学習・社会教育関連法令、社会教育事業の企画・立案に関する内容を教授する。

質問への対応	講義時、講義後、その他可能な機会で直接対応します。また、Teams のチャットでも対応します。
資格	[ス][健][教][芸][心]社会教育主事_必修
その他	履修の学生を2班に分けて、11月13日か20日のいずれかの日程で、北海道立近代美術館及び北海道博物館を見学します。

科目名	社会教育施設論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	阿部　豊				
授業の目的 ねらい	社会教育施設とは、社会教育に関する事業をとおして、市民に教育的･文化的サービスを提供することを主な目的とした公の教育施設である。具体的には、公民館、図書館、博物館、青少年教育施設がこれにあたる。まず、これらが設置された経緯、役割と機能について理解した上で、施設をめぐる課題と新たな動向を探り、これからの社会教育施設の在り方について学習する。				
授業の目的 到達目標	(1)社会教育施設が設置された経緯について理解する。 (2)社会教育施設の特徴、役割と機能について理解する。 (3)社会教育施設の課題を踏まえ、これからの施設の在り方について理解する。				

授業の計画					
第1回	【テーマ】社会教育施設の概要 【計画内容】社会教育施設の概要を理解するとともに、授業のねらいや到達目標、計画について把握する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを一読し、授業で習得したい事項、興味･関心のある事項について整理しておく。	A	第9回	【テーマ】青少年教育施設の法的根拠と役割･機能 【計画内容】青少年教育施設に関連する法令、青少年教育施設の役割と機能について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に基づき、青少年教育施設の役割について考えておく。	A
第2回	【テーマ】社会教育施設の設置の経緯 【計画内容】社会教育施設が設置された経緯や社会的背景、学習者の変遷について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に基づき、社会教育施設が設置された経緯について考えておく。	A･H	第10回	【テーマ】青少年期の課題と青少年教育施設の支援 【計画内容】青少年期、特に現代の少年期の課題を理解し、事例研究から、青少年教育施設における体験活動機会の提供について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に基づき、体験活動の意義について考えておく。	A･J
第3回	【テーマ】公民館の法的根拠と役割･機能 【計画内容】公民館に関連する法令、公民館の役割と機能について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に基づき、公民館に関連する法令について考えておく。	A	第11回	【テーマ】生涯学習関連施設の種類と役割 【計画内容】社会教育施設以外の学習施設について理解し、その役割について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に基づき、生涯学習関連施設の種類について考えておく。	A
第4回	【テーマ】公民館の課題と経営 【計画内容】公民館の現状と課題を理解し、公民館の経営方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に基づき、公民館の課題について考えておく。	A	第12回	【テーマ】社会教育施設職員と施設経営 【計画内容】社会教育施設職員の職種と役割について理解し、施設経営の在り方について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に基づき、社会教育施設職員の職種と役割について考えておく。	A
第5回	【テーマ】図書館の法的根拠と役割･機能 【計画内容】図書館に関連する法令、図書館の役割と機能について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に基づき、図書館に関連する法令について考えておく。	A	第13回	【テーマ】施設ボランティアの活動 【計画内容】社会教育施設でのボランティア活動の事例から、施設ボランティアの在り方について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に基づき、社会教育施設でのボランティア活動について考えておく。	A･H･J
第6回	【テーマ】図書館の課題と新たな動向 【計画内容】図書館の現状と課題を理解し、事例研究から、先導的な図書館活動について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に基づき、図書館の新たな動向について考えておく。	A･J	第14回	【テーマ】社会教育施設の管理運営に関する諸課題 【計画内容】施設の管理運営には多様な形態があることを理解し、事例研究から、それぞれの課題と今後の方向性について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に基づき、施設の多様な管理運営について考えておく。	A･J
第7回	【テーマ】博物館の法的根拠と役割･機能 【計画内容】博物館に関連する法令、博物館の種類、それらの役割と機能について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に基づき、博物館の種類について考えておく。	A	第15回	【テーマ】情報化社会と社会教育施設 【計画内容】情報通信技術の発達について理解し、社会教育施設の情報化について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に基づき、社会教育施設の情報化について考えておく。	A
第8回	【テーマ】博物館の課題と新たな動向 【計画内容】博物館の現状と課題を理解し、事例研究から、先導的な博物館の経営について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に基づき、博物館の新たな動向について考えておく。	A･J			

テキスト	プリントを使用する
参考書	講義時に説明する

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足			レポート等		授業内課題等	

課題に関するフィードバックの方法	課題(レポート)は、社会教育施設の課題と課題解決の方策等についてテーマを設定して考えてもらう。履修者全体のテーマの傾向や、優れた課題解決の方策などについて、ポータルサイトでフィードバックする。

実務経験と授業の関連	該当	経験内容	北海道教育委員会社会教育主事、国立青少年教育施設所長･北海道立図書館長等を歴任
		科目との関連	上記の経験を生かして、公民館、図書館、青少年教育施設の経営等に関する内容を教授する。

質問への対応	講義時、講義後、その他可能な機会で直接対応します。また、Teams のチャットでも対応します。(質問することによって課題を解決し、社会教育施設に対する理解をさらに深めてください。)
資格	[ス][健][教][芸][心]社会教育主事_選必
その他	成績評価については、社会教育に対する関心を高め、社会教育施設への理解を深めてもらうため、毎回の授業を重視します。(毎回、授業内課題を提示し、評価した上で次回の授業でお返しします。)

科目名	スポーツ施設管理論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	上田　知行				
授業の目的 ねらい	生涯学習・生涯スポーツ社会を迎えた今日のわが国で、健全な社会生活を支えている各種の学習施設やスポーツ施設が担保すべき環境面での条件を理解する。具体的には各種の施設、設備、器具、屋内環境、運営面などについて学ぶ。				
授業の目的 到達目標	(1)生涯スポーツ施設の管理・運営に関する用語を理解する。 (2)生涯学習施設と生涯スポーツ施設管理者の業務内容を学習する。 (3)スポーツ施設のリスクマネジメントに関する内容を学習する。				

授業の計画					
第1回	【テーマ】日本のスポーツ施設の現状(公共)① 【計画内容】日本の公共スポーツ施設の現状について学ぶ 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】施設環境2 【計画内容】施設環境(光度)について学ぶ 【授業時間外の学修内容】事前に出された課題に取り組む。	A
第2回	【テーマ】日本のスポーツ施設の現状(公共)② 【計画内容】日本の公共スポーツ施設の現状について学ぶ 【授業時間外の学修内容】北海道内各地のスポーツ施設について資料を収集する。	A	第10回	【テーマ】顧客管理1 【計画内容】利用者の管理方法について学ぶ 【授業時間外の学修内容】事前に出された課題に取り組む。	A
第3回	【テーマ】日本のスポーツ施設の現状(民間)① 【計画内容】日本の民間スポーツ施設の現状について学ぶ 【授業時間外の学修内容】民間スポーツ施設についてあらかじめ調べておく。	A	第11回	【テーマ】顧客管理2 【計画内容】利用者の管理方法について学ぶ 【授業時間外の学修内容】事前に出された課題に取り組む。	A
第4回	【テーマ】日本のスポーツ施設の現状(民間)② 【計画内容】日本の民間スポーツ施設の現状について学ぶ 【授業時間外の学修内容】民間スポーツ施設についてあらかじめ調べておく。	A	第12回	【テーマ】施設管理・顧客管理・経営管理1 【計画内容】施設管理・顧客管理・経営管理について学ぶ 【授業時間外の学修内容】事前に出された課題に取り組む。	A
第5回	【テーマ】スポーツ施設の企画・計画・設計・施工・保守・管理・修理・運営 【計画内容】新しくスポーツ施設がつくられるまでの過程を述べる。その際に施設管理者が果たすべき任務を明らかにする。雨漏り、水濡れ、金属部分の劣化、配管の寿命などに応じた補修・塗装・取り換えほかを学習する。 【授業時間外の学修内容】事前に出された課題に取り組む。	A	第13回	【テーマ】施設管理・顧客管理・経営管理2 【計画内容】施設管理・顧客管理・経営管理について学ぶ 【授業時間外の学修内容】事前に出された課題に取り組む。	A
第6回	【テーマ】施設のリスクマネジメント 【計画内容】施設のリスクマネジメントについて学ぶ 【授業時間外の学修内容】事前に出された課題に取り組む。	A	第14回	【テーマ】施設管理・顧客管理・経営管理3 【計画内容】施設管理・顧客管理・経営管理について学ぶ 【授業時間外の学修内容】事前に出された課題に取り組む。	A
第7回	【テーマ】利用者に対するリスクマネジメント 【計画内容】利用者のリスクマネジメントについて学ぶ 【授業時間外の学修内容】事前に出された課題に取り組む。	A	第15回	【テーマ】まとめ:スポーツ施設の近未来 【計画内容】生涯スポーツ社会において生涯スポーツ施設が完備しているべき要素を再認識する。 【授業時間外の学修内容】15回分の全講義内容をまとめたうえでリポートとして清書する。	G・L
第8回	【テーマ】施設環境1 【計画内容】施設環境(温度・湿度)について学ぶ 【授業時間外の学修内容】事前に出された課題に取り組む。	A			

テキスト	講義時に説明します
参考書	講義時に提示します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	30%		30%		40%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	
実務経験と授業の関連	経験内容
	科目との関連
質問への対応	その都度、直接対応します。
資格	[ス]認定トレーニング指導者_必修
その他	届け出のない欠席が複数回ある場合には、単位取得が困難になります。

学部共通科目

科目名	介護予防論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	小田　史郎、小坂井　留美、吉田　修大				

授業の目的	ねらい	今後の超高齢社会に対応していくためには、高齢者がサービスの受け手ではなく、担い手として活躍できるような社会への転換を図っていくことが求められている。本講義では、住民主体の介護予防事業を支援できるように、介護予防を推進していくための知識や技術を習得することを目的とする。
	到達目標	(1)住民が主体となった介護予防推進の重要性について理解する。 (2)介護予防リーダーについて理解し、介護予防に関する基礎的な知識を習得する。 (3)住民主体の介護予防実践例をもとに、効果的に進めるためのポイントについて理解する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション･介護予防リーダーとは？ 【計画内容】講義の展開予定について説明する。住民主体の介護予防が求められる背景、介護予防リーダーについて理解する。(小田史郎) 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んできてください。今回の講義内容を次回までに復習してきてください。	A･G	第9回	【テーマ】筋力増強トレーニング論(1) 【計画内容】筋力を増強するトレーニング方法について学ぶ。(小田史郎) 【授業時間外の学修内容】事前に配付するプリントを読んできてください。	B･G･H
	第2回	【テーマ】介護予防計画についての報告会 【計画内容】2年生が「介護予防実践演習」で作成した介護予防計画についての資料を読み、学びについて理解する。(小田史郎) 【授業時間外の学修内容】報告会の発表予稿集を読んできてください。	B	第10回	【テーマ】筋力増強トレーニング論(2) 【計画内容】筋力を増強するトレーニング方法について学ぶ。(小田史郎) 【授業時間外の学修内容】事前に配付するプリントを読んできてください。	B･G･H
	第3回	【テーマ】介護予防と老年学(1) 【計画内容】超高齢社会に関する人口統計学データを理解し、これらをもとに自分たちにできることを考える。(吉田修大) 【授業時間外の学修内容】事前に配付するプリントを読んできてください。	A･G･K	第11回	【テーマ】転倒予防トレーニング(1) 【計画内容】転倒予防のトレーニング法について学ぶ。(小坂井留美) 【授業時間外の学修内容】事前に配付するプリントを読んできてください。	B･G･H
	第4回	【テーマ】介護予防と老年学(2) 【計画内容】超高齢社会に関する人口統計学データを理解し、これらをもとに自分たちにできることを考える。(吉田修大) 【授業時間外の学修内容】事前に配付するプリントを読んできてください。	A･G･K	第12回	【テーマ】転倒予防トレーニング(2) 【計画内容】転倒予防のトレーニング法について学ぶ。(小坂井留美) 【授業時間外の学修内容】事前に配付するプリントを読んできてください。	B･G･H
	第5回	【テーマ】介護予防に必要な運動学(1) 【計画内容】運動器の機能向上プログラムに関する知識として筋の名称や働きを学ぶ。(小田史郎) 【授業時間外の学修内容】事前に配付するプリントを読んできてください。	A･G･K	第13回	【テーマ】口腔機能の向上(1) 【計画内容】口腔機能は何かを理解し、低下を予防するポイントやトレーニングについて学ぶ。(吉田修大･外部講師) 【授業時間外の学修内容】事前に配付するプリントを読んできてください。	A･B･G･H
	第6回	【テーマ】介護予防に必要な運動学(2) 【計画内容】運動器の機能向上プログラムに関する知識として姿勢の評価方法を学ぶ。(小田史郎) 【授業時間外の学修内容】事前に配付するプリントを読んできてください。	A･H	第14回	【テーマ】口腔機能の向上(2) 【計画内容】口腔機能は何かを理解し、低下を予防するポイントやトレーニングについて学ぶ。(吉田修大･外部講師) 【授業時間外の学修内容】事前に配付するプリントを読んできてください。	A･B･G･H
	第7回	【テーマ】老年症候群の早期発見(1) 【計画内容】介護予防のターゲットである老年症候群について学ぶ。(小坂井留美) 【授業時間外の学修内容】事前に配付するプリントを読んできてください。	A･G･K	第15回	【テーマ】学習のまとめ 【計画内容】これまで学んだことをまとめる。(小田史郎) 【授業時間外の学修内容】これまでの講義で配付された資料を読み返して復習する。	B･G･H
	第8回	【テーマ】老年症候群の早期発見(2) 【計画内容】老年症候群の早期発見のためのスクリーニングツールについて学ぶ。(小坂井留美) 【授業時間外の学修内容】事前に配付するプリントを読んできてください。	A･G･K			

テキスト	講義内で提示します
参考書	講義内で提示します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%		60%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	課題については、講義の中で講評を行います。		
実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	
質問への対応	講義全体についての質問は小田先生、それ以外の学習内容等についてはそれぞれの担当教員が対応します。		
資格			
その他			

科目名	スポーツ社会学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	植田　俊				

授業の目的	ねらい	本講義の目的は、現代スポーツを〈社会学〉の視点から捉えて理解することです。 スポーツは「個人の欲求」を根源とする活動だと言われていますが、それがいかに個人を超えた「社会」と深く結びつくことで存立しえているかを、現代スポーツをめぐる様々な事例・出来事・問題を題材にしながら学んでいきます。
	到達目標	(1)現代スポーツをめぐる様々な事例・出来事・問題があることを理解できる (2)現代スポーツを理解するための〈社会学〉の視点を獲得する (3)現代スポーツを〈社会学〉の視点をもとに自分なりに捉え理解できるようになる (4)自分がこれまで(ないしは現在も)取り組んできたスポーツを〈社会学〉の視点から反省できるようになる (5)自分の考えや意見を他者に向けて明確に示し、他者の意見と交流したり議論したりできるようになる

授業の計画					
第1回	【テーマ】本講義の目的・視点・学修内容と計画・学修目標について 【計画内容】現代スポーツを〈社会学〉の視点から捉え理解しようとする本講義の「目的」や社会学という「視点」について、また具体的な「学修内容と計画」および本講義を通じて目指す学修「目標」を共有します。合わせて、受講上の留意点や成績評価の基準等についてのガイダンスも行い、本講義の全体像を捉えてもらえるようにします。 【授業時間外の学修内容】【予習】〈社会学〉という学問に対してどのようなイメージを持っているか整理してノートにまとめておこう 【復習】授業ノートを読み返しながら、辞書などを活用して授業でお話した以外の〈社会学〉の捉え方や解説を調べて学び、この学問領域に対する多様な視点があることを知ろう	A	第9回	【テーマ】【経済】メガ・スポーツイベントは経済効果をもたらすのか？ 【計画内容】オリンピックやサッカーW杯を代表格とするメガ・スポーツイベントは、「経済効果をもたらす」ことを根拠に開催が正当化され支持されてきました。しかし、震災や病災に直面する日本では、その意義や目的が疑われ始めています。過去の日本で行われたオリンピックなどを題材として、スポーツが経済の世界とどのような関係を取り結んでいるかを考えます 【授業時間外の学修内容】【予習】「経済効果」とは何か、またどのようにして算定されるか、調べてみよう 【復習】2030札幌五輪の招致について、自分の考えをまとめて詳しく述べてみよう	A
第2回	【テーマ】【社会学理論】スポーツの社会学的理解とは何か？ 【計画内容】現代スポーツの社会学的研究の代表例や〈社会学〉の代表的理論を紹介しながら、〈社会学〉という学問の意義や議論の特徴などを理解します 【授業時間外の学修内容】【予習】社会学にはどのような理論があるか辞書や参考書等を活用して調べてみよう 【復習】本日学んだ〈社会学〉の理論(考え方)を用いて、現代スポーツにおける様々な問題を自分で調べて分析してみよう	A	第10回	【テーマ】【メディア】スポーツのイメージを作るのは誰か？ 【計画内容】私たちのスポーツの捉え方は、周囲からもたらされる様々な「情報」から大きな影響を受けています。特に、新聞・雑誌・インターネット等に代表される〈メディア〉は大きな力を持っています。私たちのスポーツ・イメージを方向づける「情報」の内容とその出所、発信者などについて考えます 【授業時間外の学修内容】【予習】ある日の新聞を開いて、スポーツに関する記事が全体の面積のどれくらいを占めているか測ってみよう 【復習】自分が行っている(過去に行っていた)スポーツ競技に関する情報提供が、何を通じてどの程度なされているかを調べて分析してみよう	A
第3回	【テーマ】【逸脱】スポーツの世界への没入と排除 【計画内容】スポーツの世界に参入し、選手・コーチ・スタッフなどとして位置を獲得するためには、スポーツの世界の論理(しきたり)を身につけて実践できるようにならなければいけません。その論理とは何か？を考えます 【授業時間外の学修内容】【予習】自分のスポーツ(競技)経験を振り返り、スポーツ以外の生活にはない独特のルールやしきたりがあったかどうかを考えてみよう 【復習】自分が経験してきたスポーツ競技以外の世界のルールやしきたりについて、参考書などで調べたり仲間とディスカッションしてみよう	A	第11回	【テーマ】【政治】「スポーツは政治と無関係」は理想か現実か？ 【計画内容】オリンピック憲章にある休戦協定に代表される、「スポーツは政治と無関係」という考えは、現実の実態をどのくらい反映した言葉であるのかを、オリンピックから地域社会の運動会などを事例にしながら考えます 【授業時間外の学修内容】【予習】各スポーツ種目の日本協会の会長や代表を誰が務めているか、調べてみよう 【復習】「スポーツは政治と無関係」は理想か現実化、自分の意見を詳しくまとめて述べてみよう	A
第4回	【テーマ】【暴力】スポーツの世界における〈暴力〉の扱われ方 【計画内容】格闘技など〈暴力〉的行為を競技構成に含むものから、サッカーやバスケットボールなどのプレー中に起こる〈暴力〉ーラフプレー、そして指導中に発生する〈暴力〉＝体罰などを事例として取り上げながら、スポーツ歴史を振り返りつつスポーツの存立と〈暴力〉との関係について考えます 【授業時間外の学修内容】【予習】現代スポーツにおける〈暴力〉が問題となった事例について調べてその出来事をまとめてみよう 【復習】スポーツにおける〈暴力〉と〈非暴力〉の線引きについて自分の考えをまとめてみよう	A	第12回	【テーマ】【開発】スポーツによる開発が地域社会にもたらす影響 【計画内容】年々肥大化するスポーツ(例:オリンピック、サッカーブロリーグ)は、巨大な環境改変を伴う施設を必要とします。我々がメディア等を通じて楽しんでいる、また自分自身が選手等として実践しているスポーツは、どのような開発の元で成り立ち、かつそれが誰のどんな生活へと影響を与えているのかを、自己反省的に考えます 【授業時間外の学修内容】【予習】サッカーJリーグのスタジアムがどこに、どれくらいの規模で作られているか調べてみよう 【復習】1972年の札幌五輪が札幌市に導いた開発について調べてみよう	A
第5回	【テーマ】【ジェンダー】スポーツにおける〈男性性〉と〈女性性〉 【計画内容】スポーツは歴史的に「男らしさ」が要求される世界であり、かつ「男らしさ」を象徴する世界です。その中における「女性」の位置付けや近年議論されているLGBTQ などを事例として取り上げ、スポーツにおける「性別」の問題を考えます 【授業時間外の学修内容】【予習】スポーツに「女性」が参入してきた歴史について調べてみよう 【復習】スポーツが浮かび上がらせる「性別」の事例について、自分で調べて詳しくまとめて論じてみよう	A	第13回	【テーマ】【コミュニティ】スポーツは人々を結ぶ紐帯となりえるか？ 【計画内容】近年、町内会や商店街などの、昔から地域社会の暮らしに根づいた組織や団体が衰退し、人々の繋がりが希薄化していると言われている中で、スポーツはその繋がりを取り戻す有効な手段の一つとして考えられてきました。果たして、スポーツは地域社会における人々の紐帯とどのような関係を持っているのかを考えます 【授業時間外の学修内容】【予習】自分が関わってきた町内会(子ども会)におけるスポーツ活動を思い出してまとめてみよう 【復習】地域社会の変化とスポーツ活動との関係について、あなたの考えを詳しく述べてみよう	A
第6回	【テーマ】【人種・民族】「黒人」は身体能力の優れた存在なのか？ 【計画内容】身体能力がものを言うスポーツの世界において、「黒人」＝身体能力の優れた人々という理解が一般化しています。果たしてこれは「本当」なのでしょうか？スポーツにおける「人種・民族」の問題を考えます 【授業時間外の学修内容】【予習】オリンピックにおける決勝戦出場選手の出身国を、各種目ごとに調べてまとめてみよう 【復習】スポーツは「人種」をどのように作り出し、反対に「人種」にとってスポーツはどのような場として位置付いているかを考えてみよう	A	第14回	【テーマ】【教育】スポーツは人間を成長させる手段か？ 【計画内容】「体を育てる」科目としての体育学習は、また課外活動((部活動)としてのスポーツ経験は、人々をどのように成長させると言えるだろうか？選手同士・指導者からの〈暴力〉の問題や薬物使用などの問題が連日取り上げられている中で、スポーツの教育的意味を考えます 【授業時間外の学修内容】【予習】メディア等で取り上げられた、部活動内で発生した問題について取り上げて詳しく調べてみよう 【復習】スポーツの教育的意義について、あなたの考えを詳しくまとめて述べてみよう	A
第7回	【テーマ】【階級】スポーツは富裕層の余暇なのか？ 【計画内容】スポーツは登場以来、常に「誰にも開かれたもの」ではありませんでした。歴史を紐解いてみると、それはいわゆる特権階級と呼ばれる層(階層・階級)の人々を中心に行われてきたものです。日本ではあまり馴染みのない(階級)概念ですが、世界史的発想をもとにそれとスポーツとの関係を考えます 【授業時間外の学修内容】【予習】スポーツの発展の歴史を調べてみよう 【復習】日本におけるスポーツの導入・普及・展開の歴史を調べてみよう	A	第15回	【テーマ】【現代スポーツ】社会学的視点からみる現代スポーツの諸相(授業のまとめ) 【計画内容】これまで学修してきた、〈社会学〉の視点からみる現代スポーツについて、その知見や学修内容をまとめるとともに、自分が現在最も関心を持つスポーツのテーマについて、社会学的視点から捉え直す 【授業時間外の学修内容】【予習】これまでの学修内容を、自分のノート等を読み直して振り返るとともに自分が現在最も関心のあるスポーツのテーマを考えておく 【復習】本授業で学修した内容を改めて振り返り、社会学的視点でスポーツを捉えることの意義について考えをまとめる	A
第8回	【テーマ】【障がい】スポーツによって顕になる／乗り越えられる〈障がい〉 【計画内容】平等性の元での競い合いをモットーとするスポーツは、時に「能力」を基準として人々をあるカテゴリーへと分類します。それが健常者と障がい者です。一方で、スポーツは〈障がい〉の有無に関わらず人々の能力を最大限に引き出すことにチャレンジする世界でもあります。では、スポーツの世界における〈障がい〉とは何か、また日常における〈障がい〉はスポーツの世界ではどのように位置付けられるかを考えます 【授業時間外の学修内容】【予習】障がい者スポーツの種目について調べてまとめてみよう 【復習】現代スポーツにおける〈障がい〉の捉えられ方とその可能性について自分の考えをまとめてみよう	A			

テキスト	毎回、参考テキストを配付します
参考書	ジェイ・コークリー(前田和司・大沼義彦・松村和則共訳)、2013年、『[増補版]現代スポーツの社会学ー課題と共生への道のりー』、南窓社、978-4816504136 井上俊・菊幸一編著、2020年、『[改訂版]よくわかるスポーツ文化論』、ミネルヴァ書房、9784623088393

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		10%	30%
	補足			期末レポート		受講姿勢、私語の有無、課題への取り組み態度など	各回の授業課題

課題に関するフィードバックの方法	・各回の授業課題へのフィードバックは次回授業の中でお伝えします (オンデマンド形式ないしは文章データでコメントする場合もあります)		
実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	
質問への対応	E-Mail:ueta@tsc.u-tokai.ac.jp		
資格	[ス]中・高1種(保健体育)_選択、公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修、レク・コーディネーター_必修 [健]公認スポーツ指導者(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)_必修		
その他	・ガイダンス内容をしっかり押さえて受講するようにしてください ・卒業のために単位取得が必須のものは、出席(≒毎回の課題提出)を確実に行ってください		

科目名	就業力特別演習Ⅱ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	阿部　豊				

授業の目的	ねらい	本演習は、体系的に開講される本学キャリア教育の中で実践教育に位置する。自己の進路を見据えて、また「就業力特別演習Ⅰ」で学習したことを踏まえ、志望する公務員（一般行政・教育行政・警察行政・警察官等）になるため、公務員試験対策として、より実践的な学習を行う。
	到達目標	(1)志望する公務員の職務内容について理解を深める。 (2)志望する公務員の採用試験の方法、内容について理解を深める。 (3)志望する自治体等の政策課題について理解を深める。

授業の計画					
第1回	【テーマ】志望する職種の職務内容と採用条件 【計画内容】一般行政・教育行政・警察行政・警察官などの職種別、北海道・市町村などの自治体や官公庁別の職務内と採用条件、採用の方法と試験の内容について学習する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、15回の授業計画について理解しておくこと。	A	第9回	【テーマ】集団討議(4) 【計画内容】「安心安全なまちづくり」をテーマに集団討議を行う。(警察官志望者、市町村職員志望者共通) 【授業時間外の学修内容】第8回授業で提示する集団討議のテーマについて、発言内容をまとめておくこと。	A・H・I
第2回	【テーマ】採用試験受験申込の方法 【計画内容】受験申込の方法は多様であり、志望する自治体や官公庁によって異なる方法や提出書類について学習する。 【授業時間外の学修内容】第1回授業で配付する資料(試験実施予定日)を読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】集団討議(5) 【計画内容】「時事問題」(1回目)をテーマに集団討議を行う。(警察官志望者、市町村職員志望者共通) 【授業時間外の学修内容】第9回授業で提示する集団討議のテーマについて、発言内容をまとめておくこと。	A・H・I
第3回	【テーマ】小論文の作成(1) 【計画内容】これまで北海道で起こった事故や災害などについてまとめる。(警察官志望者) 志望する市町村の人口動態、基幹産業などについて分析する。(市町村職員志望者) 【授業時間外の学修内容】第2回授業で配付する資料(政策のあらまし)を読んでおくこと。	A・B	第11回	【テーマ】集団討議(6) 【計画内容】「時事問題」(2回目)をテーマに集団討議を行う。(警察官志望者、市町村職員志望者共通) 【授業時間外の学修内容】第10回授業で提示する集団討議のテーマについて、発言内容をまとめておくこと。	A・H・I
第4回	【テーマ】小論文の作成(2) 【計画内容】これまで北海道で起こった事故や災害などを踏まえて、防犯、防災、減災の観点で1000字程度の小論文を作成する。(警察官志望者)自治体の分析結果に基づき、課題とその解決策について1000字～1200字の小論文を作成する。(市町村職員志望者) 【授業時間外の学修内容】第3回授業で作成した資料を基に、小論文の構成を考えておくこと。	G	第12回	【テーマ】個別面接(1) 【計画内容】個別面接は人物試験であることから、態度や話し方、表現方法などに留意しながら面接を行う。(1回目) 【授業時間外の学修内容】第11回授業で提示する資料(個別面接要領等)を読んでおくこと。	B
第5回	【テーマ】小論文の作成(3) 【計画内容】第4回授業で作成した小論文を完成する。 【授業時間外の学修内容】第4回授業で作成した小論文を加除修正しておくこと。	G	第13回	【テーマ】個別面接(2) 【計画内容】個別面接は人物試験であることから、態度や話し方、表現方法などに留意しながら面接を行う。(2回目) 【授業時間外の学修内容】第12回授業で行った面接の評価を踏まえて準備しておくこと。	B
第6回	【テーマ】集団討議(1) 【計画内容】これまで北海道で起こった事故や災害などを踏まえて集団討議を行う。(警察官志望者)北海道の市町村が抱える課題(少子高齢化や過疎化など)を踏まえて集団討議を行う。(市町村職員志望者) 【授業時間外の学修内容】第5回授業で提示する集団討議のテーマについて、発言内容をまとめておくこと。	A・H・I	第14回	【テーマ】個別面接(3) 【計画内容】個別面接は人物試験であることから、態度や話し方、表現方法などに留意しながら面接を行う。(3回目) 【授業時間外の学修内容】第13回授業で行った面接の評価を踏まえて準備しておくこと。	B
第7回	【テーマ】集団討議(2) 【計画内容】北海道の積雪寒冷等の自然条件を踏まえて集団討議を行う。(警察官志望者)北海道の市町村が抱える課題(基幹産業の振興や後継者不足など)を踏まえて集団討議を行う。(市町村職員志望者) 【授業時間外の学修内容】第6回授業で提示する集団討議のテーマについて、発言内容をまとめておくこと。	A・H・I	第15回	【テーマ】演習のまとめ 【計画内容】第1回から第14回までの学習をふりかえり、すでに受験した自治体や機関の合否を踏まえ、これから臨む採用試験に向けた対策について考える。ただし、これ以降の採用試験は、北海道職員採用試験(第2回)、北海道警察警察官採用試験(第2回)、町村職員試験などに限られる。 【授業時間外の学修内容】これまで受験した試験の結果踏まえ、今後の方向性について考えておくこと。	A・B
第8回	【テーマ】集団討議(3) 【計画内容】北海道の高齢化、過疎化を踏まえて集団討議を行う。(警察官志望者)北海道の市町村が抱える課題(インバウンドの誘致や観光振興)を踏まえて集団討議を行う。(市町村職員志望者) 【授業時間外の学修内容】第6回授業で提示する集団討議のテーマについて、発言内容をまとめておくこと。	A・H・I			

テキスト	プリントを使用する
参考書	講義時に説明する

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		25%	25%		50%	
	補足		集団討議等	小論文等			

課題に関するフィードバックの方法		
実務経験と授業の関連	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	講義時、講義後、その他可能な機会で直接対応します。また、Teams のチャットでも対応します。
資格	
その他	5月中旬から道内の採用試験が行われることから、本演習だけでなく、要望に応じて随時個別に対応します。

科目名	就業力特別演習Ⅱ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	梶　晴美				
授業の目的 ねらい	本演習は、体系的に開講される本学キャリア教育の中で実践教育に位置する。自己の進路を見据えて、介護福祉士として働くことを実現するため、「就業力特別演習Ⅰ」で培った基礎知識を、「健康福祉専門職演習Ⅰ」と連動しながらさらに広げ、深める。				
授業の目的 到達目標	(1)毎日少しずつでも学習に取り組み、学習習慣を修得する。 (2)基本的な知識を確実にするため、学習ノートを作成し活用する。 (3)全国模擬試験を受験し、自己の課題を知る。 (4)参考文献等を活用し、自己学習ができる。				

授業の計画					
第1回	【テーマ】ガイダンス、模擬試験 【計画内容】授業のガイダンスを行う。模擬試験を行う。自己採点し、苦手科目、得意科目を把握する。 【授業時間外の学修内容】模擬試験の準備をしてくること。次回の解説科目の問題について参考書等で正解を確認しておくこと。	B	第9回	【テーマ】障害者総合支援法① 【計画内容】テーマについて、主要な項目の学習ポイントを解説し、問題を解く。 【授業時間外の学修内容】受験対策講座で知識不足の項目をノートに整理する。	A・B
第2回	【テーマ】模擬試験解説① 【計画内容】正答率の低かった問題を中心に解答の確認・解説を行う。 【授業時間外の学修内容】模擬試験の見直しをする。次回の解説科目の問題についてテキスト・参考書等で正解を確認しておくこと。	A・B	第10回	【テーマ】障害者総合支援法② 【計画内容】テーマについて、主要な項目の学習ポイントを解説し、問題を解く。 【授業時間外の学修内容】受験対策講座で知識不足の項目をノートに整理する。	A・B
第3回	【テーマ】模擬試験解説② 【計画内容】正答率の低かった問題を中心に解答の確認・解説を行う。 【授業時間外の学修内容】模擬試験の見直しをする。次回の解説科目の問題についてテキスト・参考書等で正解を確認しておくこと。	A・B	第11回	【テーマ】こころとからだのしくみ① 【計画内容】テーマについて、主要な項目の学習ポイントを解説し、問題を解く。 【授業時間外の学修内容】受験対策講座で知識不足の項目をノートに整理する。	A・B
第4回	【テーマ】模擬試験解説③ 【計画内容】正答率の低かった問題を中心に解答の確認・解説を行う。 【授業時間外の学修内容】模擬試験の全科目の見直しをする。	A・B	第12回	【テーマ】こころとからだのしくみ② 【計画内容】テーマについて、主要な項目の学習ポイントを解説し、問題を解く。 【授業時間外の学修内容】受験対策講座で知識不足の項目をノートに整理する。	A・B
第5回	【テーマ】社会保障制度① 【計画内容】テーマについて、主要な項目の学習ポイントを解説し、問題を解く。 【授業時間外の学修内容】テキスト、参考書等で該当科目について自己学習し、ノートづくりをする。	A・B	第13回	【テーマ】こころとからだのしくみ③ 【計画内容】テーマについて、主要な項目の学習ポイントを解説し、問題を解く。 【授業時間外の学修内容】受験対策講座で知識不足の項目をノートに整理する。	A・B
第6回	【テーマ】社会保障制度② 【計画内容】テーマについて、主要な項目の学習ポイントを解説する。 【授業時間外の学修内容】テキスト、参考書等で該当科目について自己学習し、ノートづくりをする。	A・B	第14回	【テーマ】医療的ケア 【計画内容】テーマについて、主要な項目の学習ポイントを解説し、問題を解く。 【授業時間外の学修内容】受験対策講座で知識不足の項目をノートに整理する。	A・B
第7回	【テーマ】介護保険制度① 【計画内容】テーマについて、主要な項目の学習ポイントを解説し、問題を解く。 【授業時間外の学修内容】テキスト、参考書等で該当科目について自己学習し、ノートづくりをする。	A・B	第15回	【テーマ】復習と確認 【計画内容】学習した知識の定着状況を確認するため、模擬試験を行う。 【授業時間外の学修内容】前期に学習した項目を総復習してくる。	B
第8回	【テーマ】介護保険制度② 【計画内容】テーマについて、主要な項目の学習ポイントを解説し、問題を解く。 【授業時間外の学修内容】テキスト、参考書等で該当科目について自己学習し、ノートづくりをする。	A・B			

テキスト	講義時に説明する
参考書	講義時に説明する

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分					30%	70%
補足						

課題に関するフィードバックの方法	模試の成績は個人成績にして変化が見られる様にフィードバックします。 全国模試は個人成績のフィードバックがあります。科目毎にフィードバックし学修成果や課題を視覚化します。

実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	授業後に教室で受けるほか、チームズでも受けます。
資格	
その他	介護福祉士の資格取得を第一目標とする学生が履修登録してください。 国家試験合格にむけて日々努力することが求められます。前期のうちにノートづくりをしっかり行ってください。 全国模試の受験費用は一部自己負担があります。

科目名	就業力特別演習Ⅱ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	小坂井　留美				
授業の目的 ねらい	本演習は、体系的に開講される本学キャリア教育の中で実践教育に位置する。自己の進路を見据えて、志望する職業と関連する免許・資格について学び、当該分野で働くことを実現するため、「就業力特別演習Ⅰ」で培った基礎知識を確実なものとし、さらに知識を広げ深める。本講義の具体的な免許・資格は、「健康運動指導士」である。				
授業の目的 到達目標	(1)健康運動指導士の役割や活躍の場について理解する。 (2)健康運動指導士に必要な知識を修得する。				

授業の計画					
第1回	【テーマ】授業のガイダンスと資格概要の説明 【計画内容】授業のねらいと到達目標、15回の授業展開及び受講の心得を説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】運動障害と予防の基礎と実際について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	A・B
第2回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】健康運動に関わる指導者の役割について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	A	第10回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】体力測定と評価の基礎と活用について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	A・B
第3回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】健康管理の基礎と課題について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	A・B	第11回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】救急処置の基礎と実際について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる	A・B
第4回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】健康づくり施策の基礎と実際について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	A・B	第12回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】運動行動変容の理論と実際について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	A・B
第5回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】生活習慣病の基礎と運動指導について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	A・B	第13回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】こころの健康増進の基礎と運動指導について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	A・B
第6回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】運動生理学の基礎と指導実践について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	A・B	第14回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】栄養摂取の基礎と運動指導について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	A・B
第7回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】機能解剖とバイオメカニクスの基礎と指導実践について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	A・B	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの講義のまとめと振り返りを行います。 【授業時間外の学修内容】これまでの授業内容を復習しておく。	L
第8回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】健康づくり運動の理論と実際について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	A・B			

テキスト	健康・体力づくり事業財団、2020年、『健康運動指導士養成講習会テキスト』、南江堂
参考書	プリントを使用する

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分					30%	70%
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	
実務経験と授業の関連	経験内容
	科目との関連
質問への対応	初回の講義で具体的に説明します。
資格	
その他	

学部共通科目

科目名	就業力特別演習Ⅱ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	佐藤　至英				

授業の目的	ねらい	本演習は、体系的に開講される本学キャリア教育の中で実践教育に位置する。自己の進路を見据えて、志望する職業と関連する免許・資格について学び、当該分野で働くことを実現するため、「就業力特別演習Ⅰ」で培った基礎知識を確実なものとし、さらに知識を広げ深める。具体的な免許・資格は、特別支援学校教諭である。
	到達目標	(1)特別支援教育の意義と制度を理解する。 (2)障害のある子どもの生理・心理を理解する。 (3)障害のある子どもに必要な教育的対応を理解し、基本的な対応を実践できる。

授業の計画					
第1回	【テーマ】授業のガイダンスと資格概要の説明 【計画内容】授業のねらいと到達目標、15回の授業展開及び受講の心得を説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】知的障害の特性と対応 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	B・I・L
第2回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】学習指導要領の改訂の方向性・特別支援教育の新たな展開 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	B	第10回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】肢体不自由の特性と対応 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	B・I・L
第3回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】海外の特別支援教育 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	B	第11回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】病弱・身体虚弱の特性と対応 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる	B・I・L
第4回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】特別支援教育と教員の専門性 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	B・H	第12回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】軽度発達障害の特性と対応 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	B・I・L
第5回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】特別支援教育と教育課程 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	B・H	第13回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】ASD の特性と対応 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	B・I・L
第6回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】特別支援教育の関係領域 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	B・H	第14回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】LD/ADHD の特性と対応 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	B・I・L
第7回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】視覚障害の特性と対応 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	B・I・L	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの講義のまとめと振り返りを行います。 【授業時間外の学修内容】これまでの授業内容を復習しておく。	A・L
第8回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】聴覚障害の特性と対応 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	B・I・L			

テキスト	時事通信出版局、2017年、『特別支援教育の完全攻略（2019年度版 専門教養 Build Up シリーズ』、時事通信社、4788715627
参考書	協同出版、2020年、『北海道・札幌市の特別支援学校教諭過去問 2021年度版』、協同出版、4319290267

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分					30%	70%
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	ポータルにて、行います。		
実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	
質問への対応	初回の講義で具体的に説明します。		
資格			
その他			

学部共通科目

科目名	就業力特別演習Ⅱ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	久野　真知子				
授業の目的	ねらい	本講義は社会福祉士国家資格取得のために必要な知識を修得し、国家試験に向けた学習スキルや学習習慣を身に付けることを目的とする。			
	到達目標	(1)社会福祉士国家資格取得に必要な知識を確実なものとする。 (2)社会福祉士国家試験の学習に必要な学習スキルや学習習慣を身に付ける。			

授業の計画					
第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】1年間の学習スケジュールや学習方法について説明する。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】過去問を学習する⑧　障害者に対する支援と障害者自立支援制度 【計画内容】過去2年間、社会福祉士国家試験に出題された問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】参考書を熟読し、過去2年分の問題を事前に学習しておくこと。	A
第2回	【テーマ】過去問を学習する①　人体の構造と機能および疾病 【計画内容】過去2年間、社会福祉士国家試験に出題された問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】参考書を熟読し、過去2年分の問題を事前に学習しておくこと。	A	第10回	【テーマ】過去問を学習する⑨　低所得者に対する支援と生活保護制度 【計画内容】過去2年間、社会福祉士国家試験に出題された問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】参考書を熟読し、過去2年分の問題を事前に学習しておくこと。	A
第3回	【テーマ】過去問を学習する②　心理学理論と心理的支援 【計画内容】過去2年間、社会福祉士国家試験に出題された問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】参考書を熟読し、過去2年分の問題を事前に学習しておくこと。	A	第11回	【テーマ】過去問を学習する⑩　保健医療サービス 【計画内容】過去2年間、社会福祉士国家試験に出題された問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】参考書を熟読し、過去2年分の問題を事前に学習しておくこと。	A
第4回	【テーマ】過去問を学習する③　社会理論と社会システム 【計画内容】過去2年間、社会福祉士国家試験に出題された問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】参考書を熟読し、過去2年分の問題を事前に学習しておくこと。	A	第12回	【テーマ】過去問を学習する⑪　権利擁護と成年後見制度 【計画内容】過去2年間、社会福祉士国家試験に出題された問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】参考書を熟読し、過去2年分の問題を事前に学習しておくこと。	A
第5回	【テーマ】過去問を学習する④　現代社会と福祉 【計画内容】過去2年間、社会福祉士国家試験に出題された問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】参考書を熟読し、過去2年分の問題を事前に学習しておくこと。	A	第13回	【テーマ】過去問を学習する⑫　社会調査の基礎 【計画内容】過去2年間、社会福祉士国家試験に出題された問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】参考書を熟読し、過去2年分の問題を事前に学習しておくこと。	A
第6回	【テーマ】過去問を学習する⑤　地域福祉の理論と方法 【計画内容】過去2年間、社会福祉士国家試験に出題された問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】参考書を熟読し、過去2年分の問題を事前に学習しておくこと。	A	第14回	【テーマ】過去問を学習する⑬　相談援助の基盤と専門職 【計画内容】過去2年間、社会福祉士国家試験に出題された問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】参考書を熟読し、過去2年分の問題を事前に学習しておくこと。	A
第7回	【テーマ】過去問を学習する⑥　福祉行財政と福祉計画 【計画内容】過去2年間、社会福祉士国家試験に出題された問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】参考書を熟読し、過去2年分の問題を事前に学習しておくこと。	A	第15回	【テーマ】過去問を学習する⑭　相談援助の理論と方法 【計画内容】過去2年間、社会福祉士国家試験に出題された問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】参考書を熟読し、過去2年分の問題を事前に学習しておくこと。	A
第8回	【テーマ】過去問を学習する⑦　社会保障 【計画内容】過去2年間、社会福祉士国家試験に出題された問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】参考書を熟読し、過去2年分の問題を事前に学習しておくこと。	A			

テキスト	講義時に説明する
参考書	講義時に説明する

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			30%		70%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	課題等に対するフィードバックは、随時、授業内において行う。

実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	初回講義時に説明する。
資格	
その他	社会福祉士国家試験を受験する者は、必ず履修すること。 課題等に対するフィードバックは、随時、授業内において行う。

科目名	就業力特別演習Ⅱ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	森　靖明				
授業の目的 ねらい	本演習は、体系的に開講される本学キャリア教育の中で実践教育に位置する。自己の進路を見据えて保健体育科教員に関連する知識や考え方について学ぶ。「就業力特別演習Ⅰ」で培った基礎知識を確実なものとし、さらに知識を広げ深める。				
授業の目的 到達目標	(1)保健体育科教員として必要な知識を習得している。 (2)教師として必要な資質や能力の向上を図る姿勢が身に付いている。 (3)自らの考えを他者に論理的に説明することができる。				

授業の計画					
第1回	【テーマ】講義のガイダンス、教員採用検査の出題形式の説明 【計画内容】講義のねらいと到達目標、全15回の講義展開及び受講のルール等について説明。また、教員採用選考検査に向けての心構えについて。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】保健体育科教員に関しての基礎的内容の習得と実践的内容の理解 【計画内容】体育の各領域(武道、ダンス)について。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説保健体育編」を熟読してくること。	A・B・H
第2回	【テーマ】保健体育科教員に関しての基礎的内容の習得と実践的内容の理解 【計画内容】学習指導要領のポイントについて。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説保健体育編」を熟読してくること。	A・B・H	第10回	【テーマ】保健体育科教員に関しての基礎的内容の習得と実践的内容の理解 【計画内容】体育の各領域(体育理論)について。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説保健体育編」を熟読してくること。	A・B・H
第3回	【テーマ】保健体育科教員に関しての基礎的内容の習得と実践的内容の理解 【計画内容】新学習指導要領(総則等)について。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説保健体育編」を熟読してくること。	A・B・H	第11回	【テーマ】保健体育科教員に関しての基礎的内容の習得と実践的内容の理解 【計画内容】中学校の「保健分野」について。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説保健体育編」を熟読してくること。	A・B・H
第4回	【テーマ】保健体育科教員に関しての基礎的内容の習得と実践的内容の理解 【計画内容】新学習指導要領(特別活動等)について。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説保健体育編」を熟読してくること。	A・B・H	第12回	【テーマ】保健体育科教員に関しての基礎的内容の習得と実践的内容の理解 【計画内容】高等学校の科目「保健」について 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説保健体育編」を熟読してくること。	A・B・H
第5回	【テーマ】保健体育科教員に関しての基礎的内容の習得と実践的内容の理解 【計画内容】保健体育科及び体育・保健の目標について。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説保健体育編」を熟読してくること。	A・B・H	第13回	【テーマ】保健体育科教員に関しての基礎的内容の習得と実践的内容の理解 【計画内容】中学校及び高等学校保健体育科の内容の取扱いについて。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説保健体育編」を熟読してくること。	A・B・H
第6回	【テーマ】保健体育科教員に関しての基礎的内容の習得と実践的内容の理解 【計画内容】体育の各領域(体つくり運動、器械運動)について。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説保健体育編」を熟読してくること。	A・B・H	第14回	【テーマ】保健体育科教員に関しての基礎的内容の習得と実践的内容の理解 【計画内容】中学校及び高等学校保健体育科の指導計画の作成について。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説保健体育編」を熟読してくること。	A・B・H
第7回	【テーマ】保健体育科教員に関しての基礎的内容の習得と実践的内容の理解 【計画内容】体育の各領域(陸上競技、水泳)について。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説保健体育編」を熟読してくること。	A・B・H	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの講義の振り返り。 【授業時間外の学修内容】これまでの講義内容を復習すること。	A・L・G
第8回	【テーマ】保健体育科教員に関しての基礎的内容の習得と実践的内容の理解 【計画内容】体育の各領域(球技)について。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説保健体育編」を熟読してくること。	A・B・H			

テキスト	プリント等を使用します。
参考書	文部科学省、2017年、『中学校学習指導要領解説　保健体育編』、東山書房、978-4-8278-1558-0 文部科学省、2018年、『高等学校学習指導要領解説　保健体育編』、東山書房、978-4-8278-1567-2

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			80%			20%
補足			レポート			グループワーク

課題に関するフィードバックの方法	
実務経験と授業の関連 該当	経験内容：高等学校教諭、教育委員会指導主事 科目との関連：教員及び指導主事の経験を生かし、保健体育科教員に求められる資質・能力を育成する。
質問への対応	初回の講義で具体的に説明します。
資格	
その他	保健体育科教員を志望する学生は必ず受講すること。

科目名	就業力特別演習Ⅱ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	吉田　真				
授業の目的 ねらい	本演習は、体系的に開講される本学キャリア教育の中で実践教育に位置する。自己の進路を見据えて、アスレティックトレーナーの免許・資格について学び、資格取得に向けた実践力を養成する。				
授業の目的 到達目標	(1)アスレティックトレーナー(AT)の資格・取得に必要な知識を修得する。 (2)アスレティックトレーナー(AT)の資格・取得に必要な技術を修得する。 (3)アスレティックトレーナー(AT)の資格・取得後に必要な実践力・応用力を修得する。				

授業の計画					
第1回	【テーマ】授業のガイダンスと資格概要の説明 【計画内容】授業のねらいと到達目標、15回の授業展開及び受講の心得を説明する。 【授業時間外の学修内容】AT 理論試験の過去問を通読してくること。	A	第9回	【テーマ】AT に必要な救急処置の知識 【計画内容】AT に必要な救急処置について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】AT テキスト8巻の関連するページを精読してくること。	A・F・H
第2回	【テーマ】AT の役割 【計画内容】AT の役割、資格取得の意義について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】AT テキスト1巻の関連するページを精読してくること。	A・F・H	第10回	【テーマ】AT に必要なスポーツ栄養の知識 【計画内容】AT に必要なスポーツ栄養について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】AT テキスト9巻の関連するページを精読してくること。	A・F・H
第3回	【テーマ】AT に必要な解剖の知識 【計画内容】AT に必要な機能解剖学について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】AT テキスト2巻の関連するページを精読してくること。	A・F・H	第11回	【テーマ】AT に必要なスポーツバイオメカニクスの知識 【計画内容】AT に必要なスポーツバイオメカニクスについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストおよび参考書の関連するページを精読してくること。	A・F・H
第4回	【テーマ】AT に必要なスポーツ外傷・障害の知識 【計画内容】AT に必要なスポーツ外傷・障害について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】AT テキスト3巻の関連するページを精読してくること。	A・F・H	第12回	【テーマ】プレゼンテーション1 【計画内容】講義で学んだ内容に関するプレゼンテーションの資料作成を行う。 【授業時間外の学修内容】第11回までの内容を復習すること。	H・I・K
第5回	【テーマ】AT に必要なスポーツ内科の知識 【計画内容】AT に必要なスポーツ内科について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】AT テキスト4巻の関連するページを精読してくること。	A・F・H	第13回	【テーマ】プレゼンテーション2 【計画内容】講義で学んだ内容に関するプレゼンテーションの資料作成を行う。 【授業時間外の学修内容】第11回までの内容を復習すること。	H・I・K
第6回	【テーマ】AT に必要な評価・測定の知識 【計画内容】AT に必要な評価・測定について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】AT テキスト5巻の関連するページを精読してくること。	A・F・H	第14回	【テーマ】プレゼンテーション3 【計画内容】講義で学んだ内容に関するプレゼンテーションを行う。 【授業時間外の学修内容】作成したプレゼンテーション資料を熟読すること。	F
第7回	【テーマ】AT に必要なコンディショニングの知識 【計画内容】AT に必要なコンディショニングについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】AT テキスト6巻の関連するページを精読してくること。	A・F・H	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの講義のまとめと振り返りを行う。 【授業時間外の学修内容】これまでの授業内容を復習しておくこと。	L
第8回	【テーマ】AT に必要なアスレティックリハビリテーションの知識 【計画内容】AT に必要なアスレティックリハビリテーションについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】AT テキスト7巻の関連するページを精読してくること。	A・F・H			

テキスト	講義時に説明する
参考書	講義時に説明する

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	30%		30%		40%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	Teams の科目チームやチャットを通して、フィードバックします。
実務経験と授業の関連	経験内容
	科目との関連
質問への対応	初回の講義で具体的に説明します。
資格	
その他	日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーの資格取得を志望することが望ましい。

科目名	就業力特別演習Ⅲ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	井出　幸二郎				
授業の目的 ねらい	本演習は、本学のキャリア教育の中で実践的総括科目にあたる。将来の進路決定のために自らが志望した分野について、より一層の理解を深め、実践的応用力を身につけることを目指す。具体的な免許・資格は、日本トレーニング指導者協会認定トレーニング指導者資格である。				
授業の目的 到達目標	(1)トレーニング指導者に必要な基礎的な知識を身につける。 (2)トレーニング指導者に必要な専門的な知識を身につけ、実践場面での応用力を身につける。				

授業の計画					
第1回	【テーマ】授業のガイダンスと資格概要の説明 【計画内容】授業のねらいと到達目標、15回の授業展開及び受講の心得を説明する。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】トレーニング指導者に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	A
第2回	【テーマ】トレーニング指導者に必要な必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	A	第10回	【テーマ】各資格に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	A
第3回	【テーマ】各資格に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	A	第11回	【テーマ】各資格に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	A
第4回	【テーマ】各資格に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	A	第12回	【テーマ】各資格に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	A
第5回	【テーマ】トレーニング指導者に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	A	第13回	【テーマ】各資格に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	A
第6回	【テーマ】トレーニング指導者に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	A	第14回	【テーマ】各資格に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	A
第7回	【テーマ】トレーニング指導者に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	A	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの講義のまとめと振り返りを行う。 【授業時間外の学修内容】これまでの授業内容を復習しておくこと。	A
第8回	【テーマ】トレーニング指導者に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	A			

テキスト	NPO 法人日本トレーニング指導者協会、2017年、『トレーニング指導者テキスト 理論編・改訂版』、大修館 NPO 法人日本トレーニング指導者協会、2014年、『トレーニング指導者テキスト 実践編・改訂版』、大修館 NPO 法人日本トレーニング指導者協会、2017年、『JATI 認定トレーニング指導者 認定試験（一般・専門）模擬問題集 改訂版』、トレーニング指導者協会
参考書	プリントを配付する。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			70%		30%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	
実務経験と授業の関連 該当	経験内容：トレーニング指導者 科目との関連：トレーニング指導
質問への対応	初回の講義で具体的に説明します。
資格	
その他	

科目名	就業力特別演習Ⅲ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	岩本　希				
授業の目的 ねらい	本演習は、本学のキャリア教育の中で実践的総括科目に当たる。模擬問題集への取り組みを中心として社会福祉士国家資格取得のために必要な知識の修得、定着を図り、国家試験に向けた学習スキルや学習習慣を身に付けることを目的とする。				
授業の目的 到達目標	(1)社会福祉士国家資格取得に必要な知識を定着させる。 (2)模擬試験や問題集に取り組み、社会福祉士国家試験に合格できるよう準備する。				

授業の計画					
第1回	【テーマ】オリエンテーション、今後の学習方法について 【計画内容】授業のねらいと到達目標、15回の授業展開及び受講の心得を説明します。今後の学習方法について説明し、国家試験合格に向けた学習計画を立てます。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A・H	第9回	【テーマ】障害者に対する支援と障害者自立支援 【計画内容】障害者に対する支援と障害者自立支援についての理解を深め、国家試験に必要な知識の定着を図ります。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A・H
第2回	【テーマ】人体の構造と機能及び疾病 【計画内容】人体の構造と機能及び疾病についての理解を深め、国家試験に必要な知識の定着を図ります。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A・H	第10回	【テーマ】模擬試験の復習 【計画内容】模擬試験問題を振り返り苦手科目を確認、受験勉強学習計画を作成します。 【授業時間外の学修内容】模擬試験問題の解説を精読してくる。	A・H
第3回	【テーマ】心理学理論と心理的支援 【計画内容】心理学理論と心理的支援についての理解を深め、国家試験に必要な知識の定着を図ります。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A・H	第11回	【テーマ】社会福祉士国家試験直前対策 【計画内容】受験の心構えや問題を解くテクニックについて説明します。 【授業時間外の学修内容】これまで学習した内容、学習計画を確認しておく。	A
第4回	【テーマ】社会理論と社会システム 【計画内容】社会理論と社会システムについての理解を深め、国家試験に必要な知識の定着を図ります。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A・H	第12回	【テーマ】学習計画に沿った学習① 【計画内容】苦手科目克服に向け、計画に沿って学習します。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書、模擬問題集等の解説を精読してくる。	A
第5回	【テーマ】現代社会と福祉 【計画内容】現代社会と福祉についての理解を深め、国家試験に必要な知識の定着を図ります。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A・H	第13回	【テーマ】学習計画に沿った学習② 【計画内容】苦手科目克服に向け、計画に沿って学習します。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書、模擬問題集等の解説を精読してくる。	A
第6回	【テーマ】地域福祉の理論と方法 【計画内容】地域福祉の理論と方法についての理解を深め、国家試験に必要な知識の定着を図ります。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A・H	第14回	【テーマ】国家試験直前の学習方法 【計画内容】国家試験当日までの学習方法を確認します。 【授業時間外の学修内容】これまで学習した内容、学習計画を確認しておく。	A
第7回	【テーマ】福祉行財政と福祉計画 【計画内容】福祉行財政と福祉計画についての理解を深め、国家試験に必要な知識の定着を図ります。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A・H	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの学習を振り返り、国家試験当日に向けた学習計画を確認します。 【授業時間外の学修内容】学習計画、社会福祉士国家試験受験に向けた説明資料を熟読すること。	A
第8回	【テーマ】社会保障 【計画内容】社会保障についての理解を深め、国家試験に必要な知識の定着を図ります。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A・H			

テキスト	講義時に説明します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			30%		70%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	
実務経験と授業の関連	経験内容
	科目との関連
質問への対応	初回の講義で具体的に説明します。
資格	
その他	社会福祉士国家試験を受験する学生は、必ず履修すること。 学習方法や取り組み内容へのフィードバックは適宜講義内及び個別指導にて行います。

科目名	就業力特別演習Ⅲ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	大宮　真一				
授業の目的 ねらい	本演習は、本学のキャリア教育の中で実践的総括科目にあたる。将来の進路決定のために自らが志望した分野について、より一層の理解を深め、実践的応用力を身につけることを目指す。具体的な免許・資格は、ジュニアスポーツ指導員である。				
授業の目的 到達目標	(1)ジュニアスポーツ指導員に必要な知識を理解する。 (2)ジュニアスポーツ指導員に必要な実践場面での応用力を身につける。 (3)スポーツクラブでの指導補助ができる。				

授業の計画					
第1回	【テーマ】授業のガイダンスと資格概要の説明 【計画内容】授業のねらいと到達目標、15回の授業展開及び受講の心得を説明する。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】スポーツクラブでの指導補助 【計画内容】スポーツクラブでのジュニアスポーツ指導の補助を行うことで指導力を高める。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	D
第2回	【テーマ】ジュニアスポーツ指導員に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】ジュニアスポーツ指導の課題に取り組み、実践力を磨く。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	B	第10回	【テーマ】スポーツクラブでの指導補助 【計画内容】スポーツクラブでのジュニアスポーツ指導の補助を行うことで指導力を高める。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	D
第3回	【テーマ】ジュニアスポーツ指導員に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】ジュニアスポーツ指導の課題に取り組み、実践力を磨く。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	B	第11回	【テーマ】スポーツクラブでの指導補助 【計画内容】スポーツクラブでのジュニアスポーツ指導の補助を行うことで指導力を高める。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	D
第4回	【テーマ】ジュニアスポーツ指導員に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】ジュニアスポーツ指導の課題に取り組み、実践力を磨く。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	B	第12回	【テーマ】スポーツクラブでの指導補助 【計画内容】スポーツクラブでのジュニアスポーツ指導の補助を行うことで指導力を高める。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	D
第5回	【テーマ】スポーツクラブにおけるジュニアスポーツ指導① 【計画内容】スポーツクラブにおけるジュニアスポーツ指導上の留意事項を学習する。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	A	第13回	【テーマ】スポーツクラブでの指導補助 【計画内容】スポーツクラブでのジュニアスポーツ指導の補助を行うことで指導力を高める。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	D
第6回	【テーマ】スポーツクラブにおけるジュニアスポーツ指導② 【計画内容】スポーツクラブにおけるジュニアスポーツ指導上の留意事項を学習する。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	A	第14回	【テーマ】スポーツクラブでの指導補助 【計画内容】スポーツクラブでのジュニアスポーツ指導の補助を行うことで指導力を高める。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	D
第7回	【テーマ】スポーツクラブでの指導補助 【計画内容】スポーツクラブでのジュニアスポーツ指導の補助を行うことで指導力を高める。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	D	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの講義のまとめと振り返りを行う。 【授業時間外の学修内容】これまでの授業内容を復習しておくこと。	L
第8回	【テーマ】スポーツクラブでの指導補助 【計画内容】スポーツクラブでのジュニアスポーツ指導の補助を行うことで指導力を高める。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	D			

テキスト	日本スポーツ協会、2017年、『公認ジュニアスポーツ指導員養成テキスト』
参考書	講義時に説明する

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		30%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	
実務経験と授業の関連	経験内容
	科目との関連
質問への対応	初回の講義で具体的に説明します。
資格	[ス]ジュニアスポーツ指導員_選必 [健]ジュニアスポーツ指導員_必修
その他	

学部共通科目

科目名	就業力特別演習Ⅲ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	髙田　真吾				

授業の目的	ねらい	本演習は、本学のキャリア教育の中で実践的総括科目にあたる。将来の進路決定のために自らが志望した分野について、より一層の理解を深め、実践的応用力を身につけることを目指す。この授業では、健康運動指導士の資格を対象とする。
	到達目標	(1)健康運動指導士の資格取得に必要な知識を身につけ、他者に伝えられるようにする。 (2)健康運動指導士として活躍するための実践力を身につける。

授業の計画					
第1回	【テーマ】授業のガイダンス　健康管理概論、健康づくり施策概論、生活習慣病(1) 【計画内容】健康管理概論、健康づくり施策概論、生活習慣病に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】健康運動指導士テキスト(上巻)の該当部分を予習してくる。	A	第9回	【テーマ】体力測定と評価、健康づくり運動の実際、救急処置、運動プログラムの実際(2) 【計画内容】体力測定と評価、健康づくり運動の実際、救急処置、運動プログラムの実際に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】健康運動指導士テキスト(下巻)の該当部分を予習してくる。	A
第2回	【テーマ】健康管理概論、健康づくり施策概論、生活習慣病(2) 【計画内容】健康管理概論、健康づくり施策概論、生活習慣病に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】健康運動指導士テキスト(上巻)の該当部分を予習してくる。	A	第10回	【テーマ】体力測定と評価、健康づくり運動の実際、救急処置、運動プログラムの実際(3) 【計画内容】体力測定と評価、健康づくり運動の実際、救急処置、運動プログラムの実際に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】健康運動指導士テキスト(下巻)の該当部分を予習してくる。	A
第3回	【テーマ】健康管理概論、健康づくり施策概論、生活習慣病(3) 【計画内容】健康管理概論、健康づくり施策概論、生活習慣病に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】健康運動指導士テキスト(上巻)の該当部分を予習してくる。	A	第11回	【テーマ】体力測定と評価、健康づくり運動の実際、救急処置、運動プログラムの実際(4) 【計画内容】体力測定と評価、健康づくり運動の実際、救急処置、運動プログラムの実際に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】健康運動指導士テキスト(下巻)の該当部分を予習してくる。	A
第4回	【テーマ】運動生理学、機能解剖とバイオメカニクス、健康づくり運動の理論、運動障害と予防(1) 【計画内容】運動生理学、機能解剖とバイオメカニクス、健康づくり運動の理論、運動障害と予防に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】健康運動指導士テキスト(上巻)の該当部分を予習してくる。	A	第12回	【テーマ】運動負荷試験、運動行動変容、運動と心の健康増進、栄養摂取と運動(1) 【計画内容】運動負荷試験、運動行動変容、運動と心の健康増進、栄養摂取と運動に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】健康運動指導士テキスト(下巻)の該当部分を予習してくる。	A
第5回	【テーマ】運動生理学、機能解剖とバイオメカニクス、健康づくり運動の理論、運動障害と予防(2) 【計画内容】運動生理学、機能解剖とバイオメカニクス、健康づくり運動の理論、運動障害と予防に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】健康運動指導士テキスト(上巻)の該当部分を予習してくる。	A	第13回	【テーマ】運動負荷試験、運動行動変容、運動と心の健康増進、栄養摂取と運動(2) 【計画内容】運動負荷試験、運動行動変容、運動と心の健康増進、栄養摂取と運動に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】健康運動指導士テキスト(下巻)の該当部分を予習してくる。	A
第6回	【テーマ】運動生理学、機能解剖とバイオメカニクス、健康づくり運動の理論、運動障害と予防(3) 【計画内容】運動生理学、機能解剖とバイオメカニクス、健康づくり運動の理論、運動障害と予防に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】健康運動指導士テキスト(上巻)の該当部分を予習してくる。	A	第14回	【テーマ】運動負荷試験、運動行動変容、運動と心の健康増進、栄養摂取と運動(3) 【計画内容】運動負荷試験、運動行動変容、運動と心の健康増進、栄養摂取と運動に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】健康運動指導士テキスト(下巻)の該当部分を予習してくる。	A
第7回	【テーマ】運動生理学、機能解剖とバイオメカニクス、健康づくり運動の理論、運動障害と予防(4) 【計画内容】運動生理学、機能解剖とバイオメカニクス、健康づくり運動の理論、運動障害と予防に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】健康運動指導士テキスト(上巻)の該当部分を予習してくる。	A	第15回	【テーマ】運動負荷試験、運動行動変容、運動と心の健康増進、栄養摂取と運動(4)、まとめと振り返り 【計画内容】運動負荷試験、運動行動変容、運動と心の健康増進、栄養摂取と運動に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。さらにこれまでの講義のまとめと振り返りを行う。 【授業時間外の学修内容】健康運動指導士テキスト(下巻)の該当部分を予習してくる。	A
第8回	【テーマ】体力測定と評価、健康づくり運動の実際、救急処置、運動プログラムの実際(1) 【計画内容】体力測定と評価、健康づくり運動の実際、救急処置、運動プログラムの実際に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】健康運動指導士テキスト(下巻)の該当部分を予習してくる。	A			

テキスト	健康・体力づくり事業財団、2020年、『健康運動指導士養成講習会テキスト』、南江堂
参考書	講義時に説明する

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		30%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法			
実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	
質問への対応	初回の講義で具体的に説明します。		
資格			
その他			

学部共通科目

科目名	就業力特別演習Ⅲ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	竹田　千春				
授業の目的 ねらい	「健康福祉専門職演習Ⅰ・Ⅱ」での学習をさらに深め、テーマを決めて介護福祉士に必要な知識を集中的に学びます。模擬試験や過去問題の解答や自己学習を繰り返し行い、介護福祉士国家試験合格を目指します。				
授業の目的 到達目標	(1)模擬試験や過去問題を行い、介護福祉士国家試験合格を目指す。 (2)介護福祉士国家試験科目に必要な知識を繰り返し復習し、身につけることができる。				

授業の計画					
第1回	【テーマ】オリエンテーション、模擬試験の受験① 【計画内容】授業の進め方、国家試験のための準備について説明し、現在の学習状況を確認します。また、範囲科目の模擬試験(午前)を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】介護福祉士関連の辞典、ワークブックなどを持参すること。	A・B	第9回	【テーマ】模擬試験の受験③ 【計画内容】範囲科目の模擬試験(午前)を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】指定範囲科目の予習・復習をしてくること。	A・B
第2回	【テーマ】模擬試験の受験② 【計画内容】範囲科目の模擬試験(午後)を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】試験範囲科目の予習をしてくること。	A・B	第10回	【テーマ】模擬試験の解説－人間の尊厳と自立、認知症の理解、介護過程 【計画内容】テーマ科目の模擬試験の解説、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】指定範囲科目の予習・復習をしてくること。	A・B
第3回	【テーマ】社会の理解① 【計画内容】テーマ科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】社会の理解の予習をしてくること。	A・B	第11回	【テーマ】模擬試験の解説－人間関係とコミュニケーション、介護の基本、コミュニケーション技術 【計画内容】テーマ科目の模擬試験の解説、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】指定範囲科目の予習・復習をしてくること。	A・B
第4回	【テーマ】社会の理解② 【計画内容】テーマ科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】社会の理解の予習をしてくること。	A・B	第12回	【テーマ】模擬試験の解説－生活支援技術 【計画内容】テーマ科目の模擬試験の解説、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】指定範囲科目の予習・復習をしてくること。	A・B
第5回	【テーマ】発達と老化の理解 【計画内容】テーマ科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】発達と老化の理解の予習をしてくること。	A・B	第13回	【テーマ】苦手科目の重点学習 【計画内容】苦手科目の模擬試験等を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】苦手科目の予習・復習をしてくること。	A・B
第6回	【テーマ】こころとからだのしくみ① 【計画内容】テーマ科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】こころとからだのしくみの予習をしてくること。	A・B	第14回	【テーマ】苦手科目の重点学習 【計画内容】苦手科目の模擬試験等を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】苦手科目の予習・復習をしてくること。	A・B
第7回	【テーマ】こころとからだのしくみ② 【計画内容】テーマ科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】こころとからだのしくみの予習をしてくること。	A・B	第15回	【テーマ】総復習 【計画内容】国家試験直前の総復習と準備を行います。 【授業時間外の学修内容】これまでの学習の復習をしてくること。	A・B
第8回	【テーマ】障害の理解 【計画内容】テーマ科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】障害の理解の予習をしてくること。	A・B			

テキスト	講義時に説明します
参考書	2021年、『介護福祉士国家試験合格テキスト』、中央法規 2021年、『介護福祉士国家試験過去問解説集』、中央法規

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分					30%	70%
	補足						模擬試験等

課題に関するフィードバックの方法	
実務経験と授業の関連	経験内容
	科目との関連
質問への対応	初回講義時に説明します。
資格	
その他	介護福祉士国家試験準備のための科目です。予習・復習などに積極的に取り組む姿勢を求めます。

科目名	就業力特別演習Ⅲ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	吉田　昌弘、黒田　裕太、山本　敬三				
授業の目的 ねらい	本演習は、本学のキャリア教育の中で実践的総括科目にあたる。将来の進路決定のために自らが志望した日本体育協会公認アスレティックトレーナーについて、より一層の理解を深め、実践的応用力を身につけることを目指す。				
授業の目的 到達目標	(1)アスレティックトレーナー(AT)の専門性を説明できる。 (2) AT に必要なスポーツ医科学の知識をもとに、実践場面での応用方法を理解し説明できる。				

授業の計画					
第1回	【テーマ】授業のガイダンスと資格概要の説明 【計画内容】授業のねらいと到達目標、15回の授業展開及び受講の心得を説明する。(吉田昌弘) 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】AT に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】AT に求められる応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。(吉田昌弘) 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	B
第2回	【テーマ】AT に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】AT に求められる応用的な課題としてアスレティックトレーナーの役割について取り組むことで、実践力を磨く。(吉田昌弘) 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	B	第10回	【テーマ】AT に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】AT に求められる応用的な課題としてスポーツと心理について取り組むことで、実践力を磨く。(吉田昌弘) 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	B
第3回	【テーマ】AT に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】AT に求められる応用的な課題としてスポーツ科学について取り組むことで、実践力を磨く。(山本敬三) 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	B	第11回	【テーマ】AT に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】AT に求められる応用的な課題として検査・測定と評価について取り組むことで、実践力を磨く。(吉田昌弘) 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	B
第4回	【テーマ】AT に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】AT に求められる応用的な課題として運動器の解剖と機能について取り組むことで、実践力を磨く。(吉田昌弘) 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	B	第12回	【テーマ】AT に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】AT に求められる応用的な課題として予防とコンディショニングについて取り組むことで、実践力を磨く。(吉田昌弘) 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	B
第5回	【テーマ】AT に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】AT に求められる応用的な課題としてスポーツ外傷・障害の基礎知識について取り組むことで、実践力を磨く。(吉田昌弘) 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	B	第13回	【テーマ】AT に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】AT に求められる応用的な課題としてアスレティックリハビリテーションについて取り組むことで、実践力を磨く。(吉田昌弘) 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	B
第6回	【テーマ】AT に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】AT に求められる応用的な課題として健康管理とスポーツ医学について取り組むことで、実践力を磨く。(吉田昌弘) 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	B	第14回	【テーマ】AT に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】AT に求められる応用的な課題として救急処置について取り組むことで、実践力を磨く。(吉田昌弘) 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	B
第7回	【テーマ】AT に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】AT に求められる応用的な課題としてスポーツと栄養について取り組むことで、実践力を磨く。(黒田裕太) 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	B	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの講義のまとめと振り返りを行う。(吉田昌弘) 【授業時間外の学修内容】これまでの授業内容を復習しておくこと。	A
第8回	【テーマ】AT に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】AT に求められる応用的な課題について取り組むことで、実践力を磨く。(吉田昌弘) 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	B			

テキスト	日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト編集班、2016年、『AT 専門科目テキスト1～9巻』、公益財団法人日本スポーツ協会
参考書	講義時に説明する

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		30%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	各回の課題は口頭およびデータにてフィードバックします。
実務経験と授業の関連	経験内容
	科目との関連
質問への対応	初回の講義で具体的に説明します。
資格	
その他	課題に対するフィードバックは、口頭試問による質疑応答やコメント等を通して行います。

学部共通科目

スポーツ教育学科
学 科 専 門 科 目

科目名	スポーツ施設管理論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	上田　知行				
授業の目的 ねらい	生涯学習・生涯スポーツ社会を迎えた今日のわが国で、健全な社会生活を支えている各種の学習施設やスポーツ施設が担保すべき環境面での条件を理解する。具体的には各種の施設、設備、器具、屋内環境、運営面などについて学ぶ。				
授業の目的 到達目標	(1)生涯スポーツ施設の管理・運営に関する用語を理解する。 (2)生涯学習施設と生涯スポーツ施設管理者の業務内容を学習する。 (3)スポーツ施設のリスクマネジメントに関する内容を学習する。				

授業の計画					
第1回	【テーマ】日本のスポーツ施設の現状(公共)① 【計画内容】日本の公共スポーツ施設の現状について学ぶ 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】施設環境2 【計画内容】施設環境(光度)について学ぶ 【授業時間外の学修内容】事前に出された課題に取り組む。	A
第2回	【テーマ】日本のスポーツ施設の現状(公共)② 【計画内容】日本の公共スポーツ施設の現状について学ぶ 【授業時間外の学修内容】北海道内各地のスポーツ施設について資料を収集する。	A	第10回	【テーマ】顧客管理1 【計画内容】利用者の管理方法について学ぶ 【授業時間外の学修内容】事前に出された課題に取り組む。	A
第3回	【テーマ】日本のスポーツ施設の現状(民間)① 【計画内容】日本の民間スポーツ施設の現状について学ぶ 【授業時間外の学修内容】民間スポーツ施設についてあらかじめ調べておく。	A	第11回	【テーマ】顧客管理2 【計画内容】利用者の管理方法について学ぶ 【授業時間外の学修内容】事前に出された課題に取り組む。	A
第4回	【テーマ】日本のスポーツ施設の現状(民間)② 【計画内容】日本の民間スポーツ施設の現状について学ぶ 【授業時間外の学修内容】民間スポーツ施設についてあらかじめ調べておく。	A	第12回	【テーマ】施設管理・顧客管理・経営管理1 【計画内容】施設管理・顧客管理・経営管理について学ぶ 【授業時間外の学修内容】事前に出された課題に取り組む。	A
第5回	【テーマ】スポーツ施設の企画・計画・設計・施工・保守・管理・修理・運営 【計画内容】新しくスポーツ施設がつくられるまでの過程を述べる。その際に施設管理者が果たすべき任務を明らかにする。雨漏り、水濡れ、金属部分の劣化、配管の寿命などに応じた補修・塗装・取り換えほかを学習する。 【授業時間外の学修内容】事前に出された課題に取り組む。	A	第13回	【テーマ】施設管理・顧客管理・経営管理2 【計画内容】施設管理・顧客管理・経営管理について学ぶ 【授業時間外の学修内容】事前に出された課題に取り組む。	A
第6回	【テーマ】施設のリスクマネジメント 【計画内容】施設のリスクマネジメントについて学ぶ 【授業時間外の学修内容】事前に出された課題に取り組む。	A	第14回	【テーマ】施設管理・顧客管理・経営管理3 【計画内容】施設管理・顧客管理・経営管理について学ぶ 【授業時間外の学修内容】事前に出された課題に取り組む。	A
第7回	【テーマ】利用者に対するリスクマネジメント 【計画内容】利用者のリスクマネジメントについて学ぶ 【授業時間外の学修内容】事前に出された課題に取り組む。	A	第15回	【テーマ】まとめ:スポーツ施設の近未来 【計画内容】生涯スポーツ社会において生涯スポーツ施設が完備しているべき要素を再認識する。 【授業時間外の学修内容】15回分の全講義内容をまとめたうえでリポートとして清書する。	G・L
第8回	【テーマ】施設環境1 【計画内容】施設環境(温度・湿度)について学ぶ 【授業時間外の学修内容】事前に出された課題に取り組む。	A			

テキスト	講義時に説明します
参考書	講義時に提示します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	30%		30%		40%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	
実務経験と授業の関連	経験内容
	科目との関連
質問への対応	その都度、直接対応します。
資格	[ス]認定トレーニング指導者_必修
その他	届け出のない欠席が複数回ある場合には、単位取得が困難になります。

科目名	運動処方演習	授業形態	演習	単位数	2
教員名	上田　知行、沖田　孝一、小坂井　留美				
授業の目的 ねらい	健康づくりのための運動を指導するのに必要な実践力を磨くには、①安全で効果的な運動処方作成のために必要な運動負荷試験の実際や、②生活習慣病の予防や改善に関わる集団と個別に対応する運動処方作成の方法、③介護予防に関わる集団と個別に対応するための運動処方の方法を実践形式で学び、それぞれの集団および個人に適した運動プログラムを処方する能力を身につける。				
授業の目的 到達目標	(1)運動負荷試験の方法を学ぶ。 (2)生活習慣病の予防や改善に関わる運動処方作成の方法を身につける。 (3)介護予防に関わる運動処方作成の方法を身につける。				

授業の計画					
第1回	【テーマ】ガイダンス・運動処方作成のために必要な行動目標 【計画内容】授業の紹介をし、15回の授業展開を説明します。(上田知行) 【授業時間外の学修内容】「運動生理学」「運動処方」「中高年スポーツ論」の内容について復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】生活習慣病に対する運動処方Ⅲ(糖尿病) 【計画内容】生活習慣病のうち糖尿病に対する運動処方の方法を学びます。(上田知行) 【授業時間外の学修内容】糖尿病について理解を深めておくこと。	B
第2回	【テーマ】生活習慣病に対する運動処方 【計画内容】生活習慣病に対する包括的運動処方の作成方法について学びます。(上田知行) 【授業時間外の学修内容】運動処方の基本的知識について復習しておくこと。	B	第10回	【テーマ】生活習慣病に対する運動処方Ⅳ(虚血性心疾患) 【計画内容】生活習慣病のうち虚血性心疾患に対する運動処方の方法を学びます。(上田知行) 【授業時間外の学修内容】虚血性疾患について理解を深めておくこと。	B
第3回	【テーマ】介護予防・転倒予防のための虚弱者に対する運動処方 【計画内容】介護予防・転倒予防のための虚弱者に対する運動処方のプログラミングについて学びます。(小坂井留美) 【授業時間外の学修内容】転倒予防に必要な体力要素について復習しておくこと。	B	第11回	【テーマ】健診結果の読み方 【計画内容】健康診断の検査項目や結果の読み方について学びます。(沖田孝一) 【授業時間外の学修内容】メディカルチェックについて理解を深めておくこと。	B
第4回	【テーマ】行動変容理論に基づいた動機づけのための運動処方 【計画内容】行動変容理論に基づいた動機づけのための運動処方のプログラミングについて学びます。(上田知行) 【授業時間外の学修内容】行動変容理論の基本的知識について復習しておくこと。	B	第12回	【テーマ】安静時心電図の読み方 【計画内容】安静時心電図の測定方法や読み方について学びます。(沖田孝一) 【授業時間外の学修内容】メディカルチェックについて理解を深めておくこと。	D
第5回	【テーマ】ロコモティブシンドロームのための運動処方 【計画内容】ロコモティブシンドロームに対する運動処方のプログラミングについて学びます。(小坂井留美) 【授業時間外の学修内容】解剖学および一般的な整形外科疾患(下肢)の基本的知識について復習しておくこと。	B	第13回	【テーマ】運動負荷試験の実際 【計画内容】運動負荷試験の目的や実施方法、安全対策、中止条件などを学びます。(沖田孝一) 【授業時間外の学修内容】メディカルチェックについて理解を深めておくこと。	D
第6回	【テーマ】運動器退行性疾患のための運動処方 【計画内容】運動器退行性疾患に対する運動処方のプログラミングについて学びます。(小坂井留美) 【授業時間外の学修内容】解剖学および一般的な整形外科疾患(骨粗鬆症)の基本的知識について復習しておくこと。	B	第14回	【テーマ】運動負荷試験実習(トレッドミル) 【計画内容】トレッドミルを用いた運動負荷試験の実習を行います。(沖田孝一) 【授業時間外の学修内容】メディカルチェックについて理解を深めておくこと。	D
第7回	【テーマ】生活習慣病に対する運動処方Ⅰ(肥満症) 【計画内容】生活習慣病のうち肥満症に対する運動処方の方法を学びます。(上田知行) 【授業時間外の学修内容】肥満症について理解を深めておくこと。	B	第15回	【テーマ】運動負荷試験実習(自転車エルゴメーター) 【計画内容】自転車エルゴメーターを用いた運動負荷試験の実習を行います。(沖田孝一) 【授業時間外の学修内容】メディカルチェックについて理解を深めておくこと。	D
第8回	【テーマ】生活習慣病に対する運動処方Ⅱ(高血圧症・脂質異常症) 【計画内容】生活習慣病のうち高血圧症および脂質異常症に対する運動処方の方法を学びます。(小坂井留美) 【授業時間外の学修内容】高血圧症・脂質異常症について理解を深めておくこと。	B			

テキスト	プリントを配付します
参考書	健康・体力づくり事業財団、2020年、『健康運動指導士養成講習会テキスト』、南江堂 上田知行、2019年、『認知症予防介護予防のための運動教室指導案集』、ソーシャルビジネス推進センター、978-4-9911-0330-8

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	30%		40%		30%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法			
実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	
質問への対応	講義時に説明します。		
資格	[ス]健康運動指導士_必修		
その他	「運動生理学」「運動処方」「中高年スポーツ論」を履修していること。 本講義は、北方圏生涯スポーツ研究センターの被験講義です。		

科目名	スポーツマーケティング	授業形態	講義	単位数	2
教員名	永谷　稔				
授業の目的 ねらい	本講義では、マーケティングの基礎を学び、スポーツにおけるマーケティングの基礎的な考え方と重要性を考える。スポーツのマーケティングは現在、プロスポーツから民間スポーツや公共スポーツ、地域スポーツや学校体育など多岐にわたる場面で必要となっている。有形商品のほか無形商品であるサービスなどのマーケティングについて、スポーツマーケットの実態や戦略方法を学び、最終的にはスポーツマーケティングの実践者になるべく、知識や能力を蓄えたい。				
授業の目的 到達目標	(1)マーケティングの基本を理解する。 (2)スポーツにおけるマーケティングを理解する。 (3)スポーツマーケットの実態や戦略方法を理解する。				

授業の計画					
第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】本講義の内容を紹介し、15回の講義展開を説明する。 【授業時間外の学修内容】スポーツのマーケティングについて理解を深めておくこと。	A	第9回	【テーマ】スポーツにおけるマーケティング・ミックス 【計画内容】スポーツにおけるマーケティング・ミックス戦略について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読み、内容を把握しておくこと。	A
第2回	【テーマ】スポーツマーケティングとは 【計画内容】スポーツの産業規模や成長の概要について。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読み、内容を把握しておくこと。	A	第10回	【テーマ】商品としてのスポーツ 【計画内容】スポーツを商品としてとらえることについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読み、内容を把握しておくこと。	A
第3回	【テーマ】スポーツマーケティングの歴史 【計画内容】スポーツマーケティングの歴史について、起源ー発展ー洗練と追っていく。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読み、内容を把握しておくこと。	A	第11回	【テーマ】スポーツ産業における製品 【計画内容】スポーツ産業における製品の定義、分類などについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読み、内容を把握しておくこと。	A
第4回	【テーマ】スポーツ産業のグローバルマーケット 【計画内容】スポーツ産業のグローバルマーケットについて、グローバルビジネスの構造、経済と金融、グローバルスポーツの観点から学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読み、内容を把握しておくこと。	A	第12回	【テーマ】スポーツ産業における価格戦略 【計画内容】スポーツ産業における価格および価格の決定、4Cについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読み、内容を把握しておくこと。	A
第5回	【テーマ】スポーツマーケティングの理論 【計画内容】スポーツマーケティングの理論として、基本的な考え方や捉え方について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読み、内容を把握しておくこと。	A	第13回	【テーマ】スポーツ産業におけるマーケティング・チャネル 【計画内容】スポーツ産業におけるマーケティング・チャネルおよび流通について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読み、内容を把握しておくこと。	A
第6回	【テーマ】スポーツマーケットの実態 【計画内容】スポーツビジネスの場となるマーケットの実態について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読み、内容を把握しておくこと。	A	第14回	【テーマ】スポーツビジネスの将来 【計画内容】スポーツビジネスの将来像および展望について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読み、内容を把握しておくこと。	A
第7回	【テーマ】スポーツビジネス産業 【計画内容】スポーツビジネス産業の規模や成長発展について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読み、内容を把握しておくこと。	A	第15回	【テーマ】講義のまとめ 【計画内容】講義のまとめ、ふりかえりを実施する。 【授業時間外の学修内容】本講義をふりかえり、講義プリントなどから重要ポイントを理解しておくこと。	A
第8回	【テーマ】スポーツビジネスにおけるセグメンテーション・ターゲティング・ポジショニング 【計画内容】セグメンテーション・ターゲティング・ポジショニングの目的や意味について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読み、内容を把握しておくこと。	A			

テキスト	プリントや資料を配付します
参考書	木内明ほか、2004年、『体育学への探求』、ティプロ、4990167503 B.G. ピッツ・D.K. ストットラー編著、2006年、『スポーツ・マーケティングの基礎』、白桃書房、4561641580 原田宗彦編著、2018年、『スポーツマーケティング改訂版』、大修館書店、978-4469268430 仲澤眞・吉田政幸編著、2017年、『よくわかるスポーツマーケティング』、ミネルヴァ書房、978-4623081189

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	オフィスアワー:952研究室
資格	[ス]アシスタントマネージャー_必修
その他	スポーツのマーケットやビジネスに興味・関心があり、将来こうした進路を目指す学生の履修を望みます。 変革や改革がめまぐるしい現状に対して、よりよくするためのレポートを完成させるため、より実践的な能力やモチベーションを発揮することを期待します。

科目名	生涯スポーツ指導演習(サッカー)	授業形態	演習	単位数	2
教員名	安部　久貴				
授業の目的 ねらい	サッカーの技術を身につけるとともに、ルールを理解した上で教育現場で計画的に授業を展開するために必要な指導力を養うことを目的とする。授業では、実技の実践のみならず、グループでの模擬授業の立案・実践・振り返りを通じて、コミュニケーションスキル等の社会的スキルを高めることも目的とする。				
授業の目的 到達目標	(1)体育の授業や初心者レベルの指導で模範ができるような基礎技術を身につける (2)教育現場で授業を計画的に実施するための指導力を身につける。 (3)基本的な競技規則を理解する。 (4)実技の実践、指導の立案・実践・振り返りを通して社会的スキルを養う。				

授業の計画					
第1回	【テーマ】授業ガイダンス 【計画内容】授業の紹介をし、15回の授業展開を説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】ゲーム(8vs8) 【計画内容】8対8のゲームの中で効果的に個人技術とグループ戦術を発揮する方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】ゲームでの攻防について自分なりに作戦を考えておくこと。	E
第2回	【テーマ】個人技術(ドリブル) 【計画内容】脚でボールを運ぶ技術について学びます。 【授業時間外の学修内容】ドリブルの仕方について自分で調べておくこと。	E	第10回	【テーマ】ゲーム(11vs11) 【計画内容】11対11のゲームの中で効果的に個人技術とグループ戦術を発揮する方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】ゲームでの攻防について自分なりに作戦を考えておくこと。	E
第3回	【テーマ】個人技術(インサイドキック) 【計画内容】足部内側でボールを打つ技術について学びます。 【授業時間外の学修内容】インサイドキックの仕方について自分で調べておくこと。	E	第11回	【テーマ】模擬授業実践① 【計画内容】グループごとにテーマを割り当てて模擬授業を実践する。 【授業時間外の学修内容】事前に指導案を作成すること。	B
第4回	【テーマ】個人技術(インステップキック) 【計画内容】足部正面で強くボールを打つ技術について学びます。 【授業時間外の学修内容】インステップキックの仕方について自分で調べておくこと。	E	第12回	【テーマ】模擬授業実践② 【計画内容】グループごとにテーマを割り当てて模擬授業を実践する。 【授業時間外の学修内容】事前に指導案を作成すること。	B
第5回	【テーマ】グループ戦術(2vs2) 【計画内容】2対2という状況の中で効果的に個人技術を発揮する方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】2対2という状況下での攻防について自分なりに作戦を考えておくこと。	E	第13回	【テーマ】模擬授業実践③ 【計画内容】グループごとにテーマを割り当てて模擬授業を実践する。 【授業時間外の学修内容】事前に指導案を作成すること。	B
第6回	【テーマ】グループ戦術(3vs3) 【計画内容】3対3という状況の中で効果的に個人技術を発揮する方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】3対3という状況下での攻防について自分なりに作戦を考えておくこと。	E	第14回	【テーマ】模擬授業実践④ 【計画内容】グループごとにテーマを割り当てて模擬授業を実践する。 【授業時間外の学修内容】事前に指導案を作成すること。	B
第7回	【テーマ】グループ戦術(4vs4) 【計画内容】4対4という状況の中で効果的に個人技術を発揮する方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】4対4という状況下での攻防について自分なりに作戦を考えておくこと。	E	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】学習した技術や戦術等の要点を整理した上で、模擬授業の振り返り及び総括を行う。 【授業時間外の学修内容】各自で模擬授業の振り返りを行っておくこと。	A・E
第8回	【テーマ】ゲーム(6vs6) 【計画内容】6対6のゲームの中で効果的に個人技術とグループ戦術を発揮する方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】ゲームでの攻防について自分なりに作戦を考えておくこと。	E			

テキスト	講義時に説明する
参考書	講義時に説明する

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		40%	30%		30%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連	該当	経験内容	北海道教育大学岩見沢校サッカー部監督、日本サッカー協会A級コーチライセンス(ジェネラル)
		科目との関連	これまでのサッカーの指導経験を活かして、実技および指導法について教授する。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[ス]中・高1種(保健体育)_選択
その他	教職課程を履修する学生が望ましい。

科目名	生涯スポーツ（障がい者スポーツ）	授業形態	実技	単位数	1
教員名	松井　由紀夫、齊藤　雄大				
授業の目的 ねらい	スポーツの取り組みは、我々の生活を支えるものであり、特に余暇活動の充実においても重要な役割を果たしている。本講義では、実際に障がいのある人たちが取り組んでいる様々な障がい者スポーツを実技体験することで、障がい者スポーツの楽しさを知り、障がいのある人の現在及び将来の生活の充実のためにスポーツが果たす役割や、競技を行う上での配慮事項について理解することをねらいとする。障がい者スポーツ団体と交流したり、ボランティア活動も行い障がい者スポーツ指導員（初級）取得のための理解を深める。				
授業の目的 到達目標	(1)視覚障がい者や肢体不自由者の街中での疑似体験活動を通して、障がいのある人に対する必要な支援の方策や課題について理解する。 (2)障がい者スポーツの実技体験を通して、様々な障がい者スポーツの種目やルールについて理解する。 (3)障がい者スポーツ団体のボランティア等を行いながら、障がい者スポーツへの理解と啓発を行う。 (4)障がい者スポーツ指導員（初級）への知識と理解を深める。				

授業の計画					
第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】講義全体の授業展開を説明します。受講学生数によっては、全体での活動やグループ別の活動も想定されることから、計画や概要について十分に理解を図る。障がい者スポーツ指導員（初級）の取得手続きの説明を行い、正確な情報の周知を行う。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】車椅子バスケットボール② 【計画内容】パラリンピック種目である車椅子バスケットボールの試合をチームに分かれて体験します。 【授業時間外の学修内容】前回の実技の課題について、反省点を整理し復習しておくこと。	E
第2回	【テーマ】世界の障がい者スポーツの現状を映像等で理解し、日本の現状を考えます。 【計画内容】米国の障がい者スポーツの様子（車椅子ソフトボールや車椅子バスケットボール等）を映像で視聴し、これからの障がい者スポーツのあり方を考えます。 【授業時間外の学修内容】「障がい者スポーツ論」の該当箇所の内容を復習しておくこと。	A・K	第10回	【テーマ】車椅子バスケットボール③ 【計画内容】パラリンピック種目である車椅子バスケットボールの試合をチームに分かれて体験します。 【授業時間外の学修内容】前回の実技の課題について、反省点を整理し復習しておくこと。	E
第3回	【テーマ】視覚障がいや肢体不自由者の疑似体験とボランティア活動の実施 【計画内容】車椅子での移動やアイマスクを着用し白杖を持って歩行することで、肢体不自由者や視覚障がい者の疑似体験をします。また、スポーツボランティアを行いながら、障がい者スポーツの理解啓発を図ります。 【授業時間外の学修内容】「障がい者スポーツ論」の該当箇所の内容を復習しておくこと。	E	第11回	【テーマ】障がい者スポーツ団体との交流や障がい者スポーツのレポートの作成 【計画内容】障がい者スポーツ団体の支援や交流活動、ボランティア活動を通して、障がい者スポーツへの理解を深め、レポートにまとめる。また、障がい者スポーツの中から興味関心を持ったスポーツについて図書館等で調べる。 【授業時間外の学修内容】パラリンピック種目やスペシャルオリンピックス種目等の興味関心があるものを選び予習しておく。	G
第4回	【テーマ】車椅子走（ショートレース） 【計画内容】大学構内で実際に車椅子走のショートレース（タイムトライアル）を行います。 【授業時間外の学修内容】「障がい者スポーツ論」の該当箇所の内容を復習しておくこと。	E	第12回	【テーマ】車椅子ソフトボール① 【計画内容】車椅子に乗った状態でベースボール型スポーツの基礎（キャッチボール・バッティング・ルール等）を体験します。 【授業時間外の学修内容】前回の実技の課題について、反省点を整理し復習しておくこと。	E
第5回	【テーマ】視覚障がい者走の体験 【計画内容】2人一組になり、1人がアイマスクを着用し、実際に大学構内で視覚障がい者の中距離走タイムトライアルを行います。 【授業時間外の学修内容】視覚障がい者の特徴を理解し把握しておくこと。	E	第13回	【テーマ】車椅子ソフトボール② 【計画内容】車椅子に乗った状態でベースボール型スポーツの試合をチームに分かれて行います。 【授業時間外の学修内容】前回の実技の課題について、反省点を整理し復習しておくこと。	E
第6回	【テーマ】重度障がい者のスポーツ ボッチャ① 【計画内容】パラリンピック種目のボッチャのルールを知り、実際にコートづくりをしたり、レクリエーションボッチャを体験しします。 【授業時間外の学修内容】重度の肢体不自由者の特徴について、理解し把握しておくこと。	A・E	第14回	【テーマ】車椅子ソフトボール③ 【計画内容】車椅子に乗った状態でベースボール型スポーツの試合をチームに分かれて行います。 【授業時間外の学修内容】前回の実技の課題について、反省点を整理し復習しておくこと。	E
第7回	【テーマ】重度障がい者のスポーツ ボッチャ② 【計画内容】車椅子等を使用して実際に介助者の支援を受け、ランプ（補助具）等を用いながらパラリンピック種目のボッチャを体験します。 【授業時間外の学修内容】重度の肢体不自由者の特徴について、復習しておくこと。	E	第15回	【テーマ】障がい者スポーツやアダプテット・スポーツ等の振り返りとまとめ、障がい者スポーツの未来について 【計画内容】これまでの講義や障がい者スポーツ実技を振り返り、アダプテット・スポーツの考え方やまとめを行い、2021年のパラリンピック等障がい者スポーツの発展や将来について考えます。課題ワークや定着度の確認を行います。 【授業時間外の学修内容】これまで実施した実技内容と「障がい者スポーツ」の該当箇所を復習しておくこと。	A・L
第8回	【テーマ】車椅子バスケットボール① 【計画内容】パラリンピック種目である車椅子バスケットボールの基礎（車椅子操作・ボール操作・パス・シュート）を体験します。 【授業時間外の学修内容】車椅子に乗った状態でゴール型スポーツの基礎を体験します。	E			

テキスト	プリントを使用する
参考書	講義時に説明する

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%		60%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	初回講義時に授業内容等について具体的に説明します。
資格	[ス][健]障がい者スポ指導員_必修
その他	原則、前年度に「障がい者スポーツ論」の単位を修得している学生を対象とする。また、運動指導に関する進路を考えている学生、及び特別支援学校の教員を目指している学生、「障がい者スポーツ指導員（初級）」の資格を取得する予定の学生の受講が望ましい。

科目名	専門演習Ⅲ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	担当教員				
授業の目的 ねらい	「専門演習Ⅰ・Ⅱ」で学んだ生涯スポーツならびにスポーツ教育に関連する専門分野において個人またはグループで問題提起した課題について取り上げ、その課題解決に向けてその研究室等においてゼミナール形式によって授業を展開していきます。そして、後期の「卒業研究」へとつなげていきます。				
授業の目的 到達目標	(1)専門の学問領域での課題を設定し、解決することができる。 (2)「卒業研究」へと発展させることができる。				
授業の計画	【計画内容】 第 1 回　前学期オリエンテーション 第2-14回　個別ゼミによる研究活動 第 15 回　ふりかえりおよび卒業研究に向けての準備 【準備学習の内容】 (授業の振り返り)各自のレポート作成・発表資料作成 (その他)個別ゼミにおいて説明 【授業時間外の学修内容】専門領域の学問・課題を行うこと				A・B・C・J
テキスト	ゼミの時に指示をします				
参考書	ゼミの時に指示をします				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足			平時		平時	

課題に関するフィードバックの方法			
実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	
質問への対応	ゼミごとで初回講義時に具体的に説明します。		
資格			
その他			

スポーツ教育学科 学科専門科目

科目名	卒業研究	授業形態	演習	単位数	2
教員名	担当教員				
授業の目的 ねらい	本科目の目的は、生涯スポーツおよびスポーツ教育に関する学問分野の専門性を高めることを目的として、研究活動に取り組みます。同時に、テーマの設定、そのテーマに関する先行資料の調査、課題の洗い出し、そしてそれらの解決策の探求を通じて、実践的な課題解決能力を養います。				
授業の目的 到達目標	(1)各自で取り組んだ研究を論文形式にまとめる。 (2)研究結果を発表する。				
授業の計画	【計画内容】 第１回　担当教員によるオリエンテーション(全教員) 第２回　以降、展開方法は、担当教員が指示する(全教員) 第３回　卒業研究の進め方1: テーマ、研究方法、結果処理、考察、まとめについて(全教員) 第４回　卒業研究の進め方2: テーマ、研究方法、統計処理法(全教員) 第５回　調査および測定の方法について(全教員) 第６回　調査および測定の方法について(全教員) 第７回　調査および測定の方法について(全教員) 第８回　結果処理、考察について(全教員) 第９回　結果処理、考察について(全教員) 第10回　卒業研究のまとめ方(全教員) 第11回　卒業研究のまとめ方(全教員) 第12回　プレゼンテーションの方法(全教員) 第13回　プレゼンテーションの方法(全教員) 第14回　卒業研究の発表練習会(全教員) 第15回　卒業研究発表会(全教員) 【準備学習の内容】 研究に関わる講義の復習をしておくこと 【授業時間外の学修内容】専門領域の学問・課題を行うこと				A・B・C・J
テキスト	ゼミの時に指示をします				
参考書	ゼミの時に指示をします				

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			30%		30%	40%
補足			卒業論文提出		平時	卒業研究発表会

課題に関するフィードバックの方法			
実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	
質問への対応	ゼミごとで初回講義時に説明します。		
資格			
その他			

科目名	知的障害教育Ⅱ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	瀧澤　聡				

授業の目的	ねらい	特別支援教育では、実態把握と学習指導要領(自立活動を含む)をふまえながら、「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」が立案され、授業が展開されている。本講義では、実態把握の方法と学習指導要領(自立活動を含む)の理解を深めながら、特別支援学校(知的障がい)で指導されている授業指導案の立案、演習を行う。
	到達目標	(1)実態把握のための心理検査の実施方法を習得する。 (2)特別支援学校学習指導要領(自立活動を含む)の理解を深める。 (3)「個別の指導計画」の内容の理解を目指す。 (4)指導の形態に応じた、指導案の作成を目指す。

授業の計画	第1回	【テーマ】知的障害教育の総復習と本授業との関連 【計画内容】知的障害教育1で学習したことを振り返りながら、知的障害児の特性と教育課程の理解を深めて、本授業との関連について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】知的障害教育Ⅰで学習したことについて、復習すること。	A	第9回	【テーマ】「生活単元学習」3:総まとめ 【計画内容】「生活単元学習」1と「生活単元学習」2の学びを通して得られた観点から、「生活単元学習」の学習指導案を熟読し、指導案を作成する。 【授業時間外の学修内容】「生活単元学習」の指導案を熟読すること。	A
	第2回	【テーマ】特別支援学校学習指導要領の理解の深化1 【計画内容】改定学習指導要領と関連させながら、特別支援学校学習指導要領の内容の理解を深める。 【授業時間外の学修内容】改定学習指導要領ついて予習すること。	A	第10回	【テーマ】「作業学習」1:展開 【計画内容】「作業学習」の学習指導案に基づいた展開について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】「作業学習」について予習すること。	A
	第3回	【テーマ】特別支援学校学習指導要領の理解の深化2 【計画内容】改定特別支援学校学習指導要領の内容の理解を深める。 【授業時間外の学修内容】改定特別支援学校学習指導要領について予習すること。	A	第11回	【テーマ】「作業学習」2:指導略案の検討 【計画内容】前回の授業の展開をふまえて、「作業学習」の指導略案を検討する。 【授業時間外の学修内容】「作業学習」について略案を熟読すること。	A
	第4回	【テーマ】「教科教育」の展開 【計画内容】「教科教育」の学習指導案に基づいた展開について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】「教科教育」について予習すること。	A	第12回	【テーマ】「遊びの指導」の指導細案の検討 【計画内容】「個別の目標」を中心に展開と教材研究のあり方について学び、「遊びの指導」の指導細案の検討をする 【授業時間外の学修内容】「指導案」を熟読しておくこと。	A
	第5回	【テーマ】「教科教育」の指導案の検討1 【計画内容】「個別の目標」を中心に、教材研究のあり方について学び、学習指導案を作成する。 【授業時間外の学修内容】「指導案」を熟読しておくこと。	A	第13回	【テーマ】心理検査1と2:S-M社会生活能力検査及び視知覚検査 【計画内容】「S-M社会生活能力検査」「視知覚検査」などについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】ソーシャルスキルとの関連と「視知覚検査」を予習すること。	A
	第6回	【テーマ】「教科教育」の指導案の検討2 【計画内容】各教科の指導案を熟読し、それぞれの教科特性の理解を深める。 【授業時間外の学修内容】「指導案」を熟読しておくこと。	A	第14回	【テーマ】心理検査3:絵画語い発達検査及び発達検査の目的と適用 【計画内容】「絵画語い発達検査」などについて学び、前回の発達諸検査を振り返りながら、その目的と適用について学ぶ 【授業時間外の学修内容】「絵画語い発達検査」について予習することと前回の諸検査を復習すること。	A
	第7回	【テーマ】「生活単元学習」1:基本事項 【計画内容】「生活単元学習」の学習指導案を作成するための基本事項について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】「生活単元学習」について予習すること。	A	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】知的障害教育の在り方について振り返りをし、再確認する。 【授業時間外の学修内容】これまで配付したプリント等を再確認しておくこと。	A
	第8回	【テーマ】「生活単元学習」2:指導細案の検討 【計画内容】「個別の目標」を中心に、教材研究のあり方について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】「生活単元学習」の「個別の目標」を予習すること。	A			

テキスト	文部科学省、2018年、『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編(幼稚部・小学部・中学部)』、開隆堂出版、4304042297
参考書	講義時に説明する

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	85%				15%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法			
実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	
質問への対応	講義の最初に説明する。		
資格	[ス][教]特支1種_必修		
その他			

スポーツ教育学科 学科専門科目

科目名	肢体不自由教育Ⅱ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	石川　大				

授業の目的	ねらい	日本の肢体不自由教育史について理解し、肢体不自由のある幼児、児童生徒に対する教育について、指導内容・方法の基礎的・応用的な理論と先駆的な指導実践の中から理解を深める。また、特別支援学校(肢体不自由)の教育課程と特に自立活動の指導における6区分の内容と指導について学ぶ。更に、摂食指導や医療的ケアといった日常の健康維持・向上や生命の維持に不可欠な内容について理解を深める。
	到達目標	(1)日本の肢体不自由教育史について、その歴史的発展と展望、現状と課題について学ぶ。 (2)特別支援学校(肢体不自由)における教育課程の編成・内容について理解する。 (3)肢体不自由教育における自立活動の具体的な指導内容・方法について理解を深める。 (4)肢体不自由教育における摂食指導や医療的ケアについて理解する。 (5)肢体不自由教育における感覚運動アセスメントとその実際的な指導について学ぶ。

授業の計画					
第1回	【テーマ】講義のガイダンスについて 【計画内容】15回の講義内容について説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】肢体不自由に伴う疾患の理解に関して1 【計画内容】肢体不自由に伴う疾患に関してグループワークを通して理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義内容について予習しておくこと。	A・H
第2回	【テーマ】日本の肢体不自由教育史について 【計画内容】我が国及び北海道の肢体不自由教育史について、その歴史と展望、現状と課題について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義内容について予習しておくこと。	A	第10回	【テーマ】肢体不自由に伴う疾患の理解に関して2 【計画内容】肢体不自由に伴う疾患に関してグループワークの成果を発表し、理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義内容について予習しておくこと。	A・F
第3回	【テーマ】肢体不自由のある児童生徒の障害認識とアセスメント 【計画内容】肢体不自由教育における児童生徒の障害について、ICF の理念に基づく障害者観を理解するとともに、各種のアセスメントに関する方法・内容について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義内容について予習しておくこと。	A	第11回	【テーマ】肢体不自由教育における教科の学習について 【計画内容】肢体不自由教育における障害特性と教科の学習について理解し、どのような指導方法・内容が必要かを学びます。特に、発達障害における学習障害(LD)との関連と指導方法・内容について理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義内容について予習しておくこと。	A
第4回	【テーマ】肢体不自由特別支援学校における個別の教育支援計画の内容と作成について 【計画内容】肢体不自由特別支援学校における個別の教育支援計画の内容と作成について理解します。特に、ICF(国際生活機能分類)の活用について、その実践成果も学びます。 【授業時間外の学修内容】講義内容について予習しておくこと。	A・K	第12回	【テーマ】摂食機能の障害と摂食指導の実際について 【計画内容】摂食機能の障害と摂食指導の実際について学びます。特に、障害の重度・重複化に伴う摂食障害について、本道の実態と取り組みについて理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義内容について予習しておくこと。	A
第5回	【テーマ】肢体不自由教育における自立活動の指導1～「健康の保持」「心理的な安定」に関して～ 【計画内容】肢体不自由教育における自立活動の指導の中で「健康の保持」「心理的な安定」に関して深く学びます。 【授業時間外の学修内容】講義内容について予習しておくこと。	A	第13回	【テーマ】学校で行う医療的ケアの意義と内容について 【計画内容】学校で行う医療的ケアの意義と内容について、訪問教育における医療的ケアの事例などから、実施のための基礎的知識を学びます。また、医療機関や医療専門職員との連携・協力についても理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義内容について予習しておくこと。	A
第6回	【テーマ】肢体不自由教育における自立活動の指導2～「人間関係の形成」「環境の把握」に関して～ 【計画内容】肢体不自由教育における自立活動の指導の中で「人間関係の形成」「環境の把握」に関して深く学びます。 【授業時間外の学修内容】講義内容について予習しておくこと。	A	第14回	【テーマ】特別支援学校(肢体不自由)における医療的ケアの必要な幼児、児童生徒への対応の実際 【計画内容】医療的ケアの必要な幼児、児童生徒への対応の実際について学びます。具体的な指導事例などから指導方法・内容の応用的な理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義内容について予習しておくこと。	A
第7回	【テーマ】肢体不自由教育における自立活動の指導3～「身体の動き」に関して～ 【計画内容】肢体不自由教育における自立活動の指導の中で「身体の動き」に関して深く学びます。 【授業時間外の学修内容】講義内容について予習しておくこと。	A	第15回	【テーマ】ICF の理念に基づく特別支援教育のセンター的役割 【計画内容】ICF の理念に基づく障害者の理解を深め、肢体不自由特別支援学校のセンター的機能の役割について理解します。また、本道における地域支援ネットワークとその機能・役割、連携のあり方についても学びます。 【授業時間外の学修内容】講義内容について予習しておくこと。	A
第8回	【テーマ】肢体不自由教育における自立活動の指導4～「コミュニケーション」に関して～ 【計画内容】肢体不自由教育における自立活動の指導の中で「コミュニケーション」に関して深く学びます。 【授業時間外の学修内容】講義内容について予習しておくこと。	A			

テキスト	プリントを配付します
参考書	安藤隆男・藤田継道、2015年、『よくわかる肢体不自由教育』、ミネルヴァ書房、4623072507 全国肢体不自由養護学校長会、2005年、『新たな肢体不自由教育実践講座』、ジアース教育新社、4921124474 飯野順子、2017年、『肢体不自由教育における子ども主体の子どもが輝く授業づくり』、ジアース教育新社、4863714410

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	30%		50%		20%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	課題について学んだ内容を発表し、理解を深める。 指導案の作成を通して障害の配慮、工夫点を理解する。 課題やテーマに応じたグループワーク及び成果報告を行う。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	特別支援学校教諭・教頭・校長
		科目との関連	特別支援学校教諭・教頭・校長としての業務経験をもとに実務に即した指導を行う。

質問への対応	講義時や研究室で随時対応します。
資格	[ス][教]特支1種_必修
その他	初回の講義で説明します。

科目名	特別支援教育実習事後指導	授業形態	講義	単位数	1
教員名	松井　由紀夫、瀧澤　聡				
授業の目的	ねらい	特別支援学校における教育実習を終えて、実習報告会を開催し、教職に対する意欲を喚起する。 教師としての資質向上に向けて、教育実習の自己評価をするとともに、より意欲的に取り組む態度を身につける。			
	到達目標	(1)実習後の実習報告会に参加し、報告レポートを作成する。 (2)特別支援学校での教育実習を振り返り、自己評価することができる。 (3)特別支援学校の教師としての資質や能力を身につけることができる。			
授業の計画	【計画内容】 1　オリエンテーション (1) 特別支援学校で行った教育実習の成果や課題を整理する。 (2) 教育実習で学んだことについてのまとめや自己評価を行う。 2　教育実習報告会の実施 (1) 教育実習報告会を開催する。 (2) 教育実習報告会へ参加する。 (3) 報告会に参加し、感想等のレポートを提出する。 (4) 報告会での報告内容を聞き、自分の実習内容と比較しながら自己評価する。 3　教育実習終了後のまとめ (1) 教育実習で学んだことについてグループに分けて振り返りを行う。 (2) 振り返りの内容に関してグループごとに発表し合う。 (3) 研究授業等の反省会で明確になった指導方法、指導技術等の課題を整理する。 (4) 実習校へお礼状を送付する。 【授業時間外の学修内容】教育実習を終えての具体的な自己課題を持ち、実習や授業で習得したいことを整理・確認しておく。				A・D・H
テキスト	プリントを配付します				
参考書	文部科学省、2018年、『特別支援学校幼稚部教育要領小学部・中学部学習指導要領』、海文堂 文部科学省、2018年、『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説　総則編』、開隆堂 文部科学省、2009年、『特別支援学校高等部学習指導要領』、海文堂				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		30%	20%
	補足			レポート、グループワーク		実習への意欲	実習校の評価

課題に関するフィードバックの方法	特別支援学校で行った教育実習の成果や課題について整理する。 研究授業の反省会で明確になった指導方法、指導技術等の課題について整理する。 今後、教職に進むに当たり課題を解決するための見通しを持てるようにする。		
実務経験と授業の関連	該当	経験内容	松井由紀夫 / 特別支援学校教諭、教頭、校長
		科目との関連	松井由紀夫 / 特別支援学校教諭、教頭、校長としての業務経験をもとに、実務に則した指導を行う。
質問への対応	オリエンテーション等で具体的に説明します。		
資格	[ス]特支1種_必修		
その他	特別支援学校で行った教育実習の報告会に必ず参加し、教育実習の成果や課題について整理する。 研究授業等の反省会で明確になった指導方法、指導技術等の課題について整理する。 今後、教職に進むにあたり課題を解決するための見通しを持てるようにする。		

科目名	特別支援教育実習	授業形態	実習	単位数	2
教員名	松井　由紀夫、瀧澤　聡				
授業の目的	ねらい	特別支援学校において、学校経営の方法、学校評価の方法、保護者との連携、児童生徒の安全、地域における特別支援教育のセンター的機能の実際等を理解する。 次に、各教科、道徳、特別活動、自立活動、総合的な学習の時間の観察を行い、その後に学習指導案を作成し、実際の授業を行う。また、学級経営の基礎や生徒指導についても理解を深める。 実習終了後、反省会を開催し、教職に対する意欲を喚起する。				
	到達目標	(1)実習校の教育活動を理解することができる。 (2)生徒理解を通した学級活動の指導ができる。 (3)教科指導等の授業を指導することができる。 (4)実習前に実習先についての学びを深めるとともに、実習の心得を養う。 (5)実習後の実習報告会に参加し、報告レポートを作成する。				
授業の計画	【計画内容】法令や実習学校により定められた期間中は、実習校の教職員に準じた勤務をし、次のような内容の理解と実際の指導を行う。 1　実習校の教育活動の理解 (1)実習校の教育目標、教育計画など教育課程について (2)実習校の組織・運営及び教員の勤務内容について (3)各教科、道徳、特別活動、自立活動、総合的な学習の時間の指導内容・方法について (4)学級経営及び生徒指導・進路指導・教育相談について 2　観察、参加、授業実習等の実践 (1)教科指導、特別活動、道徳、総合的な学習の時間の観察、参加、授業実習 (2)生徒理解を通した学級活動の実習 3　教職の理解 (1)教職への自己の適性判断 (2)教職の使命感・責任感の譲成 4　実習後のまとめ (1)実習後の実習校へお礼状を送る (2)実習報告レポートを作成する (3)実習報告会へ参加する 【授業時間外の学修内容】『教育実習の手引き』を熟読すること。				A・D・B
テキスト	プリントを配付します				
参考書	文部科学省、2018年、『特別支援学校幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領』、海文堂 文部科学省、2018年、『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編』、開隆堂 文部科学省、2018年、『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編』、開隆堂				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			10%		20%	70%
	補足			実習日誌		実習への意欲	実習校における評価

課題に関するフィードバックの方法	
実務経験と授業の関連	該当　経験内容：松井由紀夫 / 特別支援学校教諭、教頭、校長
	科目との関連：松井由紀夫 / 特別支援学校教諭、教頭、校長としての業務経験をもとに実務に則した指導を行う。
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[ス]特支1種_必修
その他	前年度までに定められている科目を修得している必要があること。教職センター主催の教育実習の事前オリエンテーションには、必ず出席するとともに、教育実習校の事前打ち合わせにも必ず出席すること。また、『教育実習の手引き』の「実習生の心得」と「注意事項」は、厳守すること。

科目名	スポーツ教育学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	竹田　唯史				

授業の目的	ねらい	スポーツ指導者の役割や心構えを理解し、各種のスポーツを指導するための具体的な指導方法論を学習します。スポーツを指導する際の留意点や、運動観察・評価の方法を理解し、スポーツ指導計画の立案、評価や安全管理の方法について学びます。
	到達目標	(1)スポーツの技術指導の流れと留意点を理解できる。 (2)運動の質的分析の観点を理解できる。 (3)スポーツの指導方法を作成するための理論を理解し、指導計画を立案できる。

授業の計画					
第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】本講義の目標と各講義の内容について理解する。スポーツ指導の意義について理解する。これまでに指導を受けた指導者の指導について振り返る。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】運動の習熟過程と指導過程① 【計画内容】運動の習熟過程である粗形態、精形態、安定段階の3段階を理解し、それぞれの段階における指導の留意点を理解する。 【授業時間外の学修内容】参考図書を精読してくる。	A
第2回	【テーマ】スポーツ指導の目的 【計画内容】対象者の年齢、性別、体力、目的に対応した指導を行うということを理解し、指導者の役割は実施者のための支援にあることを理解する。 【授業時間外の学修内容】これまで自分が受けたスポーツ指導についてふり返りを行ってくる。	A	第10回	【テーマ】運動の習熟過程と指導過程② 【計画内容】技術・戦術論：スポーツ運動における技術・戦術の概念を理解する。技術と戦術の関係、合理的主要構成要素、個人的な様式について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】参考図書を精読してくる。	A
第3回	【テーマ】指導者の役割① 【計画内容】指導者の必要性と役割、指導者に求められる能力や知識について学ぶ。スポーツ医科学に関する知識の必要性を理解する。 【授業時間外の学修内容】スポーツ指導者の役割について考えてくる。	A	第11回	【テーマ】指導計画の立て方① 【計画内容】対象者に応じた指導計画の立案・実施・評価方法を理解する。集団への指導、個人への指導の特長を理解する。 【授業時間外の学修内容】前回のプリント内容を精読してくる。	A
第4回	【テーマ】指導者の役割② 【計画内容】指導者の心構えについて学ぶ。コミュニケーション能力や医科学スタッフとの連携の重要性について理解する。 【授業時間外の学修内容】スポーツ指導者に必要な知識、能力は何かを考えてくる。	A	第12回	【テーマ】指導計画の立て方② 【計画内容】年齢・発達段階といった各期における指導計画方法を理解する。 【授業時間外の学修内容】前回のプリント内容を精読してくる。	A
第5回	【テーマ】指導者の役割③ 【計画内容】競技者育成プログラムの理念、ジュニア期からの一貫指導の重要性や指導者間の連携、ネットワークの重要性を理解する。 【授業時間外の学修内容】ジュニア期からの効果的な指導や課題は何かを考えてくる。	A	第13回	【テーマ】スポーツ活動と安全管理 【計画内容】スポーツ活動における安全管理について学習する。個人的要因、環境的要因、競技特性による違いを理解する。 【授業時間外の学修内容】前回のプリント内容を精読してくる。	A
第6回	【テーマ】運動観察・分析の方法① 【計画内容】スポーツ運動学に基づく、運動分析・観察の方法と視点を学習する。運動構造（局面構造、運動リズム）について理解する。 【授業時間外の学修内容】参考図書を精読してくる。	A	第14回	【テーマ】指導計画の作成の実際① 【計画内容】各自で指導計画を作成し、指導プログラムを作成する。取り上げるスポーツの歴史的発展、技術構造、指導目標、内容などについて論述する。 【授業時間外の学修内容】前回のプリント内容を精読してくる。	A
第7回	【テーマ】運動観察・分析の方法② 【計画内容】運動における緊張と解緊を表す運動リズムについて理解する。スポーツにおけるリラックスの意義を理解し、循環運動、非循環運動における力の変動について理解する。 【授業時間外の学修内容】参考図書を精読してくる。	A	第15回	【テーマ】指導計画の作成の実際② 【計画内容】各自で指導計画を作成し、指導プログラムを作成する。取り上げるスポーツの歴史的発展、技術構造、指導目標、内容などについて発表する。 【授業時間外の学修内容】各自の興味のあるスポーツについて調べてくる。	A
第8回	【テーマ】運動観察・分析の方法③ 【計画内容】運動の流動、伝導、正確性、先取り、調和といったカテゴリーの内容についての認識を深める。 【授業時間外の学修内容】参考図書を精読してくる。	A			

テキスト	プリントを使用します
参考書	クルト・マイネル著・金子明友訳、1981年、『マイネルスポーツ運動学』、大修館書店、9784469260663 高村泰雄、1987年、『物理教授法の研究』、北海道大学図書刊行会、9784832953017

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	40%		60%			
	補足			レポート			

課題に関するフィードバックの方法	課題実施後に説明します。		
実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	
質問への対応	E-Mail :take@hokusho-u.ac.jp　研究室：7号棟5F		
資格			
その他			

科目名	スポーツ教育演習 B	授業形態	演習	単位数	2
教員名	森　靖明				
授業の目的 ねらい	本講義では、学校体育の各種運動領域におけるルールや技術等の基礎的知識及び指導方法論について理論的に学び、学習成果を指導実践に活かすことができることをねらいとする。また、体育理論及び保健分野に関する知識についても理解を深める学習を行う。本講義を通じて、保健体育科教諭として必要な資質・能力を養う。				
授業の目的 到達目標	(1)保健体育科教諭に求められる資質・能力について理解している。 (2)各運動領域における基礎的知識を習得している。 (3)各運動領域の指導方法について理解している。 (4)体育理論及び保健に関する知識を習得している。				

授業の計画					
第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義のねらいと到達目標、全15回の講義展開及び受講のルール等について説明。スポーツ教育の意義を学びます。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】G ダンス　冬季スポーツ 【計画内容】ダンス及び冬季スポーツ(スキー、スケート)に関する基礎的知識及び指導方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説」G ダンスを熟読しておくこと。	A・B・H
第2回	【テーマ】A 体つくり運動 【計画内容】体ほぐし運動と体の動きを高める運動の基礎的知識及び実技指導方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説」A 体つくり運動を熟読しておくこと。	A・B・H	第10回	【テーマ】H 体育理論 【計画内容】体育理論に関する基礎的知識を学びます。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説」H 体育理論を熟読しておくこと。	A・B・H
第3回	【テーマ】B 器械運動 【計画内容】マット運動・鉄棒運動・跳び箱運動・平均台運動の基礎的知識及び実技指導方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説」B 器械運動を熟読しておくこと。	A・B・H	第11回	【テーマ】保健 【計画内容】中学校「保健分野」、高等学校科目「保健」に関する基礎知識を学びます。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説」中学校「保健分野」、高等学校科目「保健」を熟読しておくこと。	A・B・H
第4回	【テーマ】C 陸上競技 【計画内容】陸上競技の各種目に関する基礎的知識及び指導方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説」C 陸上競技を熟読しておくこと。	A・B・H	第12回	【テーマ】体育実技①(球技・マット運動) 【計画内容】バレーボール・バスケットボールの基礎的技術、マット運動の連続技に関する実技学習を行います。 【授業時間外の学修内容】北海道・札幌市教育委員会のホームページに掲載される「北海道・札幌市公立学校教員採用候補者選考検査　第2次検査　実技検査の進め方」を熟読すること。	E
第5回	【テーマ】D 水泳 【計画内容】各泳法に関する基礎的知識及び実技指導方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説」D 水泳を熟読しておくこと。	A・B・H	第13回	【テーマ】体育実技②(球技・マット運動) 【計画内容】バレーボール・バスケットボールの基礎的技術、マット運動の連続技に関する実技学習を行います。 【授業時間外の学修内容】北海道・札幌市教育委員会のホームページに掲載される「北海道・札幌市公立学校教員採用候補者選考検査　第2次検査　実技検査の進め方」を熟読すること。	E
第6回	【テーマ】E 球技「ネット型」 【計画内容】ネット型球技に関する基礎的知識及び実技指導方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説」E 球技「ネット型」を熟読しておくこと。	A・B・H	第14回	【テーマ】体育実技③(水泳) 【計画内容】各泳法の技術に関する実技学習を行います。 【授業時間外の学修内容】北海道・札幌市教育委員会のホームページに掲載される「北海道・札幌市公立学校教員採用候補者選考検査　第2次検査　実技検査の進め方」を熟読すること。	E
第7回	【テーマ】E 球技「ゴール型」 【計画内容】ゴール型球技に関する基礎的知識及び実技指導方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説」E 球技「ゴール型」を熟読しておくこと。	A・B・H	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまで学んできた体育分野及び保健分野に関する基礎的知識について振り返り、理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】これまでの講義内容を復習すること。	A・L・G
第8回	【テーマ】E 球技「ベースボール型」F 武道 【計画内容】ベースボール型球技及び武道(柔道、剣道)に関する基礎的知識及び実技指導方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説」E 球技「ベースボール型」、F 武道を熟読しておくこと。	A・B・H			

テキスト	プリント等を使用します。
参考書	文部科学省、2017年、『中学校学習指導要領解説　保健体育編』、東山書房、978-4-8278-1558-0 文部科学省、2018年、『高等学校学習指導要領解説　保健体育編』、東山書房、978-4-8278-1567-2

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		40%	40%			20%
	補足		教員採用試験2次試験と同様	レポート			グループワーク

課題に関するフィードバックの方法	
実務経験と授業の関連	該当　経験内容：高等学校教諭、教育委員会指導主事 科目との関連：教員及び指導主事の経験を生かし、保健体育科教員に求められる資質・能力を育成する。
質問への対応	初回の講義で具体的に説明します。
資格	
その他	保健体育科教員を志望する学生は必ず受講すること。

科目名	学校教育研究B	授業形態	演習	単位数	2
教員名	渡部　峻				

授業の目的	ねらい	本授業は、学校体育における諸問題や指導方法についての認識を深め、学校教育現場において、児童・生徒に健康やスポーツに関する基礎的・基本的な知識・技術を習得させ、「生きる力」を育成することのできる保健体育教員に必要とされる知識と資質を習得すること。
	到達目標	(1)学校体育における諸問題についての認識を深めることができる。 (2)「体育」についての基礎的・基本的な知識・技術を再構築し、指導の在り方について認識を深めることができる。 (3)「保健」についての基礎的・基本的な知識・技術を再構築し、指導の在り方について認識を深めることができる。 (4)「保健体育」における「生きる力」をはぐくむ指導の在り方について、認識を深めることができる。

授業の計画					
第1回	【テーマ】授業のガイダンスと学習指導要領「保健体育」の目的 【計画内容】授業のねらいと到達目標を含め、15回の授業展開及び受講の心得を説明。学習指導要領「保健体育」の改訂の主旨、学校体育の諸問題について 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容と中学校と高等学校の『学習指導要領解説保健体育編』の改訂の主旨を熟読してくる。	A	第9回	【テーマ】球技「ベースボール型」の指導方法 【計画内容】野球、ソフトボールの実技指導における諸問題とそれに対応した指導方法について 【授業時間外の学修内容】中学校・高等学校『学習指導要領解説保健体育編』の「球技(ベースボール型)」を熟読してくる。	A
第2回	【テーマ】体つくり運動の指導方法 【計画内容】体ほぐし運動、体力を高める運動の実技指導における諸問題とそれに対応した指導方法について 【授業時間外の学修内容】中学校・高等学校『学習指導要領解説保健体育編』の「体つくり運動」を熟読してくる。	A	第10回	【テーマ】武道の指導方法 【計画内容】柔道、剣道、相撲の実技指導における諸問題とそれに対応した指導方法について 【授業時間外の学修内容】中学校・高等学校『学習指導要領解説保健体育編』の「武道」を熟読してくる。	A
第3回	【テーマ】体育理論の指導方法 【計画内容】体育理論の実技指導における諸問題とそれに対応した指導方法について 【授業時間外の学修内容】中学校・高等学校『学習指導要領解説保健体育編』の「体育理論」を熟読してくる。	A	第11回	【テーマ】ダンスの指導方法 【計画内容】創作ダンス、フォークダンス、現代的なリズムのダンスの実技指導における諸問題とそれに対応した指導方法について 【授業時間外の学修内容】中学校・高等学校『学習指導要領解説保健体育編』の「ダンス」を熟読してくる。	A
第4回	【テーマ】器械運動の指導方法 【計画内容】マット、鉄棒、跳び箱、平均台の実技指導における諸問題とそれに対応した指導方法について 【授業時間外の学修内容】中学校・高等学校『学習指導要領解説保健体育編』の「器械運動」を熟読してくる。	A	第12回	【テーマ】冬季スポーツの指導方法 【計画内容】スキー、スケートの実技指導における諸問題とそれに対応した指導方法について 【授業時間外の学修内容】中学校・高等学校『学習指導要領解説保健体育編』の「冬季スポーツ」を熟読してくる。	A
第5回	【テーマ】陸上競技の指導方法 【計画内容】短距離走、長距離走、投てき種目、跳躍種目、リレー種目の実技指導における諸問題とそれに対応した指導方法について 【授業時間外の学修内容】中学校・高等学校『学習指導要領解説保健体育編』の「陸上競技」を熟読してくる。	A	第13回	【テーマ】「保健」の指導方法(1) 【計画内容】中学校「保健」の健康・安全指導における諸問題とそれに対応した指導方法について 【授業時間外の学修内容】中学校・高等学校『学習指導要領解説保健体育編』の「保健」を熟読してくる。	A
第6回	【テーマ】水泳の指導方法 【計画内容】クロール、平泳ぎ、バタフライ、背泳ぎの実技指導における諸問題とそれに対応した指導方法について 【授業時間外の学修内容】中学校・高等学校『学習指導要領解説保健体育編』の「水泳」を熟読してくる。	A	第14回	【テーマ】「保健」の指導方法(2) 【計画内容】高等学校「保健」の健康・安全指導における諸問題とそれに対応した指導方法について 【授業時間外の学修内容】中学校・高等学校『学習指導要領解説保健体育編』の「保健」を熟読してくる。	A
第7回	【テーマ】球技「ネット型」の指導方法 【計画内容】バスケットボール、サッカー、ハンドボールの実技指導における諸問題とそれに対応した指導方法について 【授業時間外の学修内容】中学校・高等学校『学習指導要領解説保健体育編』の「球技(ゴール型)」を熟読してくる。	A	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの授業のまとめと振り返り 【授業時間外の学修内容】学校体育の諸問題と指導方法について、復習してくる。	A
第8回	【テーマ】球技「ゴール型」の指導方法 【計画内容】バスケットボール、サッカー、ハンドボールの実技指導における諸問題とそれに対応した指導方法について 【授業時間外の学修内容】中学校・高等学校『学習指導要領解説保健体育編』の「球技(ゴール型)」を熟読してくる。	A			

テキスト	各回ごとにプリントを配付する。
参考書	文部科学省、『中学校学習指導要領解説　保健体育編』、文科省(東山書房) 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説　保健体育編』、文科省(東山書房) 【監修】江原義弘【著者】勝平純司・山本敬三、2020年、『姿勢と運動の力学がやさしくわかる本』、ナツメ社 深代千之、2009年、『運動も勉強もできる脳を育てる運脳神経のつくり方』、ラウンドフラット

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		40%	
	補足			各課題の取り組み			

課題に関するフィードバックの方法			
実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	
質問への対応	初回の講義で具体的に説明します。E-mail：watashun@hokusho-u.ac.jp		
資格			
その他	保健体育教員を志望する学生(教員採用試験を受験する)は受講することをおすすめします。学科の対策講座など他の保健体育科関連の講義と組み合わせて受講するとさらに効果的です。		

科目名	健康産業施設実習	授業形態	実習	単位数	2
教員名	上田　知行、髙田　真吾				
授業の目的	ねらい	健康づくりのための運動や身体活動の増強を提供・支援する現場でのさまざまなケース(性、年齢、身体状況、嗜好など)に対応できる実践応力を身につけることを目的とする。健康産業施設での実習により、健康産業に携わる専門職の役割について実践を通して理解し、さまざまなケースを体験するなかで、前向きに対応する力、応用する力、考える力を養う。				
	到達目標	(1)運動指導者としてふさわしい接遇能力を身につける。 (2)施設の安全管理、利用者の管理、各種トレーニング機器の使用方法を身につける。 (3)体力測定、集団プログラム、個別プログラムの実践力を身につける。				
授業の計画	【計画内容】 (1)ガイダンス、運動指導者のために必要な行動目標の確認 授業の紹介をし、15回の授業展開を説明する。(上田知行・髙田真吾) (2)実習計画の作成 具体的な実習計画を作成する。(上田知行・髙田真吾) (3)～(5)接遇実習 顧客満足度を得られる接遇についての実習と、接遇に関わる総合演習・ロールプレイ実習を行う。 (上田知行・髙田真吾) (6)～(9)施設管理業務に関わる実習 施設の安全管理・リスクマネジメント、顧客管理に関する実習と、施設管理業務に関わる総合演習・ロールプレイ実習を行う。(上田知行・髙田真吾) (10)～(14)健康運動実習 実際の運動指導、体力測定、個別プログラムの作成と指導に関する実習と、健康運動の指導に関わる総合演習・ロールプレイ実習を行う。(上田知行・髙田真吾) (15)実習見極め・フィードバック 実習日誌と実習報告書を作成し、これまでの実習を総括した実習報告会を行う。(上田知行・髙田真吾) 【授業時間外の学修内容】 テキストの該当部分に関わる項目を熟読しておくこと。実習日誌を作成すること。 実習日誌を作成すること。				A・B・D・F・H・L
テキスト	健康・体力づくり事業財団、2020年、『健康運動指導士養成講習会テキスト』、南江堂				
参考書	講義時に説明します				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法			
実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	
質問への対応	講義時に説明します		
資格	[ス]健康運動指導士_必修、JPSUスポーツトレーナー_選必		
その他	健康運動指導士受験資格を得るもの、または JATI 受験を目指すものが受講できる		

科目名	アスレティックトレーニング指導実習	授業形態	実習	単位数	4
教員名	吉田　真、吉田　昌弘				
授業の目的 ねらい	本科目はアスレティックトレーナー専門科目カリキュラムにおける現場実習に相当することから、機能評価に基づくアスレティックリハビリテーションおよびコンディショニングの目標設定とプログラムの立案を実践する。担当したケースにおける、医学的情報の収集、機能評価と問題点の抽出、プログラム立案までの一連の流れについてプレゼンテーションを行いカンファレンス形式で展開する。加えて、配属先のチームにおけるアスレティックトレーナーとしての役割を把握し、医科学スタッフとの連携・協力、アスレティックトレーナーチームとしての組織の運営と管理について経験を積むことを目的とする。				
授業の目的 到達目標	(1)機能評価に基づくアスレティックリハビリテーションおよびコンディショニングの目標設定とプログラムの立案ができる。 (2)配属先チームにおいてアスレティックトレーナーとしての役割を把握できる。 (3)医科学スタッフとの連携・協力の意義を理解し実践できる。 (4)アスレティックトレーナーチームとしての組織の運営と管理を経験する。				
授業の計画	【計画内容】 1. オリエンテーション(吉田真・吉田昌弘) (1)アスレティックトレーニング指導実習の展開方法について説明します (2)実習参加における心構えおよび事前準備などについて指導します 2. 事前活動(吉田真・吉田昌弘) (1)情報収集活動計画の立案 (2)配属先競技種目・団体の情報収集(選手・スタッフ構成、練習・試合計画、練習環境など) (3)スポーツ外傷・障害に関する医学的情報の収集 (4)競技者のコンディショニングに関する情報収集 (5)現場活動計画の立案 3. 評価測定活動(吉田真・吉田昌弘) (1)検査測定と評価の実践 (2)問題点の抽出と統合解釈 4. プログラム立案(吉田真・吉田昌弘) (1)アスレティックリハビリテーションのプログラム立案 (2)コンディショニングのプログラム立案 5. プログラム実践活動(吉田真・吉田昌弘) (1)プログラムの実施 (2)検査測定と評価(プログラム実施の効果検証) (3)救急処置 (4)テーピング 6. 発表会(吉田真・吉田昌弘) (1)ケースカンファレンス (2)測定評価のフィードバック 【授業時間外の学修内容】 アスレティックトレーナー関連科目の内容を復習すること。				D
テキスト	広瀬統一・泉 重樹・上松大輔・笠原政志、2019年、『アスレティックトレーニング学』、文光堂、9784830651915 Tudor O. Bompa(原著)、尾縣貢、青山清英(訳)、2006年、『競技力向上のトレーニング戦略』、大修館書店、9784469266153 陶山哲夫監修、赤坂清和編、2018年、『スポーツ理学療法学 動作に基づく外傷・障害の理解と評価・治療の進め方 改訂第2版』、メジカルビュー社、9784758319331				
参考書	AT 専門科目テキスト1~9巻				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		20%	20%		50%	10%
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	課題に対するフィードバックは、プレゼンテーションおよび口頭試問による質疑応答やコメント等を通して行います。		
実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	
質問への対応	随時対応します。		
資格	[ス]JPSUスポーツトレーナー_選必、アスレティックトレーナー_選必		
その他			

科目名	競技スポーツコーチング演習Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	畝中　智志、井上　和佳奈、上田　知行、菊地　はるひ、小峯　秋二、竹内　雅明、永谷　稔、廣田　修平、横山　茜理、渡部　峻				

授業の目的	ねらい	スポーツのコーチングは、個々の力を最大限に伸ばすところが目標となる。そのための正しい理論を理解し、専門的な理解を深め、質の高い指導者になるための指導方法を身につけることを目標とする。
	到達目標	(1)技術指導を行うための基礎理論を理解し、専門知識を身に付ける。 (2)コーチングに必要な観察力、伝達力を身に付ける。 (3)段階的な指導方法を身に付ける。

授業の計画					
	第1回	【テーマ】競技スポーツの指導とは 【計画内容】競技スポーツの指導の基礎理論を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	B・G	第9回	【テーマ】個人競技・集団競技の指導の実践(5) 【計画内容】個人種目もしくは集団種目を選択し、種目特性を理解するとともに指導方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。	B・H・G・N
	第2回	【テーマ】競技スポーツ指導の実際(1) 【計画内容】技術指導の観察と視点について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。	B・G	第10回	【テーマ】個人競技・集団競技の指導の実践(6) 【計画内容】個人種目もしくは集団種目を選択し、種目特性を理解するとともに指導方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。	B・H・G・N
	第3回	【テーマ】競技スポーツ指導の実際(2) 【計画内容】運動の修正とフィードバックについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。	B・G	第11回	【テーマ】個人競技・集団競技の指導の実践(7) 【計画内容】個人種目もしくは集団種目を選択し、種目特性を理解するとともに指導方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。	B・H・G・N
	第4回	【テーマ】競技スポーツ指導の実際(3) 【計画内容】示範と表現方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。	B・H・G	第12回	【テーマ】個人競技・集団競技の指導の実践(8) 【計画内容】個人種目もしくは集団種目を選択し、種目特性を理解するとともに指導方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。	B・H・G・N
	第5回	【テーマ】個人競技・集団競技の指導の実践(1) 【計画内容】個人種目もしくは集団種目を選択し、種目特性を理解するとともに指導方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。	B・H・G	第13回	【テーマ】個人競技・集団競技の指導の実践(9) 【計画内容】個人種目もしくは集団種目を選択し、種目特性を理解するとともに指導方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復 習をしておくこと。	B・H・G・N
	第6回	【テーマ】個人競技・集団競技の指導の実践(2) 【計画内容】個人種目もしくは集団種目を選択し、種目特性を理解するとともに指導方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。	B・H・G・N	第14回	【テーマ】個人競技・集団競技の指導の実践(10) 【計画内容】個人種目もしくは集団種目を選択し、種目特性を理解するとともに指導方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復 習をしておくこと。	B・H・G・N
	第7回	【テーマ】個人競技・集団競技の指導の実践(3) 【計画内容】個人種目もしくは集団種目を選択し、種目特性を理解するとともに指導方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。	B・H・G・N	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】競技スポーツのコーチングのまとめと指導実践の確認を行う。 【授業時間外の学修内容】前回までの授業内容を十分に復習し、指導内容について確認をしておくこと。	B・F・G・L
	第8回	【テーマ】個人競技・集団競技の指導の実践(4) 【計画内容】個人種目もしくは集団種目を選択し、種目特性を理解するとともに指導方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。	B・H・G・N			

テキスト	初回講義時に説明します
参考書	プリントを使用します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		40%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法			
実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	
質問への対応	初回講義時に説明します。		
資格			
その他	本学において、野球・陸上競技・エアロビック・バドミントン・バレーボール・ソフトテニス・体操競技・バスケットボールを専門種目として日々意欲的に取り組んでいる学生を対象とする。		

教職に関する科目

科目名	教育実習事後指導	授業形態	講義	単位数	1
教員名	森　靖明、瀧澤　聡、西村　貴之、松井　由紀夫				
授業の目的 ねらい	教育実習で得られた成果や反省点を確認し、今後の教職生活を送る上での課題を明確にすることで、教師としての資質や能力の一層の向上を図るとともに、より意欲的に教員として研修する態度を身に付けます。				
授業の目的 到達目標	(1)教育実習における教科指導や生徒指導等の重要性を理解している。 (2)教師としての使命感・責任感が身に付いている。 (3)教師として研修の意義や必要性を理解している。				
授業の計画	【計画内容】 1. オリエンテーション(全教員) 教育実習を終え、その体験内容を今後の教職にどう活かすかについて学びます。 2. グループワーク(全教員) (1)教育実習の成果や反省点についてグループ毎に討議します。 (2)討議内容に基づき、教育実習で学んだことをレポートにまとめます。 3. 教育実習報告会(全教員) グループワークによるまとめのプレゼンテーションを行い、教育実習で学んだ成果を共有するとともに、今後の教師としての資質や能力を向上させるための課題を確認します。 【授業時間外の学修内容】 教育実習を振り返り、その成果と反省点を踏まえて自己の課題を明確にしておくこと。				A・G・H
テキスト	北翔大学・北翔大学短期大学部、『教育実習の手引き』				
参考書	文部科学省、2017年、『中学校学習指導要領解説　保健体育編』、東山書房、978-4-8278-1558-0 文部科学省、2018年、『高等学校学習指導要領解説　保健体育編』、東山書房、978-4-8278-1567-2				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			80%		20%	
	補足			レポート		学習に主体的に取り組む姿勢	

課題に関するフィードバックの方法	
実務経験と授業の関連 該当 経験内容	森靖明 / 高等学校教諭、教育委員会指導主事　瀧澤聡 / 小学校教諭　松井由紀夫 / 特別支援学校教諭
実務経験と授業の関連 科目との関連	教員及び指導主事の経験を生かし、教員に求められる資質・能力を育成する。
質問への対応	初回の講義で具体的に説明します。
資格	[ス]中・高1種(保健体育)_必修
その他	受講は「教育実習」の単位を修得した学生に限ります。実習を辞退したり、単位を修得できなかった場合は履修することができません。

科目名	教育実習Ⅰ	授業形態	実習	単位数	4
教員名	西村　貴之、森　靖明				
授業の目的	ねらい	教育実習校において、その学校の教職員の指導のもとに教育指導の実習を行い、学校運営、教職員の職務内容、教科や特別活動等の指導技術、生徒理解・生徒指導および保護者や地域との連携のあり方等々を具体的に学びます。 教師としての使命感・責任感を養い、かつ実践的指導力の基礎・基本の習得を図り、現在の学校・教師の問題・課題を見つめ、教師を目指すために自己の資質能力を高めることを学びます。				
	到達目標	(1)教師としての使命感・責任感を養い、実践的な指導力を身に付ける。 (2)教職の基礎・基本の習得を図り、教師の課題を把握し資質能力の向上を図る。				
授業の計画	【計画内容】 1. オリエンテーション：教育実習の心得と準備について学びます。 2. 事前準備：学校の目標、教員の職務内容、学級（ホームルーム）、生徒指導について学びます。 ［事前指導］では (1)教育実習の意義・・・教育実習で学んでほしいこと。 (2)授業づくり・・・教科授業の設計と授業の展開と評価について。 (3)教育実習の実際・・・実習校の指導教諭の立場から考える。 3 ［実習］ 実習校において、3年間で学んだ理論を実践化します。 実習校の指導教員の指導を受けながら現場で必要な実践知に対する理解を深めます。. 4 教育実習を終えて事例検討を行い今後のあり方について学びます。 ［事後指導］ (1)教育実習で学んだことについて実習生から報告を受け幅広い検討を行います。 (2)教育実習後にレポート作成し、その提出を行います。 【授業時間外の学修内容】 教職関連教科・科目の復習、『教育実習の手引き』により事前準備の確認をしておくこと。 これまでの教科ならびに教職に関する科目で学んできた内容を復習しておくこと。				D・A・G・L
テキスト	北翔大学・北翔大学短期大学部、『教育実習の手引き』				
参考書	文部科学省、『中学校・高等学校学習指導要領』 文部科学省、『中学・高等学校学習指導要領解説 保健体育編』				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分					30%	70%
	補足					オリエンテーション等	実習校の評価

課題に関するフィードバックの方法			
実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	
質問への対応	オリエンテーション等で具体的に説明します。		
資格	［ス］中1種（保健体育）_必修、高1種（保健体育）_選必、JPSUスポーツトレーナー_選必、ジュニアスポーツ指導員_選必		
その他	教職課程を履修し、教育実習前に定められた科目を修得した学生が受講対象となります。 ※法令や実習校の定めた期間中は実習校の教職員に準じた勤務内容で実施します。		

科目名	教育実習Ⅱ	授業形態	実習	単位数	2
教員名	西村　貴之、森　靖明				
授業の目的	ねらい	教育実習校において、その学校の教職員の指導のもとに教育指導の実習を行い、学校運営、教職員の職務内容、教科や特別活動等の指導技術、生徒理解・生徒指導および保護者や地域との連携のあり方等々を具体的に学びます。 教師としての使命感・責任感を養い、かつ実践的指導力の基礎・基本の習得を図り、現在の学校・教師の問題・課題を見つめ、教師を目指すために自己の資質能力を高めることを学びます。				
	到達目標	(1)教師としての使命感・責任感を養い、実践的な指導力を身に付ける。 (2)教職の基礎・基本の習得を図り、教師の課題を把握し資質能力の向上を図る。				
授業の計画	【計画内容】 1. オリエンテーション：教育実習の心得と準備について学びます。 2. 事前準備：学校の目標、教員の職務内容、学級（ホームルーム）、生徒指導について学びます。 ［事前指導］ (1)教育実習の意義・・・教育実習で学んでほしいこと。 (2)授業づくり・・・教科授業の設計と授業の展開と評価について。 (3)教育実習の実際・・・実習校の指導教諭の立場から考える。 3［実習］ 実習校において、3年間で学んだ理論を実践化します。 実習校の指導教員の指導を受けながら現場で必要な実践知に対する理解を深めます。. 4 教育実習を終えて事例検討を行い今後のあり方について学びます。 ［事後指導］ (1)教育実習で学んだことについて実習生から報告を受け幅広い検討を行います。 (2)教育実習後にレポート作成し、その提出を行います。 【授業時間外の学修内容】 教職関連教科・科目の復習、『教育実習の手引き』により事前準備の確認をしておくこと。 これまでの教科ならびに教職に関する科目で学んできた内容を復習しておくこと。				D・A・G・L
テキスト	北翔大学・北翔大学短期大学部、『教育実習の手引き』				
参考書	文部科学省、『中学校・高等学校学習指導要領』、東山書房 文部科学省、『中学校・高等学校学習指導要領解説 保健体育編』、東山書房				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分					30%	70%
	補足					オリエンテーション等	実習校における評価

課題に関するフィードバックの方法	
実務経験と授業の関連	経験内容
	科目との関連
質問への対応	オリエンテーション等で具体的に説明します。
資格	［ス］高1種（保健体育）_選必、JPSUスポーツトレーナー_選必
その他	教職課程を履修し、教育実習前に定められた科目を修得した学生が受講対象となります。 ※法令や実習校の定めた期間中は実習校の教職員に準じた勤務内容で実施します。

科目名	教職実践演習(中・高)	授業形態	講義・演習	単位数	2
教員名	西村　貴之、瀧澤　聡、松井　由紀夫、森　靖明				
授業の目的	ねらい	4年間の教職課程の振り返りと課題の発見を通して、中学校ならびに高等学校の保健体育教諭・特別支援教諭として身につけておかなければならない資質や能力の確認とともにさらなる知識や教育技術の補充を図ることを目指します。			
	到達目標	(1)使命感や責任感、教育的愛情等が身についている。 (2)社会性や対人関係能力が身についている。 (3)生徒理解や学級経営等が理解できている。 (4)教科内容の指導力が身についている。			
授業の計画	【計画内容】 第1回 【テーマ】　授業のガイダンス 【計画内容】15回の授業展開を説明します。教員となるための自己課題の設定。(全教員) 【準備内容】履修カルテの作成を通して自己の課題を明確にする。 第2回～第9回 【テーマ】　分野別演習 【計画内容】4つの分野の演習を少人数グループローテーションで行います。 「保健体育科教育指導分野」(森靖明) 「特別支援教育分野」(瀧澤聡) 「学校経営分野」(松井由紀夫) 「教育学分野」(西村貴之) 【準備内容】分野別演習で求められる予習を行って演習に参加すること。 第10回～第12回 【テーマ】　学校教育の営みを理解する 【計画内容】学校を訪れ、教育実習の経験を経て培った視点をもとに授業等の観察を通して、現場の教員の教育的営為を理解します。(森靖明) 【準備内容】大学における教職課程の学びを復習しておく。 第13回～第14回 【テーマ】　現代的教育課題を理解し、その解決方法について考える 【計画内容】SSW や SC 等の専門職をゲストスピーカーに迎えて学生たちと現代的教育課題について議論をするかたちで進めます。(西村貴之) 【準備内容】現代的教育課題に関する資料を入手し調べておく。 第15回 【テーマ】　振り返り 【計画内容】4年間の教職課程で学んだことの振り返りを行います。そのうえで、今後の教員生活を送るうえでの自己の課題や目標を定めます。(全教員) 【準備内容】これまでの履修内容について復習しておく。 【授業時間外の学修内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。履修カルテから自己の課題を明確にする。	B・N・L・F・G・J・H・I			
テキスト	文部科学省、『中学校・高等学校学習指導要領』、東山書房 文部科学省、『中学校・高等学校学習指導要領解説 保健体育編』、東山書房 北翔大学・北翔大学短期大学部、『教育実習の手引き』				
参考書	適宜プリントを配付します				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			90%		10%	
	補足			レポート等			

課題に関するフィードバックの方法	適宜講義中に行う		
実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	
質問への対応	初回講義時に説明します。		
資格	[ス]中・高1種(保健体育)_必修		
その他	教職課程を履修する者のうち、「教科に関する科目」及び「教職に関する科目」のすべてを修得済み、あるいは修得見込みである者が履修を許可されます。「教職課程の総括」を行う科目内容の特性上、他の科目の履修方法とは異なります。履修および評価方法について初回の講義時に説明します。		

健康福祉学科
学科専門科目

科目名	生涯スポーツ(障がい者スポーツ)	授業形態	実技	単位数	1
教員名	松井　由紀夫、齊藤　雄大				
授業の目的 ねらい	スポーツの取り組みは、我々の生活を支えるものであり、特に余暇活動の充実においても重要な役割を果たしている。本講義では、実際に障がいのある人たちが取り組んでいる様々な障がい者スポーツを実技体験することで、障がい者スポーツの楽しさを知り、障がいのある人の現在及び将来の生活の充実のためにスポーツが果たす役割や、競技を行う上での配慮事項について理解することをねらいとする。障がい者スポーツ団体と交流したり、ボランティア活動も行い障がい者スポーツ指導員(初級)取得のための理解を深める。				
授業の目的 到達目標	(1)視覚障がい者や肢体不自由者の街中での疑似体験活動を通して、障がいのある人に対する必要な支援の方策や課題について理解する。 (2)障がい者スポーツの実技体験を通して、様々な障がい者スポーツの種目やルールについて理解する。 (3)障がい者スポーツ団体のボランティア等を行いながら、障がい者スポーツへの理解と啓発を行う。 (4)障がい者スポーツ指導員(初級)への知識と理解を深める。				

授業の計画					
第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】講義全体の授業展開を説明します。受講学生数によっては、全体での活動やグループ別の活動も想定されることから、計画や概要について十分に理解を図る。障がい者スポーツ指導員(初級)の取得手続きの説明を行い、正確な情報の周知を行う。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】車椅子バスケットボール② 【計画内容】パラリンピック種目である車椅子バスケットボールの試合をチームに分かれて体験します。 【授業時間外の学修内容】前回の実技の課題について、反省点を整理し復習しておくこと。	E
第2回	【テーマ】世界の障がい者スポーツの現状を映像等で理解し、日本の現状を考えます。 【計画内容】米国の障がい者スポーツの様子(車椅子ソフトボールや車椅子バスケットボール等)を映像で視聴し、これからの障がい者スポーツのあり方を考えます。 【授業時間外の学修内容】「障がい者スポーツ論」の該当箇所の内容を復習しておくこと。	A・K	第10回	【テーマ】車椅子バスケットボール③ 【計画内容】パラリンピック種目である車椅子バスケットボールの試合をチームに分かれて体験します。 【授業時間外の学修内容】前回の実技の課題について、反省点を整理し復習しておくこと。	E
第3回	【テーマ】視覚障がいや肢体不自由者の疑似体験とボランティア活動の実施 【計画内容】車椅子での移動やアイマスクを着用し白杖を持って歩行することで、肢体不自由者や視覚障がい者の疑似体験をします。また、スポーツボランティアを行いながら、障がい者スポーツの理解啓発を図ります。 【授業時間外の学修内容】「障がい者スポーツ論」の該当箇所の内容を復習しておくこと。	E	第11回	【テーマ】障がい者スポーツ団体との交流や障がい者スポーツのレポートの作成 【計画内容】障がい者スポーツ団体の支援や交流活動、ボランティア活動を通して、障がい者スポーツへの理解を深め、レポートにまとめる。また、障がい者スポーツの中から興味関心を持ったスポーツについて図書館等で調べる。 【授業時間外の学修内容】パラリンピック種目やスペシャルオリンピックス種目等の興味関心があるものを選び予習しておく。	G
第4回	【テーマ】車椅子走(ショートレース) 【計画内容】大学構内で実際に車椅子走のショートレース(タイムトライアル)を行います。 【授業時間外の学修内容】「障がい者スポーツ論」の該当箇所の内容を復習しておくこと。	E	第12回	【テーマ】車椅子ソフトボール① 【計画内容】車椅子に乗った状態でベースボール型スポーツの基礎(キャッチボール・バッティング・ルール等)を体験します。 【授業時間外の学修内容】前回の実技の課題について、反省点を整理し復習しておくこと。	E
第5回	【テーマ】視覚障がい者走の体験 【計画内容】2人一組になり、1人がアイマスクを着用し、実際に大学構内で視覚障がい者の中距離走タイムトライアルを行います。 【授業時間外の学修内容】視覚障がい者の特徴を理解し把握しておくこと。	E	第13回	【テーマ】車椅子ソフトボール② 【計画内容】車椅子に乗った状態でベースボール型スポーツの試合をチームに分かれて行います。 【授業時間外の学修内容】前回の実技の課題について、反省点を整理し復習しておくこと。	E
第6回	【テーマ】重度障がい者のスポーツ ボッチャ① 【計画内容】パラリンピック種目のボッチャのルールを知り、実際にコートづくりをしたり、レクリエーションボッチャを体験しします。 【授業時間外の学修内容】重度の肢体不自由者の特徴について、理解し把握しておくこと。	A・E	第14回	【テーマ】車椅子ソフトボール③ 【計画内容】車椅子に乗った状態でベースボール型スポーツの試合をチームに分かれて行います。 【授業時間外の学修内容】前回の実技の課題について、反省点を整理し復習しておくこと。	E
第7回	【テーマ】重度障がい者のスポーツ ボッチャ② 【計画内容】車椅子等を使用して実際に介助者の支援を受け、ランプ(補助具)等を用いながらパラリンピック種目のボッチャを体験します。 【授業時間外の学修内容】重度の肢体不自由者の特徴について、復習しておくこと。	E	第15回	【テーマ】障がい者スポーツやアダプテット・スポーツ等の振り返りとまとめ、障がい者スポーツの未来について 【計画内容】これまでの講義や障がい者スポーツ実技を振り返り、アダプテット・スポーツの考え方やまとめを行い、2021年のパラリンピック等障がい者スポーツの発展や将来について考えます。課題ワークや定着度の確認を行います。 【授業時間外の学修内容】これまで実施した実技内容と「障がい者スポーツ」の該当箇所を復習しておくこと。	A・L
第8回	【テーマ】車椅子バスケットボール① 【計画内容】パラリンピック種目である車椅子バスケットボールの基礎(車椅子操作・ボール操作・パス・シュート)を体験します。 【授業時間外の学修内容】車椅子に乗った状態でゴール型スポーツの基礎を体験します。	E			

テキスト	プリントを使用する
参考書	講義時に説明する

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%		60%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	初回講義時に授業内容等について具体的に説明します。
資格	[健][ス]障がい者スポーツ指導員_必修
その他	原則、前年度に「障がい者スポーツ論」の単位を修得している学生を対象とする。また、運動指導に関する進路を考えている学生、及び特別支援学校の教員を目指している学生、「障がい者スポーツ指導員(初級)」の資格を取得する予定の学生の受講が望ましい。

科目名	運動処方演習	授業形態	演習	単位数	2
教員名	上田　知行、沖田　孝一、小坂井　留美				
授業の目的 ねらい	健康づくりのための運動を指導するのに必要な実践力を磨くには、①安全で効果的な運動処方作成のために必要な運動負荷試験の実際や、②生活習慣病の予防や改善に関わる集団と個別に対応する運動処方作成の方法、③介護予防に関わる集団と個別に対応するための運動処方の方法を実践形式で学び、それぞれの集団および個人に適した運動プログラムを処方する能力を身につける。				
授業の目的 到達目標	(1)運動負荷試験の方法を学ぶ。 (2)生活習慣病の予防や改善に関わる運動処方作成の方法を身につける。 (3)介護予防に関わる運動処方作成の方法を身につける。				

授業の計画					
第1回	【テーマ】ガイダンス・運動処方作成のために必要な行動目標 【計画内容】授業の紹介をし、15回の授業展開を説明します。(上田知行) 【授業時間外の学修内容】「運動生理学」「運動処方」「中高年スポーツ論」の内容について復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】生活習慣病に対する運動処方Ⅲ(糖尿病) 【計画内容】生活習慣病のうち糖尿病に対する運動処方の方法を学びます。(上田知行) 【授業時間外の学修内容】糖尿病について理解を深めておくこと。	B
第2回	【テーマ】生活習慣病に対する運動処方 【計画内容】生活習慣病に対する包括的運動処方の作成方法について学びます。(上田知行) 【授業時間外の学修内容】運動処方の基本的知識について復習しておくこと。	B	第10回	【テーマ】生活習慣病に対する運動処方Ⅳ(虚血性心疾患) 【計画内容】生活習慣病のうち虚血性心疾患に対する運動処方の方法を学びます。(上田知行) 【授業時間外の学修内容】虚血性疾患について理解を深めておくこと。	B
第3回	【テーマ】介護予防・転倒予防のための虚弱者に対する運動処方 【計画内容】介護予防・転倒予防のための虚弱者に対する運動処方のプログラミングについて学びます。(小坂井留美) 【授業時間外の学修内容】転倒予防に必要な体力要素について復習しておくこと。	B	第11回	【テーマ】健診結果の読み方 【計画内容】健康診断の検査項目や結果の読み方について学びます。(沖田孝一) 【授業時間外の学修内容】メディカルチェックについて理解を深めておくこと。	B
第4回	【テーマ】行動変容理論に基づいた動機づけのための運動処方 【計画内容】行動変容理論に基づいた動機づけのための運動処方のプログラミングについて学びます。(上田知行) 【授業時間外の学修内容】行動変容理論の基本的知識について復習しておくこと。	B	第12回	【テーマ】安静時心電図の読み方 【計画内容】安静時心電図の測定方法や読み方について学びます。(沖田孝一) 【授業時間外の学修内容】メディカルチェックについて理解を深めておくこと。	D
第5回	【テーマ】ロコモティブシンドロームのための運動処方 【計画内容】ロコモティブシンドロームに対する運動処方のプログラミングについて学びます。(小坂井留美) 【授業時間外の学修内容】解剖学および一般的な整形外科疾患(下肢)の基本的知識について復習しておくこと。	B	第13回	【テーマ】運動負荷試験の実際 【計画内容】運動負荷試験の目的や実施方法、安全対策、中止条件などを学びます。(沖田孝一) 【授業時間外の学修内容】メディカルチェックについて理解を深めておくこと。	D
第6回	【テーマ】運動器退行性疾患のための運動処方 【計画内容】運動器退行性疾患に対する運動処方のプログラミングについて学びます。(小坂井留美) 【授業時間外の学修内容】解剖学および一般的な整形外科疾患(骨粗鬆症)の基本的知識について復習しておくこと。	B	第14回	【テーマ】運動負荷試験実習(トレッドミル) 【計画内容】トレッドミルを用いた運動負荷試験の実習を行います。(沖田孝一) 【授業時間外の学修内容】メディカルチェックについて理解を深めておくこと。	D
第7回	【テーマ】生活習慣病に対する運動処方Ⅰ(肥満症) 【計画内容】生活習慣病のうち肥満症に対する運動処方の方法を学びます。(上田知行) 【授業時間外の学修内容】肥満症について理解を深めておくこと。	B	第15回	【テーマ】運動負荷試験実習(自転車エルゴメーター) 【計画内容】自転車エルゴメーターを用いた運動負荷試験の実習を行います。(沖田孝一) 【授業時間外の学修内容】メディカルチェックについて理解を深めておくこと。	D
第8回	【テーマ】生活習慣病に対する運動処方Ⅱ(高血圧症・脂質異常症) 【計画内容】生活習慣病のうち高血圧症および脂質異常症に対する運動処方の方法を学びます。(小坂井留美) 【授業時間外の学修内容】高血圧症・脂質異常症について理解を深めておくこと。	B			

テキスト	プリントを配付します
参考書	健康・体力づくり事業財団、2020年、『健康運動指導士養成講習会テキスト』、南江堂 上田知行、2019年、『認知症予防介護予防のための運動教室指導案集』、ソーシャルビジネス推進センター、9784-991103308

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	30%		40%		30%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法			
実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	講義時に説明します。
資格	[ス]健康運動指導士_必修
その他	「運動生理学」「運動処方」「中高年スポーツ論」を履修していること。 本講義は、北方圏生涯スポーツ研究センターの被験講義です。

科目名	介護実践管理論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	八巻　貴穂、干場　有理子、前田　顕				

授業の目的	ねらい	介護は戦後、特に1980年代以降急速に発展してきた分野である。その実践の場は施設、病院、在宅に加え、近年グループホーム等の新たな形態が増加している。これに加えて介護の重度化、ニーズの多様化も進み、要介護者の生活支援のマンパワーは質・量の両面が必要とされている。同時に介護職員が連携しながら働くことのできる組織化、システム化が不可欠となっている。本講義では、最善の介護を提供するためにどのような組織を編成し、運営していけば良いかという介護管理について、現在の介護の社会的、実践的課題と合わせて学び、実践の場で一人ひとりが考えられるようになることがねらいである。
	到達目標	(1)介護実践について管理的・統括的な視点で考察することができる。 (2)介護福祉サービスにおける組織運営について理解する。

授業の計画					
第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】本講義の進め方、管理論とは何かについて説明します。(八巻貴穂) 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】福祉施設サービスを考える 【計画内容】高齢者の多様化する居住形態・ライフスタイルの中における福祉施設の内容・役割を比較しながら理解します。(前田顕) 【授業時間外の学修内容】前回の授業を復習し、内容をよく理解しておくこと。	A・H
第2回	【テーマ】在宅サービスの役割 【計画内容】利用者の視点に立って在宅サービスの役割について考えます。(干場有理子) 【授業時間外の学修内容】前回の授業を復習し、内容をよく理解しておくこと。	A・H	第10回	【テーマ】福祉施設の組織運営を知る 【計画内容】社会福祉法人の組織構造・概念を学びます。(前田顕) 【授業時間外の学修内容】前回の授業を復習し、内容をよく理解しておくこと。	A・H
第3回	【テーマ】リスクマネジメント 【計画内容】利用者、事業所それぞれの観点からリスクについて考えます。リスクマネジメントの目的と効果について学びます。(干場有理子) 【授業時間外の学修内容】前回の授業を復習し、内容をよく理解しておくこと。	A・H	第11回	【テーマ】多職種協働(チームケア)の意義を学ぶ 【計画内容】福祉施設では多くの職種が連携して利用者を支えていることを理解します。(前田顕) 【授業時間外の学修内容】前回の授業を復習し、内容をよく理解しておくこと。	A・H
第4回	【テーマ】ケアマネジメント 【計画内容】チームケアの在り方について考えます。介護マニュアルの必要性について学び、マニュアルに必要な項目などを考えます。(干場有理子) 【授業時間外の学修内容】前回の授業を復習し、内容をよく理解しておくこと。	A・H・K	第12回	【テーマ】介護実践におけるケアの構築について考える 【計画内容】良い介護実践には、直接介護だけではないケアサービスの種類や委員会等があることを確認します。(前田顕) 【授業時間外の学修内容】前回の授業を復習し、内容をよく理解しておくこと。	A・H
第5回	【テーマ】チームマネジメント 【計画内容】チームの質の向上の方法を学びます。介護福祉士としての自己研鑽の必要性と方法について理解します。(干場有理子) 【授業時間外の学修内容】前回の授業を復習し、内容をよく理解しておくこと。	A・H	第13回	【テーマ】福祉施設でのリスクマネジメントを知る 【計画内容】介護現場にはさまざまなリスクがあり、回避対策も検討されています。具体的に検証しながら考えます。(前田顕) 【授業時間外の学修内容】前回の授業を復習し、内容をよく理解しておくこと。	A・H
第6回	【テーマ】通所介護事業所の理解 【計画内容】通所介護のさまざまなサービスと「通所介護自己評価表」を活用した運営方法について学びます。(干場有理子) 【授業時間外の学修内容】前回の授業を復習し、内容をよく理解しておくこと。	A・H	第14回	【テーマ】テーマを持って施設見学する 【計画内容】講義で学んだことを踏まえ、各自課題を持ちながら通所系、入所系の施設見学を行います。(前田顕) 【授業時間外の学修内容】前回の授業を復習し、内容をよく理解しておくこと。	M
第7回	【テーマ】通所介護事業所のサービスを考える1 【計画内容】グループワークで、利用者の視点に立った、かつ地域の特性に応じた通所介護事業所のサービス内容を考えます。(干場有理子) 【授業時間外の学修内容】前回の授業を復習し、内容をよく理解しておくこと。	A・H・K	第15回	【テーマ】介護実践管理論から学んだこと 【計画内容】今までの学びや施設見学での気づきを課題に沿って各自発表します。(前田顕) 【授業時間外の学修内容】発表の準備を行うこと。	F
第8回	【テーマ】通所介護事業所のサービスを考える2 【計画内容】グループごとに考えた通所介護事業所のサービス内容の発表と意見交換を行います。(干場有理子) 【授業時間外の学修内容】前回の授業を復習し、内容をよく理解しておくこと。	F			

テキスト	プリントを使用します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			50%		50%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	授業中の課題については、その都度担当教員から講評を行います。		
実務経験と授業の関連	該当	経験内容	干場有理子、前田顕 / 介護福祉士
		科目との関連	干場有理子、前田顕 / 介護現場での実践経験を活かして講義を行う。
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。		
資格	[健]介護福祉士_選必		
その他	グループ討議の形式を多用し、自ら考え学びを深めることを目指します。 卒業後の進路として介護福祉職を目指す学生は、積極的に授業に参加することを期待します。		

科目名	現代社会と福祉Ⅰ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	伊藤　新一郎				
授業の目的 ねらい	少子高齢化と人口減少が進む日本では、社会的解決を必要とする多くの課題が存在している。例えば、介護問題、貧困・経済的格差の広まり、社会的孤立の増加、地域の疲弊、そしてこれらに起因する将来不安と閉塞感の深刻化である。このような状況を踏まえると、現代において社会福祉が果たす役割はますます重要となってきている。一方で、既存の支援枠組みでは十分に対応できない / まだはじまったばかりの支援もある。 以上より、本科目では、社会福祉の理念・原理・哲学に加え、現代社会の変化・動向と福祉政策の関係、そしてそれに関わる主体(アクター)間の役割分担、社会福祉や福祉政策の課題などについて理解することを目指す。				
授業の目的 到達目標	(1)現代社会における福祉制度の意義や理念、福祉政策との関係について理解する。 (2)福祉の原理をめぐる理論と哲学について理解する。 (3)福祉政策の構成要素(政府、市場、家族、個人等)について理解する。				

授業の計画					
第1回	【テーマ】社会の変化と福祉① 【計画内容】伝統社会から近代社会への移行、福祉国家の成立について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】近代社会・福祉国家について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A	第9回	【テーマ】福祉政策の発展過程② 【計画内容】戦後から高度経済成長期における福祉政策について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】戦後復興と高度経済成長期における日本の社会経済について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A
第2回	【テーマ】社会の変化と福祉② 【計画内容】福祉国家の変容、現代社会の変化と福祉、福祉政策の課題について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】福祉政策における今日的課題とされる事項について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A	第10回	【テーマ】少子高齢化・人口減少時代における福祉政策① 【計画内容】1970年代～1980年代における福祉政策の展開と特徴について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】オイルショック・行政改革について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A
第3回	【テーマ】福祉と福祉政策① 【計画内容】社会福祉の概念と範囲について歴史的展開と今日的動向について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】社会福祉の概念・用法について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A	第11回	【テーマ】少子高齢化・人口減少時代における福祉政策② 【計画内容】1990年代における福祉政策の展開と特徴について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】バブル経済の崩壊、失われた10年について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A
第4回	【テーマ】福祉と福祉政策② 【計画内容】福祉政策の特徴と社会福祉士の役割・機能について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】社会福祉士及び介護福祉士法の内容について確認しておく。	A	第12回	【テーマ】少子高齢化・人口減少時代における福祉政策③ 【計画内容】2000年代における福祉政策の展開と特徴について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】社会福祉基礎構造改革、社会福祉法の成立、契約制度について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A
第5回	【テーマ】福祉の思想と哲学① 【計画内容】福祉の思想・哲学、市場の論理と倫理について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】福祉の思想に関わる人権について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A	第13回	【テーマ】福祉政策と政治 【計画内容】福祉政策と政治・社会の関係について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】日本の政治制度や地域・家族・社会変化の動向について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A
第6回	【テーマ】福祉の思想と哲学② 【計画内容】福祉の理論的基礎としてのロールズの正義論とセンの潜在能力論について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】ロールズとセンの主張について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A	第14回	【テーマ】福祉政策と経済 【計画内容】福祉政策と経済の関係について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】今日の政府による経済政策(アベノミクス等)について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A
第7回	【テーマ】社会政策と福祉政策 【計画内容】社会政策と福祉政策の概念・範囲と両者の関係について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】社会政策と福祉政策の範囲・用法について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】本科目のまとめを行う。 【授業時間外の学修内容】14回までの内容を復習しておく。	A
第8回	【テーマ】福祉政策の発展過程① 【計画内容】近代化と福祉政策の関係・展開について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】近代化・産業化の特徴について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A			

テキスト	毎回、講義資料を配付する。
参考書	必要に応じて紹介する。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			70%		30%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法			
実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	E-Mail:ito@hokusei.ac.jp
資格	[健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必 [心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必
その他	・本科目は社会福祉士・精神保健福祉士国家試験指定科目である。 ・社会経済情勢や福祉政策・社会保障の動向に関するマスコミ報道に関心を持つことが推奨される。

科目名	現代社会と福祉Ⅱ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	伊藤　新一郎				

授業の目的	ねらい	少子高齢化と人口減少が進む日本では、社会的解決を必要とする多くの課題が存在している。例えば、介護問題、貧困・経済的格差の広まり、社会的孤立の増加、地域の疲弊、そしてこれらに起因する将来不安と閉塞感の深刻化である。このような状況を踏まえると、現代において社会福祉が果たす役割はますます重要となってきている。一方で、既存の支援枠組みでは十分に対応できない / まだはじまったばかりの支援もある。 以上より、本科目では、福祉政策における必要(ニーズ)や関連領域との関係や動向、実際の相談援助における原理・原則、先進諸国の福祉政策の展開、現在の日本における福祉政策理念のポイントと今後の課題などについて理解することを目指す。
	到達目標	(1)福祉政策におけるニーズと資源について理解する。 (2)福祉政策と関連政策(教育政策、住宅政策、労働政策を含む)の関係について理解する。 (3)相談援助活動と福祉政策との関係について理解する。 (4)福祉政策の国際的動向と課題について理解する。

授業の計画					
第1回	【テーマ】福祉政策における必要と資源 【計画内容】必要(ニーズ)概念と資源について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】必要(ニーズ)概念について他科目で学習した内容を復習しておく。	A	第9回	【テーマ】福祉サービスと相談援助① 【計画内容】相談援助の原理・原則・方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】関係する社会福祉士指定科目の内容を復習しておく。	A
第2回	【テーマ】福祉政策の理念・主体・手法 【計画内容】福祉政策の理念、資源配分システム、政策決定と評価について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】福祉政策の理念の基礎となる社会福祉における価値について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A	第10回	【テーマ】福祉サービスと相談援助② 【計画内容】相談援助と地域福祉の関係と今日的展開について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】関係する社会福祉士指定科目の内容を復習しておく。	A
第3回	【テーマ】福祉政策と関連領域① 【計画内容】福祉政策と権利擁護、保健医療、所得保障の関係について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】関連する社会福祉士指定科目の内容を復習しておく。	A	第11回	【テーマ】福祉政策の国際比較① 【計画内容】北米と西欧・北欧の福祉政策について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】アメリカ・イギリス・スウェーデンなどの先進諸国の福祉について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A
第4回	【テーマ】福祉政策と関連領域② 【計画内容】福祉政策と雇用、教育、住宅、災害支援の関係について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】関連する社会福祉士指定科目の内容を復習しておく。	A	第12回	【テーマ】福祉政策の国際比較② 【計画内容】東アジア諸国の福祉政策について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】韓国・中国・台湾の福祉について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A
第5回	【テーマ】社会福祉制度の体系① 【計画内容】社会福祉制度の仕組みと構造について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】関連する社会福祉士指定科目の内容を復習しておく。	A	第13回	【テーマ】福祉政策の課題と展望① 【計画内容】新たな社会的リスクへ対応する福祉政策のあり方について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】人間のライフサイクル・ライフコースと典型的な生活課題について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A
第6回	【テーマ】社会福祉制度の体系② 【計画内容】社会福祉制度と福祉サービスの関係・現状・課題について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】関連する社会福祉士指定科目の内容を復習しておく。	A	第14回	【テーマ】福祉政策の課題と展望② 【計画内容】福祉政策の今日的理念である地域共生社会、地域包括ケアや包摂型福祉政策について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】地域共生社会、地域包括ケアについて可能な範囲で調べ学習をしておく。	A
第7回	【テーマ】福祉サービスの提供① 【計画内容】福祉サービスの提供・利用方式(措置・高齢・障害・保育など)について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】関係する社会福祉士指定科目の内容を復習しておく。	A	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】本科目のまとめを行う。 【授業時間外の学修内容】14回目までの内容を復習しておく。	A
第8回	【テーマ】福祉サービスの提供② 【計画内容】福祉サービスの提供における運営管理部門の役割について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】関係する社会福祉士指定科目の内容を復習しておく。	A			

テキスト	毎回、講義資料を配付する。
参考書	必要に応じて紹介する。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	70%				30%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法			
実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	E-Mail:ito@hokusei.ac.jp
資格	[健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必 [心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必
その他	・本科目は社会福祉士・精神保健福祉士国家試験指定科目である。 ・福祉政策・社会保障などに関係する新聞・TV などのマスコミ報道に関心を持つことが推奨される。

科目名	社会福祉行政・福祉計画論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	林　恭裕				
授業の目的 ねらい	1990年の社会福祉関係8法の改正により、市町村は老人保健福祉計画の策定が義務付けられたが、その後障害者計画、障害福祉計画、介護保険事業計画などが続き、社会福祉は、計画に基づいて進められることになりました。この授業では、そうした社会福祉に関わる計画の意義とその策定方法に学ぶとともにそうした計画を裏付ける財源の確保、さらには計画の推進方法や推進する組織や団体などについて学びます。				
授業の目的 到達目標	(1)社会福祉計画の意義と必要性について理解する (2)各種福祉計画に共通する計画の策定の理論と仕組みについて理解する (3)各種計画を進めるための財源の仕組みについて理解する (4)個別の福祉計画の実際について理解する				

授業の計画					
第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】この授業の意義と進め方についてガイダンスします。さらに、社会福祉の理念の変遷など、現代社会福祉の概要と課題について学びます。 【授業時間外の学修内容】居住する市町村の地域福祉計画、老人福祉計画などを市町村のホームページで閲覧しておいてください。	A	第9回	【テーマ】福祉計画の理論と技法(1)　福祉計画の基本的視点とニーズ把握 【計画内容】福祉計画の概念と福祉計画を策定するためのニーズ把握について学びます。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの第6章を読んでおいてください。	A
第2回	【テーマ】社会福祉制度の展開と福祉計画の概要 【計画内容】戦後の社会福祉制度の変化について、主に法制度から振り返り、福祉計画の概要と今日的役割などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの第1章を読んでおいてください	A	第10回	【テーマ】福祉計画の理論と技法(2)　福祉計画のプロセスと評価 【計画内容】福祉計画を策定するうえで、そのプロセスと留意点について学ぶとともに評価方法などについての理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの第6章を読んでおいてください。	A
第3回	【テーマ】行財政と社会福祉法制度 【計画内容】国、都道府県、市町村の関係とその背景となる地方分権などを学ぶとともに社会福祉にかかわる法制度の仕組みについて学びます。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの第2章を読んでおいてください。	A	第11回	【テーマ】福祉計画の理論と技法(3)　住民参加 【計画内容】市町村をベースに行われる福祉サービスには、住民の参加が必要不可欠になっています。福祉計画の策定も同様で、特に地域福祉計画は、住民の主体的参加が前提となっています。ここでは、住民参加の意義と役割について学びます。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの第6章を読んでおいてください。	A
第4回	【テーマ】福祉行政の組織と社会福祉基礎構造 【計画内容】国、都道府県、市町村の組織と役割分担について学び、社会福祉基礎構造と分化している福祉サービスの仕組みについて理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの第2章を読んでおいてください。	A	第12回	【テーマ】福祉計画の実際(1)　老人福祉計画・介護保険事業計画 【計画内容】福祉計画がどのように策定されているかを学びます。ここでは、老人福祉計画と介護保険事業計画の策定について学びます。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの第7章を読んでおいてください。	A
第5回	【テーマ】福祉財政の仕組み 【計画内容】福祉サービスを供給するうえで必要な財源の調達について学ぶとともに地方分権との関係でこれからの福祉財政のあり方について学びます。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの第3章を読んでおいてください。	A	第13回	【テーマ】福祉計画の実際(2)　障害者計画・障害福祉計画 【計画内容】福祉計画がどのように策定されているかを学びます。ここでは、障害者計画と障害福祉計画の策定について学びます。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの第7章を読んでおいてください。	A
第6回	【テーマ】福祉行政の組織・団体 【計画内容】社会福祉制度の実施を担う国、地方公共団体(都道府県・市町村)、児童相談所などの専門機関、地域包括支援センターなどの相談機関とそこに属する専門職の役割などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの第4章を読んでおいてください。	A	第14回	【テーマ】福祉計画の実際(3)　地域福祉計画・次世代育成支援行動計画　他 【計画内容】福祉計画がどのように策定されているかを学びます。ここでは、地域福祉計画と次世代育成支援行動計画などの策定について学びます。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの第7章を読んでおいてください。	A
第7回	【テーマ】社会福祉計画の歩み 【計画内容】戦後の社会福祉活動において、社会福祉計画の手法は古くから取り組まれており、ここでは社会福祉計画の基本的な考え方とその歩みについて学びます。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの第5章を読んでおいてください。	A	第15回	【テーマ】まとめ(課題と展望) 【計画内容】これまでの授業を振り返り福祉計画の課題についてまとめるとともに今後の在り方について考えます。 【授業時間外の学修内容】これまでに配付したレジュメ、テキストを振り返る。	A
第8回	【テーマ】福祉計画の目的と意義 【計画内容】1990年の社会福祉関係8法の改正以後、老人保健福祉計画が義務付けられ福祉計画の重要性が増しました。ここでは、福祉計画の意義と目的について学びます。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの第5章を読んでおいてください。	A			

テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会、2019年、『福祉行財政と福祉計画』、中央法規出版、978-4-8058-5430-3
参考書	武川正吾編、2005年、『地域福祉計画』、有斐閣、4-641-12260-1

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	80%				20%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法			
実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	メールでの質問等を受けます。 E-mail:3018022@wm.hokusho-u.ac.jp
資格	[健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必 [心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必
その他	所定の時間までに教室に入り、私語は厳禁です。質問などがあれば積極的に行ってください。

科目名	相談援助演習Ⅲ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	久野　真知子				

授業の目的	ねらい	地域福祉を実際に地域で実施していくために必要な知識、技術、理念などを学びます。地域アセスメント、地域組織化の展開過程および地域福祉計画と地域福祉活動計画等を理解する機会となります。また、実践に必要な記録の技法を含めて学習していきます。
	到達目標	(1)地域福祉を実施するために必要な知識、技術、理念を実践的に理解できる。 (2)コミュニティワークの技法を身につける。 (3)記録の技法を使って学習することができる。

授業の計画					
第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】この授業の内容や流れ、到達目標について解説します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習して下さい。	A	第9回	【テーマ】地域アセスメントの作成 【計画内容】地域アセスメントの項目を確認し、アセスメントの記録が書けるように学習します。 【授業時間外の学修内容】地域アセスメント項目について調べてきて下さい。	H・J・K
第2回	【テーマ】ある高齢者家族のケースから 【計画内容】日中独居の高齢者家族のケースではどのようなアセスメントの視点で分析し地域の資源を活用していくのか、またマッピング技法の確認も含めて学習します。 【授業時間外の学修内容】マッピング技法の復習をしておいて下さい。	H・J	第10回	【テーマ】コミュニティワーク事例①事例のはじまり 【計画内容】「事例」としてアプローチをしていくのは、さまざまなきっかけがあります。一つの出来事からコミュニティワークを実践することになる経緯を含めて学びます。 【授業時間外の学修内容】コミュニティワークのプロセスを学習してきて下さい。	H・J
第3回	【テーマ】日中独居の高齢者家族へのコミュニティワーク 【計画内容】このケースではどのような地域の支援を実施できるか検討します。 【授業時間外の学修内容】コミュニティワークの基礎知識を確認してきて下さい。	H・J	第11回	【テーマ】コミュニティワーク事例②アセスメント 【計画内容】地域アセスメントについて事例をベースに学習します。 【授業時間外の学修内容】地域アセスメントの記録を見直してきて下さい。	H・J
第4回	【テーマ】同じ課題を抱える地域住民を対象としたアプローチ 【計画内容】これまで取り上げてきた家族のように、地域で悩んでいる他の住民を対象として、どのような活動を計画すると効果があがるのか学習します。 【授業時間外の学修内容】コミュニティワークの事例を1つ読んできて下さい。	H・J	第12回	【テーマ】コミュニティワーク事例③計画作成 【計画内容】この事例ではどのような計画を作成して実施すると課題が解消されるのでしょうか。計画づくりを経験します。 【授業時間外の学修内容】実際の「計画」を見直してきて下さい。	H・J
第5回	【テーマ】ある老人デイサービスが抱える課題の解決 【計画内容】老人デイサービスがその地域の特性による問題を抱えています。どのような解決が考えられるか検討します。 【授業時間外の学修内容】老人デイサービスについて確認してきて下さい。	H・J・K	第13回	【テーマ】コミュニティワーク事例④実施～評価 【計画内容】計画を実施し、その評価を行うプロセスを学びます。 【授業時間外の学修内容】コミュニティワークの評価方法を確認してきて下さい。	H・J
第6回	【テーマ】ひとり親家庭への支援 【計画内容】他からの協力を得られづらく、孤軍奮闘しがちなひとり親家庭への支援を考えます。 【授業時間外の学修内容】ひとり親家庭の課題について調べておいてください。	H・J・K	第14回	【テーマ】コミュニティワーク事例⑤コミュニティワークから次のアプローチへ 【計画内容】コミュニティワークの実施によって解消された課題を確認し、残された課題に取り組む方法を学習します。 【授業時間外の学修内容】ソーシャルアクションについて確認してきて下さい。	H・J
第7回	【テーマ】社会資源の活用 【計画内容】活用が可能な社会資源はどの程度存在し、利用しやすいのか身近な地域を例に検討します。 【授業時間外の学修内容】どのような社会資源があるのかを確認しておいてください。	H・J・K	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】コミュニティワークの基礎知識と技術を再確認する機会とします。 【授業時間外の学修内容】本演習の資料を読んできて下さい。	H・J・K
第8回	【テーマ】地域福祉活動計画の策定 【計画内容】ある地域の地域福祉活動計画を改善するとしたら、どの要素に注目し、どのようなプロセスで実施することができるのかを考えます。 【授業時間外の学修内容】地域福祉活動計画について調べておいてください。	H・J・K			

テキスト	プリントを使用します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		40%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法			
実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	授業時にお伝えします
資格	[健]社会福祉士_必修
その他	「相談援助演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ」は、社会福祉士国家試験受験資格の取得を希望する学生が対象となります。 ＜単位修得における注意＞ 「相談援助実習」「相談援助実習指導Ⅱ」「相談援助演習Ⅲ」「相談援助演習Ⅳ」「相談援助演習Ⅴ」の5科目は同一年次に履修して下さい。 ※なお、本演習は4回以上の遅刻(15分以内)および欠席をした学生には単位を認定しません。

科目名	相談援助演習Ⅳ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	久野　真知子、高野　和美				
授業の目的 ねらい	相談援助の対象は、多岐にわたるとともにその内容も様々である。ソーシャルワーカーとしての援助も個々のケースに即して柔軟に対応するとともに様々な専門職と連携して総合的かつ包括的に展開することが求められる。ここでは、具体的な事例をもとにしてそうした総合的かつ包括的な援助のあり方について実践的に習得する。				
授業の目的 到達目標	(1)様々な事例に応じたニーズを把握できる。 (2)ソーシャルワーカーとしての対応や援助を理解できる。 (3)社会資源やネットワークの活用の仕方を習得する。				

授業の計画					
第1回	【テーマ】相談援助を行うためのポイント 【計画内容】講義の目的と展開について説明します。相談援助を実践的に習得するためのポイントを紹介します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	B	第9回	【テーマ】低所得者事例へのかかわり(2)～対応の振り返りと社会資源・ネットワーク 【計画内容】自立支援をどのように行うか考えます。 【授業時間外の学修内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。	B・H・J
第2回	【テーマ】虐待事例へのかかわり(1)～高齢者・事例研究 【計画内容】事例を用いて、そのニーズを把握し、虐待への対応や援助について検討します。 【授業時間外の学修内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。	B・H・J	第10回	【テーマ】社会的排除事例へのかかわり(1)～事例研究 【計画内容】事例を用いて、そのニーズを把握し、対応の仕方や援助について検討します。 【授業時間外の学修内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。	B・H・J
第3回	【テーマ】虐待事例へのかかわり(2)～高齢者・対応の振り返りと社会資源・ネットワーク 【計画内容】高齢者虐待における被虐待者・虐待者それぞれへの対応やかかわりについて考えます。 【授業時間外の学修内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。	B・H・J	第11回	【テーマ】社会的排除事例へのかかわり(2)～対応の振り返りと社会資源・ネットワーク 【計画内容】差別問題への対応の仕方を考えます。 【授業時間外の学修内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。	B・H・J
第4回	【テーマ】虐待事例へのかかわり(3)～児童・事例研究 【計画内容】事例を用いて、そのニーズを把握し、虐待への対応や援助について検討します。 【授業時間外の学修内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。	B・H・J	第12回	【テーマ】ホームレス事例へのかかわり(1)～事例研究 【計画内容】事例を用いて、そのニーズを把握し、対応の仕方や援助について検討します。 【授業時間外の学修内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。	B・H・J
第5回	【テーマ】虐待事例へのかかわり(4)～児童・対応の振り返りと社会資源・ネットワーク 【計画内容】児童虐待における被虐待者・虐待者それぞれへの対応やかかわりについて考えます。 【授業時間外の学修内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。	B・H・J	第13回	【テーマ】ホームレス事例へのかかわり(2)～対応の振り返りと社会資源・ネットワーク 【計画内容】就労支援等の援助について検討します。 【授業時間外の学修内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。	B・H・J
第6回	【テーマ】家庭内暴力事例へのかかわり(1)～事例研究 【計画内容】事例を用いて、そのニーズを把握し、対応の仕方や援助について検討します。 【授業時間外の学修内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。	B・H・J	第14回	【テーマ】権利擁護事例へのかかわり(1)～事例研究 【計画内容】事例を用いて、そのニーズを把握し、対応の仕方や援助について検討します。 【授業時間外の学修内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。	B・H・J
第7回	【テーマ】家庭内暴力事例へのかかわり(2)～対応の振り返りと社会資源・ネットワーク 【計画内容】被害者への対応や関係機関との連携について考えます。 【授業時間外の学修内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。	B・H・J	第15回	【テーマ】権利擁護事例へのかかわり(2)～対応の振り返りと社会資源・ネットワーク 【計画内容】成年後見制度などの具体的な活用について考えます。 【授業時間外の学修内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。	B・H・J
第8回	【テーマ】低所得者事例へのかかわり(1)～事例研究 【計画内容】事例を用いて、そのニーズを把握し、対応の仕方や援助について検討します。 【授業時間外の学修内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。	B・H・J			

テキスト	必要に応じてプリントを配付します
参考書	プリントを使用します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		40%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法			
実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[健]社会福祉士_必修
その他	「相談援助演習Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ」は、社会福祉士国家試験受験資格の取得を希望する学生が対象となります。 ＜単位修得における注意＞ 「相談援助実習指導Ⅱ」「相談援助実習」「相談援助演習Ⅲ」「相談援助演習Ⅳ」「相談援助演習Ⅴ」の5科目は同一年次に履修して下さい。本科目において4回以上の遅刻(15分以内)および欠席した学生は配属後であっても相談援助実習を中止し、単位を認定しませんので注意して下さい。

科目名	相談援助演習Ⅴ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	久野　真知子、高野　和美				

授業の目的	ねらい	相談援助実習で得た個別的体験を一般化し、実践的な知識・技術を習得します。そのためには、自分自身の実習体験の振り返りや事例研究を行うことで、面接技術や利用者理解の重要性を再認識し、自己決定・エンパワメントに基づくソーシャルワーク実践について考えることができます。また、各学生の個別的体験を素材としたグループ学習を行うことで、より広い視点や視野から相談援助の方法をとらえ、価値観や倫理観と向き合う専門職としてのあり方を深く学びます。
	到達目標	(1)実習体験の振り返りを通して、相談援助職として必要な知識・技術を理解できる。 (2)相談援助職としての価値観・倫理観を再確認し、その専門性を表現できる。 (3)他の学生の経験を追体験としてとらえ、ソーシャルワークの視点や視野を広げて理解することができる。

授業の計画					
第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】15回の授業展開を説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	B	第9回	【テーマ】事例研究1　組織・機関の理解と連携の必要性 【計画内容】事例を通して、地域における組織・機関の役割・機能について、関係機関等の連携も含めて理解し、課題について考えます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	B・H・J
第2回	【テーマ】実習体験からの学び1 【計画内容】各自の相談援助実習において経験したソーシャルワークの支援内容について振り返ります。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	B・H・J	第10回	【テーマ】事例研究2　他職種・他職域の理解 【計画内容】事例を通して、連携する他職種・他職域について理解し、ソーシャルワーク職種・職域の広さを理解します。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	B・H・J
第3回	【テーマ】実習体験からの学び2 【計画内容】利用者との関係形成にかかる援助技術やコミュニケーション技法を理解します。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	B・H・J	第11回	【テーマ】事例研究3　ソーシャルワークの専門性について 【計画内容】事例を通して、人と環境の接点・相互作用に着目し、ソーシャルワークの専門性について考えます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	B・H・J
第4回	【テーマ】実習体験からの学び3 【計画内容】利用者との関わりから、相談援助の対象となる人びとへの理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	B・H・J	第12回	【テーマ】事例研究4　ソーシャルワークのプロセス 【計画内容】個人に関わる家族・組織・地域の相互関係に着目し、ソーシャルワークの支援プロセスについて考えます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	B・H・J
第5回	【テーマ】実習体験からの学び4 【計画内容】相談援助の過程における権利擁護・自己決定について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	B・H・J	第13回	【テーマ】事例研究5　グループ活動の支援 【計画内容】グループワークの展開過程グループダイナミクスを活用したメンバーの支援について考えます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	B・H・J
第6回	【テーマ】実習体験からの学び5 【計画内容】ディレンマ体験を通して、自己決定・エンパワーメント・人間の尊重等ソーシャルワーカーとしての価値観・倫理観の学びを深めます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	B・H・J	第14回	【テーマ】事例研究6　地域福祉活動の支援 【計画内容】地域の特性を踏まえた地域課題に対して、組織・機関と地域住民の主体性に基づく支援について考えます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	B・H・J
第7回	【テーマ】実習体験からの学び6 【計画内容】カンファレンス・会議等による関係機関・地域住民との連携の実際から、チームアプローチのあり方を考えます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	B・H・J	第15回	【テーマ】ソーシャルワークの専門職として求められるもの 【計画内容】ソーシャルワークの専門職として求められる知識・技術・能力について考え、自分自身の課題についても明らかにします。 【授業時間外の学修内容】テーマについて、レポートを作成しておくこと。	B・H・J
第8回	【テーマ】実習体験からの学び7 【計画内容】地域における社会資源の存在とその活用の実際から、調整・開発を含めた社会資源のあり方を考えます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	B・H・J			

テキスト	プリントを使用します
参考書	社会福祉士養成講座編集委員会、2015年、『新社会福祉士養成講座7 相談援助の理論と方法Ⅰ第3版』、中央法規 社会福祉士養成講座編集委員会、2015年、『新社会福祉士養成講座8 相談援助の理論と方法Ⅱ第3版』、中央法規

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		40%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法			
実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	各演習担当教員に確認してください。
資格	[健]社会福祉士_必修
その他	「相談援助演習Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ」は、社会福祉士国家試験受験資格の取得を希望する学生が対象となります。 ＜単位修得における注意＞ 「相談援助実習指導Ⅱ」「相談援助実習」「相談援助演習Ⅲ」「相談援助演習Ⅳ」「相談援助演習Ⅴ」の5科目は同一年次に履修して下さい。本科目において4回以上の遅刻(15分以内)および欠席した学生は配属後であっても相談援助実習を中止し、単位を認定しませんので注意して下さい。

科目名	相談援助実習指導Ⅱ	授業形態	演習	単位数	4
教員名	岩本　希、黒澤　直子、久野　真知子				
授業の目的 ねらい	相談援助実習の目的を理解し必要な知識と技術を得て、相談援助実習に効果的に取り組むことができるようにするとともに、実習後の振り返り等を通し社会福祉士として求められる資質、技能、倫理等についての定着を図る。				
授業の目的 到達目標	(1)相談援助に関わる知識と技術について具体的かつ実際的に理解し実践的な技術等を体得する。 (2)社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。 (3)具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を養成する。				

授業の計画					
第1回	【テーマ】前学期オリエンテーション 【計画内容】授業のオリエンテーションとして1年間の実習指導の授業のうち、主に前学期の流れと内容や提出物、注意事項等を確認します。また相談援助実習に向けて実習の意義や目的を確認する機会とします。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A・K	第9回	【テーマ】実習前の領域別学習～事前実習の振り返りと本実習に向けて～ 【計画内容】事前実習の経験を領域ごとに振り返り、学習課題と実習生としての課題を確認します。そして各自が実習で達成したいことを個別課題として作成する基盤を作り、本実習に目的意識を持って取り組めるようにします。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読み、実習に必要な知識を理解しておくこと。	A・B・H
第2回	【テーマ】相談援助実習とは 【計画内容】相談援助実習の概要について再度確認し、また、各自にとっての相談援助実習の意義や課題を確認します。 【授業時間外の学修内容】テキストおよび実習マニュアルの該当箇所を読み、実習に必要な知識を理解しておくこと。	B・H	第10回	【テーマ】個別課題の作成 【計画内容】個別課題の取り組みの進捗状況や疑問点などを確認しながら、個別課題の完成に向けた指導を行います。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読み、実習に必要な知識を理解しておくこと。	B・H
第3回	【テーマ】事前実習について 【計画内容】事前実習に向けた準備として、事前実習の内容や意義について説明します。また、事前実習の前に明確にしておくべき要素について確認を行います。そして電話を掛ける準備も行います。 【授業時間外の学修内容】テキスト第2章「実習先に電話をかける」「オリエンテーションの意義・内容」「実習指導者に思いを伝える」を読んでくること。	A・H・N	第11回	【テーマ】事前打ち合わせ会等オリエンテーション 【計画内容】事前打ち合わせ会において個別課題についてスーパーバイザーから指導を受ける機会を持ちます。また実習に関わる様々な事項の打ち合せを行います。打ち合わせ会に向けて必要な準備や打ち合わせ会の流れについて説明します。また、事前訪問が必要な学生のケースについての説明も行います。 【授業時間外の学修内容】テキストおよび配付資料の該当箇所を読み、実習に必要な知識を理解しておくこと。	A・H
第4回	【テーマ】日誌の書き方(事前実習用) 【計画内容】事前実習における日誌の書き方と取り扱い方の説明を行い、実際の日誌を書くことを念頭に置いて実践的に学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト第1章「実習日誌の意義・書き方」を読んでくること。	H	第12回	【テーマ】事前打ち合わせ会の準備、個別課題の完成 【計画内容】事前打ち合わせ会で確認すべき項目は何か、個別課題の相談の仕方などを実際にＲＰをしながら練習し備えておきます。 【授業時間外の学修内容】テキストおよび配付資料の該当箇所を読み、実習に必要な知識を理解しておくこと。	B・H・N
第5回	【テーマ】事前学習について 【計画内容】事前学習すべき要素や学習方法について説明します。また、各クラスでの事前学習の確認方法(レポートやノート作成)についても伝えます。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読み、実習に必要な知識を理解しておくこと。	A・H	第13回	【テーマ】指定課題の指導 【計画内容】指定課題の実際の取り組み方や流れについて詳しく説明、確認し、実習中に円滑に課題に取り組めるように学習する機会となります。 【授業時間外の学修内容】テキストおよび配付資料の該当箇所を読み、実習に必要な知識を理解しておくこと。	A・H・L
第6回	【テーマ】個別課題とは何か 【計画内容】相談援助実習中に取り組む個別課題とは何か、どのような流れで作成していくかについて説明します。 【授業時間外の学修内容】テキスト第1章「実習計画書の概要」「実習テーマ・達成課題を深める」を読んでくること。	A・H	第14回	【テーマ】スーパービジョンの活用方法と個別課題の修正 【計画内容】口頭または実習日誌などさまざまな形で行われるスーパービジョンについて、その意義やスーパーバイザーに報告・相談すべき事やスーパーバイジー(実習生)として期待される言動について学びます。また事前打ち合わせ会で個別課題の修正が必要な場合には、教員が指導し適切な個別課題を仕上げます。 【授業時間外の学修内容】テキスト第3章「スーパービジョンを受ける」および第2章「実習テーマ・達成課題の修正」を読んでくること。	A・B・F
第7回	【テーマ】事前実習の振り返りと実習日誌の指導 【計画内容】3日間の事前実習での経験を言語化し、他の学生と共有します。夏の本実習に向けて理解できたことと分からないことなどを明確にして、事前学習等の準備につなげていきます。また事前実習で書いてきた実習日誌の指導も行います。 【授業時間外の学修内容】テキスト第2章「オリエンテーションを振り返る」を読んでくること。	B・H	第15回	【テーマ】実習直前オリエンテーション 【計画内容】実習中のディレンマ、帰校日指導と記録活用法、緊急時や欠席時の連絡方法等、実習中の諸注意と確認事項について説明します。また実習に必要な日誌などを配付します。 【授業時間外の学修内容】テキスト第2章「近づく実習にさらに備える」、第3章「巡回指導・帰校日のスーパービジョンを活用する」ほか、すべてを読んでおいて下さい。	A
第8回	【テーマ】事前実習の振り返りと個別課題の作成 【計画内容】まず事前実習の体験を共有化し、実習までに解決すべき課題を整理します。また、そして各自が実習で達成したいことを個別課題として整理し、本実習に目的意識を持って取り組めるようにします。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読み、実習に必要な知識を理解しておくこと。	A・H			

テキスト	川村隆彦、2014年、『事例で深めるソーシャルワーク実習』、中央法規
参考書	初回講義時に具体的に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			20%		60%	20%
	補足			個別課題のまとめ			事前学習・個別課題

課題に関するフィードバックの方法			
実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[健]社会福祉士_必修
その他	原則として2年次後学期の「相談援助実習指導Ⅰ」「相談援助演習Ⅱ」及び2年次前学期までに開講されている社会福祉士受験資格取得にかかる前提科目(学科指定)の単位を取得していない者は履修できません。 ＜単位修得における注意＞ 「相談援助実習指導Ⅱ」「相談援助実習」「相談援助演習Ⅲ」「相談援助演習Ⅳ」「相談援助演習Ⅴ」の5科目は同一年次に履修して下さい。本科目において前学期中に4回以上の遅刻(15分以内)および欠席した学生は配属後であっても相談援助実習を中止し、単位を認定しませんので注意して下さい。

科目名	相談援助実習	授業形態	実習	単位数	6
教員名	黒澤　直子、岩本　希、久野　真知子				
授業の目的 ねらい	授業で習得した相談援助に関する知識・技術・倫理等についての理解が深まり、社会福祉士としての基礎的な素養が高まることを目指します。				
授業の目的 到達目標	(1)相談援助実習を通して、相談援助に関わる知識と技術について、具体的かつ実際的に理解し実践的な技術等を体得します。 (2)社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得します。 (3)関連分野の専門職との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解します。				
授業の計画	【計画内容】 ＜実習の内容＞ ①概ね1週目（職場理解） 実習機関の理解を深めます～理念や援助方針、運営管理、地域や地域資源との連携などの講義、企画同行など。 ②概ね2週目（職種理解） 社会福祉士の担う役割について理解を深めます～業務同行、日報作成、カンファランス同席など。 ③概ね3、4、5週目（ソーシャルワーク理解） ソーシャルワークの専門性について理解を深めます～相談面接同席、ニーズ把握のための手立・調査、アセスメント、個別援助計画作成、事例研究など。 ＜実習指導の内容＞ 設定した実習課題が達成されるよう、訪問・帰校日指導をとおして学びます。 毎週の訪問・帰校日指導を通して、次のことを指導していきます。 ①基本的なコミュニケーションや対人関係の構築など人間関係の形成について ②利用者理解とそのニーズ把握及び支援計画の作成について ③利用者やその関係者との援助関係の形成について ④利用者やその関係者への権利擁護及び支援とその評価について ⑤多職種連携をはじめとする支援におけるチームアプローチの実際について ⑥社会福祉士としての職業倫理、施設・事業者・機関・団体等の職員の就業などに関する規定への理解と組織の一員としての役割と責任への理解について ⑦施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営の実際について ⑧当該実習先が地域社会の中の施設・事業者・機関・団体であることへの理解と具体的な地域社会への働きかけとしてのアウトリーチ、ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発に関する理解について 【授業時間外の学修内容】 実習機関および実習内容について十分な事前学習を行ってください。				D
テキスト	講義内で提示します				
参考書	初回講義時に具体的に説明します				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			30%		30%	40%
	補足			実習報告書・実習報告会資料			実習施設・機関の評価

課題に関するフィードバックの方法	
実務経験と授業の関連 該当	経験内容
	科目との関連
質問への対応	不明な点は相談援助実習責任者：黒澤まで問い合わせて下さい。
資格	［健］社会福祉士_必修
その他	原則として2年次後学期の「相談援助実習指導Ⅰ」「相談援助演習Ⅱ」及び2年次前学期までに開講されている社会福祉士受験資格取得にかかる前提科目（学科指定）の単位を取得していない者は履修できません。 ＜成績評価の内容について＞ 実習施設・機関の評価（その他40%）および意欲・態度・課題による評価60% ＜単位修得における注意＞ 「相談援助実習」「相談援助実習指導Ⅱ」「相談援助演習Ⅲ」「相談援助演習Ⅳ」「相談援助演習Ⅴ」の5科目は同一年次に履修して下さい。

科目名	健康福祉専門職演習Ⅰ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	岩本　希				
授業の目的 ねらい	本講義は社会福祉士国家資格取得のために基礎学習の確認を通して必要な知識を修得し、国家試験に向けた学習スキルや学習習慣を身に付けることを目的とする。				
授業の目的 到達目標	(1)社会福祉士国家資格取得に必要な知識を確実なものとする。 (2)社会福祉士国家試験の学習に必要な学習スキルや学習習慣を身に付ける。				

授業の計画					
第1回	【テーマ】オリエンテーション、人体の構造と機能及び疾病 【計画内容】授業のねらいと到達目標、15回の授業展開及び受講の心得を説明します。 人体の構造と機能についての理解を深め、国家試験に必要な知識を習得します。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A・H	第9回	【テーマ】低所得者に対する支援と生活保護制度 【計画内容】生活保護制度についての理解を深め、国家試験に必要な知識を習得します。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A・H
第2回	【テーマ】心理学理論と心理的支援 【計画内容】心理学理論についての理解を深め、国家試験に必要な知識を習得します。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A・H	第10回	【テーマ】保健医療サービス 【計画内容】保健医療サービスについての理解を深め、国家試験に必要な知識を習得します。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A・H
第3回	【テーマ】社会理論と社会システム 【計画内容】社会理論についての理解を深め、国家試験に必要な知識を習得します。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A・H	第11回	【テーマ】権利擁護と成年後見制度 【計画内容】権利擁護についての理解を深め、国家試験に必要な知識を習得します。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A・H
第4回	【テーマ】現代社会と福祉 【計画内容】現代社会と福祉についての理解を深め、国家試験に必要な知識を習得します。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A・H	第12回	【テーマ】社会調査の基礎 【計画内容】社会調査についての理解を深め、国家試験に必要な知識を習得します。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A・H
第5回	【テーマ】地域福祉の理論と方法 【計画内容】地域福祉についての理解を深め、国家試験に必要な知識を習得します。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A・H	第13回	【テーマ】相談援助の基盤と専門職 【計画内容】相談援助の基盤と専門職についての理解を深め、国家試験に必要な知識を習得します。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A・H
第6回	【テーマ】福祉行財政と福祉計画 【計画内容】福祉行財政、福祉計画についての理解を深め、国家試験に必要な知識を習得します。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A・H	第14回	【テーマ】相談援助の理論と方法 【計画内容】相談援助の理論と方法についての理解を深め、国家試験に必要な知識を習得します。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A・H
第7回	【テーマ】社会保障 【計画内容】社会保障についての理解を深め、国家試験に必要な知識を習得します。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A・H	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの講義のまとめと振り返りを行います。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A・H
第8回	【テーマ】障害者に対する支援と障害者自立支援制度 【計画内容】障害者福祉についての理解を深め、国家試験に必要な知識を習得します。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A・H			

テキスト	講義時に説明します						
参考書	講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			30%		70%	
	補足						
課題に関するフィードバックの方法							
実務経験と授業の関連		経験内容					
		科目との関連					
質問への対応	初回の講義で具体的に説明します						
資格							
その他	社会福祉士国家試験を受験する学生は、必ず履修すること。 学習方法や取り組み内容へのフィードバックは適宜講義内及び個別指導にて行います。						

科目名	健康福祉専門職演習Ⅰ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	八巻　貴穂				
授業の目的 ねらい	介護福祉士養成課程で学んだ介護福祉の知識の確認と復習を行います。繰り返し学ぶことで、各科目に対する理解を深め、介護福祉士国家試験合格を目指します。				
授業の目的 到達目標	(1)介護福祉士国家試験科目の復習を行うことで理解を深める。 (2)模擬試験を通して、介護福祉士国家試験に合格できるよう準備を行う。				

授業の計画					
第1回	【テーマ】オリエンテーション　模擬試験Ａ 【計画内容】授業の進め方、国家試験についての説明を行います。模擬試験を通して、現段階までの理解度を確認します。 【授業時間外の学修内容】3年次までの学びの復習をしてくること。	B	第9回	【テーマ】受験対策講座1　ガイダンス･社会の理解① 【計画内容】外部講師による受験対策講座のガイダンス、テーマ科目について学びます。 【授業時間外の学修内容】受講対策講座に向け、学習ノートの整理を行うこと。	A
第2回	【テーマ】模擬試験Ｂ 【計画内容】模擬試験を通して、現段階までの理解度を確認します。 【授業時間外の学修内容】3年次までの学びの復習をしてくること。	B	第10回	【テーマ】受験対策講座2　社会の理解② 【計画内容】外部講師による受験対策講座、テーマ科目について学びます。 【授業時間外の学修内容】テーマ科目について自己学習し、学習ノートの整理を行うこと。	A
第3回	【テーマ】人間関係とコミュニケーション･認知症の理解 【計画内容】テーマの科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】テーマ科目の予習をしてくること。	B	第11回	【テーマ】受験対策講座3　こころとからだのしくみ① 【計画内容】外部講師による受験対策講座、テーマ科目について学びます。 【授業時間外の学修内容】テーマ科目について自己学習し、学習ノートの整理を行うこと。	A
第4回	【テーマ】人間の尊厳と自立･コミュニケーション技術 【計画内容】テーマの科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】テーマ科目の予習をしてくること。	B	第12回	【テーマ】受験対策講座4　こころとからだのしくみ② 【計画内容】外部講師による受験対策講座、テーマ科目について学びます。 【授業時間外の学修内容】テーマ科目について自己学習し、学習ノートの整理を行うこと。	A
第5回	【テーマ】介護の基本① 【計画内容】テーマの科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】テーマ科目の予習をしてくること。	B	第13回	【テーマ】受験対策講座5　障害の理解 【計画内容】外部講師による受験対策講座、テーマ科目について学びます。 【授業時間外の学修内容】テーマ科目について自己学習し、学習ノートの整理を行うこと。	A
第6回	【テーマ】介護の基本② 【計画内容】テーマの科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】テーマ科目の予習をしてくること。	B	第14回	【テーマ】受験対策講座6　発達と老化の理解 【計画内容】外部講師による受験対策講座、テーマ科目について学びます。 【授業時間外の学修内容】テーマ科目について自己学習し、学習ノートの整理を行うこと。	A
第7回	【テーマ】生活支援技術 【計画内容】テーマの科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】テーマ科目の予習をしてくること。	B	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】学習のまとめとして国家試験模試を行います。 【授業時間外の学修内容】今までの学びを復習しておくこと。	B
第8回	【テーマ】介護過程･医療的ケア 【計画内容】テーマの科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】テーマ科目の予習をしてくること。	B			

テキスト	講義時に説明します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分					50%	50%
補足						

課題に関するフィードバックの方法	模擬問題について、単元ごとに振り返り確認を行います。
実務経験と授業の関連	経験内容
	科目との関連
質問への対応	初回講義時に説明します
資格	
その他	介護福祉士国家試験受験準備のための科目です。予習･復習など積極的に取り組む姿勢を求めます。

科目名	健康福祉専門職演習Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	久野　真知子				
授業の目的 ねらい	本講義は社会福祉士国家資格取得のために必要な知識を修得し、国家試験に向けた学習スキルや学習習慣を身に付けることを目的とする。				
授業の目的 到達目標	(1)社会福祉士国家資格取得に必要な知識を確実なものとする。 (2)社会福祉士国家試験の学習に必要な学習スキルや学習習慣を身に付ける。				

授業の計画					
第1回	【テーマ】模擬問題を学習する①　保健医療サービス 【計画内容】模擬問題集の問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】模擬問題集を事前に学習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】模擬問題を学習する⑨　就労支援サービス、更生保護制度 【計画内容】模擬問題集の問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】模擬問題集を事前に学習しておくこと。	A
第2回	【テーマ】模擬問題を学習する②　権利擁護と成年後見制度 【計画内容】模擬問題集の問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】模擬問題集を事前に学習しておくこと。	A	第10回	【テーマ】社会福祉士国家試験対策 【計画内容】受験の心構えや問題を解くテクニックなどについてを学習する。 【授業時間外の学修内容】配付したレジュメを事前に学習しておくこと。	A
第3回	【テーマ】模擬問題を学習する③　社会調査の基礎 【計画内容】模擬問題集の問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】模擬問題集を事前に学習しておくこと。	A	第11回	【テーマ】苦手科目の学習① 【計画内容】自分が苦手と感じている科目について学習する。 【授業時間外の学修内容】模擬問題集を事前に学習しておくこと。	A
第4回	【テーマ】模擬問題を学習する④　相談援助の基盤と専門職 【計画内容】模擬問題集の問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】模擬問題集を事前に学習しておくこと。	A	第12回	【テーマ】苦手科目の学習② 【計画内容】自分が苦手と感じている科目について学習する。 【授業時間外の学修内容】模擬問題集を事前に学習しておくこと。	A
第5回	【テーマ】模擬問題を学習する⑤　相談援助の理論と方法 【計画内容】模擬問題集の問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】模擬問題集を事前に学習しておくこと。	A	第13回	【テーマ】苦手科目の学習③ 【計画内容】自分が苦手と感じている科目について学習する。 【授業時間外の学修内容】模擬問題集を事前に学習しておくこと。	A
第6回	【テーマ】模擬問題を学習する⑥　福祉サービスの組織と経営 【計画内容】模擬問題集の問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】模擬問題集を事前に学習しておくこと。	A	第14回	【テーマ】国家試験直前の学習方法① 【計画内容】国家試験直前の学習方法等について説明する。 【授業時間外の学修内容】模擬問題集を事前に学習しておくこと。	A
第7回	【テーマ】模擬問題を学習する⑦　高齢者に対する支援と介護保険制度 【計画内容】模擬問題集の問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】模擬問題集を事前に学習しておくこと。	A	第15回	【テーマ】国家試験直前の学習方法② 【計画内容】国家試験直前の学習方法等について説明する。 【授業時間外の学修内容】模擬問題集を事前に学習しておくこと。	A
第8回	【テーマ】模擬問題を学習する⑧　児童や家庭に対する支援と児童･家庭福祉制度 【計画内容】模擬問題集の問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】模擬問題集を事前に学習しておくこと。	A			

テキスト	講義時に説明する
参考書	講義時に説明する

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			30%		70%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	課題等に対するフィードバックは、随時、授業内において行う。	
実務経験と授業の関連	経験内容	
	科目との関連	
質問への対応	初回講義時に説明する	
資格		
その他	社会福祉士国家試験を受験する者は、必ず履修すること。 課題等に対するフィードバックは、随時、授業内において行う。	

科目名	健康福祉専門職演習Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	梶　晴美				

授業の目的	ねらい	3年次からの「就業力特別演習Ⅰ・Ⅱ」、「健康福祉専門職演習Ⅰ」での学習をさらに深め、「就業力特別演習Ⅲ」と連動し、繰り返し復習することで介護福祉士に必要な介護福祉の知識を定着させます。繰り返し学ぶことで、各科目に対する理解を深め、介護福祉士国家試験合格を目指します。
	到達目標	(1)介護福祉士国家試験科目の学習により、介護福祉士に必要な知識を深める。 (2)模擬試験で全科目65%の正答率を目指し、結果から自己の課題を見いだし次の学習に役立てる。 (3)模擬試験を通して、介護福祉士国家試験に合格できる力をつける。 (4)介護福祉士国家試験に合格する。

授業の計画					
第1回	【テーマ】ガイダンス、学内模擬試験 【計画内容】授業の進め方、国家試験受験のための準備について説明し、現在の学習状況を確認する。模擬試験を行い、自己採点し、苦手科目、得意科目を把握する。 【授業時間外の学修内容】模擬試験に臨む準備をしてくること。次回の解説科目の問題についてテキストや参考書等で正答を確認しておくこと。	A・B	第9回	【テーマ】学力評価試験解説① 【計画内容】正答率の低かった問題を中心に解答の確認・解説を行う。 【授業時間外の学修内容】学力評価試験の問題を見直し、次回の解説科目の問題についてテキストや参考書等で正答を確認しておくこと。	B
第2回	【テーマ】模擬試験解説① 【計画内容】正答率の低かった問題を中心に解答の確認・解説を行う。 【授業時間外の学修内容】模擬試験の問題を見直し、次回の解説科目の問題についてテキストや参考書等で正答を確認しておくこと。	A・B	第10回	【テーマ】学力評価試験解説② 【計画内容】正答率の低かった問題を中心に解答の確認・解説を行う。 【授業時間外の学修内容】学力評価試験の問題を見直し、次回の解説科目の問題についてテキストや参考書等で正答を確認しておくこと。	A・B
第3回	【テーマ】模擬試験解説② 【計画内容】正答率の低かった問題を中心に解答の確認・解説を行う。 【授業時間外の学修内容】模擬試験の問題を見直し、次回の解説科目の問題についてテキストや参考書等で正答を確認しておくこと。	A・B	第11回	【テーマ】学力評価試験解説③ 【計画内容】正答率の低かった問題を中心に解答の確認・解説を行う。 【授業時間外の学修内容】学力評価試験の問題全体を見直し、次の模擬試験に臨む準備をしておくこと。	A・B
第4回	【テーマ】模擬試験解説③ 【計画内容】正答率の低かった問題を中心に解答の確認・解説を行う。 【授業時間外の学修内容】模擬試験の問題全体を見直し、次の模擬試験に臨む準備をしておくこと。	A・B	第12回	【テーマ】学内模擬試験 【計画内容】模擬試験を行う。自己採点し、前回の試験からの成果を確認し、冬休みの学習計画を立てる。 【授業時間外の学修内容】模擬試験の準備をしてくること。自己採点し、不正解問題を見直しておくこと。	A・B
第5回	【テーマ】全国統一模擬試験 【計画内容】全国統一模擬試験を行う。自己採点し、前回模試からの勉強の成果を確認し、今後の学習計画を立てる。 【授業時間外の学修内容】模擬試験の準備をしてくること。次回の解説科目の問題についてテキストや参考書等で正答を確認しておくこと。	A・B	第13回	【テーマ】学内模擬試験解説 【計画内容】正答率の低かった問題を中心に解答の確認・解説を行う。 【授業時間外の学修内容】模試の見直しをすること。体調管理と朝方の生活リズムに整えること。	B
第6回	【テーマ】模擬試験解説① 【計画内容】正答率の低かった問題を中心に解答の確認・解説を行う。 【授業時間外の学修内容】模擬試験の問題を見直し、次回の解説科目の問題についてテキストや参考書等で正答を確認しておくこと。	A・B	第14回	【テーマ】国家試験受験直前準備 【計画内容】国家試験受験直前の最終調整を行います。受験の心得、注意事項等を確認し、受験当日に備えます。 【授業時間外の学修内容】これまでの学習を整理しておく。体調管理と生活リズムが崩れないよう留意すること。	A・B
第7回	【テーマ】模擬試験解説② 【計画内容】正答率の低かった問題を中心に解答の確認・解説を行う。 【授業時間外の学修内容】模擬試験の問題を見直し、次回の解説科目の問題についてテキストや参考書等で正答を確認しておくこと。	A・B	第15回	【テーマ】介護福祉士国家試験の解説 【計画内容】受験した国家試験の正答を全員で確認し、自己採点および解答の解説をする。 【授業時間外の学修内容】受験した国家試験の問題と自分の解答を確認しておく。	A・B
第8回	【テーマ】模擬試験解説③ 【計画内容】正答率の低かった問題を中心に解答の確認・解説を行う。 【授業時間外の学修内容】模擬試験の問題全体を見直し、次の学力評価試験に臨む準備をしておくこと。	A・B			

テキスト	講義時に説明します
参考書	2019年、『介護福祉士国家試験合各テキスト2020』、中央法規 2021年、『介護福祉国家試験過去問解説集2022』、中央法規 2021年、『見て覚える！介護福祉士国試ナビ2022』、中央法規

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分					30%	70%
補足						模擬試験等

課題に関するフィードバックの方法	模試の成績は個人成績にして変化が見られる様にフィードバックします。 全国模試は個人成績のフィードバックがあります。科目毎にフィードバックし学修成果や課題を視覚化します。	
実務経験と授業の関連	経験内容	
	科目との関連	
質問への対応	授業後に教室で受けるほか、オフィスアワー、チームズでも受けます。	
資格		
その他	介護福祉士国家試験を受験する学生は必ず受講してください。国家試験合格にむけて日々努力することが求められます。初回に学内模擬試験、10月に全国模擬試験、11月に学力評価試験、12月に学内模試を予定しています。全国模試は受験料の自己負担があります。学力評価試験は授業外で行われます。	

科目名	健康産業施設実習	授業形態	実習	単位数	2
教員名	上田　知行、髙田　真吾				
授業の目的 ねらい	健康づくりのための運動や身体活動の増強を提供・支援する現場でのさまざまなケース(性、年齢、身体状況、嗜好など)に対応できる実践応力を身につけることを目的とする。健康産業施設での実習により、健康産業に携わる専門職の役割について実践を通して理解し、さまざまなケースを体験するなかで、前向きに対応する力、応用する力、考える力を養う。				
授業の目的 到達目標	(1)運動指導者としてふさわしい接遇能力を身につける。 (2)施設の安全管理、利用者の管理、各種トレーニング機器の使用方法を身につける。 (3)体力測定、集団プログラム、個別プログラムの実践力を身につける。				
授業の計画	【計画内容】 (1)ガイダンス、運動指導者のために必要な行動目標の確認 授業の紹介をし、15回の授業展開を説明する。(上田知行・髙田真吾) (2)実習計画の作成 具体的な実習計画を作成する。(上田知行・髙田真吾) (3)～(5)接遇実習 顧客満足度を得られる接遇についての実習と、接遇に関わる総合演習・ロールプレイ実習を行う。(上田知行・髙田真吾) (6)～(9)施設管理業務に関わる実習 施設の安全管理・リスクマネジメント、顧客管理に関する実習と、施設管理業務に関わる総合演習・ロールプレイ実習を行う。(上田知行・髙田真吾) (10)～(14)健康運動実習 実際の運動指導、体力測定、個別プログラムの作成と指導に関する実習と、健康運動の指導に関わる総合演習・ロールプレイ実習を行う。(上田知行・髙田真吾) (15)実習見極め・フィードバック 実習日誌と実習報告書を作成し、これまでの実習を総括した実習報告会を行う。(上田知行・髙田真吾) 【授業時間外の学修内容】テキストの該当部分に関わる項目を熟読しておくこと。実習日誌を作成すること。 実習日誌を作成すること。				A・B・D・F・H・L
テキスト	健康・体力づくり事業財団、2020年、『健康運動指導士養成講習会テキスト』、南江堂				
参考書	講義時に説明します				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法			
実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	
質問への対応	講義時に説明します		
資格	[ス]健康運動指導士_必修、JPSUスポーツトレーナー_選必		
その他	健康運動指導士受験資格を得るもの、または JATI 受験を目指すものが受講できる		

科目名	福祉実践実習	授業形態	実習・演習	単位数	2
教員名	黒澤　直子、尾形　良子				
授業の目的	ねらい	本実習はこれまでの社会福祉および相談援助に関する学びを深化させ、より高度な実践力を涵養することを目的とする。また、本実習ではソーシャルワーカーに求められる力量を高め、社会福祉専門職として活躍できる人材を養成することを目的とする。			
	到達目標	(1)ソーシャルワークの実践過程を踏まえ、クライエントへの場面に応じて適切な関わりができるようになる。 (2)ソーシャルワーカーに求められる実践能力を向上させる。 (3)クライエントの置かれている背景を理解し、アセスメント能力を向上させる。			
授業の計画	【計画内容】 第　1　回：オリエンテーション 第２～３回：相談援助実習の振り返り 第　4　回：事前学習内容の確認 第５～７回：実習課題の作成 第８～９回：事例研究および記録の方法の確認 第　10　回：実習前オリエンテーション 第11～15回：施設･機関実習（原則15日間） ※実習期間中、中間時点で訪問指導を行う。 第　16　回：オリエンテーション 第17～18回：実習の振り返り 第19～20回：事例研究報告と事例検討 第21～22回：スーパービジョンの事例検討 第23～24回：実習中のディレンマ事例研究 第25～29回：実習報告書の作成 第　30　回：まとめ 【授業時間外の学修内容】学生の実習施設･機関、実習課題に応じて、個別に指示します。				第１～４、１０、１６回：B、第５～９、２５～２９回：B、G、第１１～１５回：D、第１７～１８、３０回：B、L、第１９～２４回：B、J
テキスト	講義時に説明します				
参考書	講義時に説明します				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			30%		30%	40%
	補足						

課題に関するフィードバックの方法			
実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	
質問への対応	初回講義時に説明します。		
資格			
その他	本実習は健康福祉学科4年生で3年次に「相談援助実習」を履修し、かつ単位を修得した学生を対象とする。		

科目名	専門演習Ⅲ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	担当教員				
授業の目的 ねらい	3年次の「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」で学習した内容や修得した実践力をもとに、選択した学問領域における課題解決に取り組む。また、「卒業研究」に取り組む場合は関心のある課題を整理し、卒業研究テーマを検討し、「卒業研究」の準備に備える。 個々の興味関心や問題意識に基づき、少人数のセミナー形式で、各指導教員のもとで演習を展開する。				
授業の目的 到達目標	(1)指導教員及びゼミナールの仲間と専門分野の研究を極める。 (2)個々の学生ごとに、関心ある専門分野研究テーマにそって先行研究を調査し整理する。 (3)ゼミナール内での発表やディスカッションの経験を通してコミュニケーション能力を高める。 (4)「卒業研究」に取り組む場合は関心のある課題を整理し、卒業研究のテーマを検討する。				
授業の計画	【計画内容】 第1回：オリエンテーション 基本的には「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」と同じ指導教員のもとで展開します。指導教員ごとに少人数のセミナー形式で行い、スケジュールや扱う研究テーマなどについて説明します。展開の詳細は指導教員によって異なるところがあります。 第2回～第6回：自分の（研究）課題を明確にする 「専門演習Ⅱ」に引き続き、各専門領域における自身の持つ問題意識から課題を明確にし、さらに深く文献を通して探求します。 「卒業研究」に取り組む場合は、研究の意義と目的を学び、先行研究の収集して読みます。 第7回～第14回：課題について研究する 文献研究や調査・実験等を行い、そこから得られたことをレポートにまとめ、発表・ディスカッション等を通して、文章作成能力、プレゼンテーション力を高めます。さらには各専門分野に必要な知識を深く学習し、理解を深めます。 「卒業研究」に取り組む場合は、先行研究を踏まえて自己の研究課題を明確にし、研究計画を立案します。 第15回：まとめと振り返り 「専門演習Ⅲ」をふり返り、まとめを行います。 「卒業研究」に取り組む場合は、テーマ設定を行い卒業研究の方向性を明らかにします。 【授業時間外の学修内容】 「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」の学びを確認しておくこと。 提示された文献を事前に読み、レジュメを作成する。活動へ参加する際は、事前学習を行い、目的意識をもって参加すること。	第１回 Ａ、 第２回～ 第６回 Ｂ、 第７回～ 第１４回 Ｃ・Ｇ・Ｊ・ Ｆ、 第１５回 Ｌ			
テキスト	講義時に説明する				
参考書	講義時に説明する				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足			レポート・レジュメ		発言や活動の積極性	

課題に関するフィードバックの方法	取り組み課題へのフィードバック方法は担当教員により異なるため、適宜担当教員より説明します。		
実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	
質問への対応	担当教員が随時対応する。		
資格			
その他	「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」を単位修得している、もしくは「専門演習Ⅰ」を並行履修していること。		

科目名	専門演習Ⅳ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	担当教員				
授業の目的 ねらい	3年次の「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」、4年次の「専門演習Ⅲ」で学習した内容や修得した実践力をもとに、選択した学問領域における課題解決に取り組む。 個々の興味関心や問題意識に基づき、少人数のセミナー形式で、各指導教員のもとで演習を展開する。				
授業の目的 到達目標	(1)指導教員及びゼミナールの仲間と専門分野の研究を極める。 (2)ゼミナール内での発表やディスカッションの経験を通してコミュニケーション能力を高める。				
授業の計画	【計画内容】 第1回:オリエンテーション 基本的には「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」「専門演習Ⅲ」と同じ指導教員のもとで展開します。指導教員ごとに少人数のセミナー形式で行い、スケジュールや扱う研究テーマなどについて説明します。展開の詳細は指導教員によって異なるところがあります。 第2回～第7回:自分の課題について研究する 「専門演習Ⅲ」に引き続き、文献研究や調査・実験等を行い、そこから得られたことをレポートにまとめ、発表・ディスカッション等を通して、文章作成能力、プレゼンテーション力を高めます。さらには各専門分野に必要な知識を深く学習し、理解を深めます。 第8回:まとめと振り返り 「専門演習Ⅳ」をふり返り、まとめを行います。 【授業時間外の学修内容】 「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」「専門演習Ⅲ」の学びを確認しておくこと。 活動へ参加する際は、事前学習を行い、目的意識をもって参加し、各自でふり返りを行うこと。	第１回 Ａ、 第２回～ 第６回 Ｃ・Ｇ・Ｊ・ Ｆ、 第８回 Ｌ			
テキスト	講義時に説明する				
参考書	講義時に説明する				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足			レポート・レジュメ		発言や活動の積極性	

課題に関するフィードバックの方法	取り組み課題へのフィードバック方法は担当教員により異なるため、適宜担当教員より説明します。		
実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	
質問への対応	担当教員が随時対応する。		
資格			
その他	「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」「専門演習Ⅲ」を単位修得している、もしくは「専門演習Ⅱ」を並行履修していること。		

科目名	卒業研究	授業形態	演習	単位数	2
教員名	担当教員				
授業の目的 ねらい	「卒業研究」では、福祉・介護・健康に関する学問分野の専門性を高めることを目的とした研究活動に取り組む。設定したテーマに関する先行研究の調査を行い、課題を再確認し課題解決のための方策を探る。課題解決策を探求し実践的な課題解決能力を養う。また、各自で取り組んだ研究を論文形式または同レベルの形にまとめ、発表会を通じてその成果を発表する。				
授業の目的 到達目標	(1)「専門演習Ⅲ」で設定した研究課題を解決するために専門的な研究を行う。 (2)研究的思考の重要性について理解し、自己啓発につなげる。 (3)研究成果をまとめ、プレゼンテーションを行う。				
授業の計画	【計画内容】 第　1　回　オリエンテーション 授業の展開と卒業研究作成要領などの説明を行う。(担当教員) 第2回～第3回　研究計画及び研究テーマの検討 指導教員と共に研究計画および研究テーマを決定する。(担当教員) 第4回～第5回　研究計画及び研究テーマのゼミナール内討議 研究計画及び研究テーマをゼミナール内で討議する。(担当教員) 第6回～第13回　卒業研究の実践 指導教員の指導のもと、研究計画に沿った卒業研究に取り組む。(担当教員) 第14回～第15回　卒業研究のまとめとプレゼンテーション 卒業研究をまとめ、プレゼンテーションを実践する。(担当教員) 【授業時間外の学修内容】 「専門演習Ⅲ」の研究課題に係る先行研究の文献などの調査を行うこと。毎回、体系的で専門的な研究ができるよう準備すること。 早い時期からなるべく多くの研究論文に接し、論文のスタイルに慣れる。また、卒業論文のテーマに関する資料をできるだけ多く収集し、論文作成の際に利用できるように整理する。	第1回A、第2～3回B、第4～5回H、第6回～第13回C・G・J、第14～15回F			
テキスト	講義時に説明する				
参考書	講義時に説明する				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		10%	20%
	補足			卒業研究の内容		研究意欲他	発表会の内容

課題に関するフィードバックの方法	取り組み内容へのフィードバック方法は指導教員により異なりますので適宜指導教員から説明します。		
実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	
質問への対応	随時指導教員が対応する。		
資格			
その他	「専門演習Ⅲ」を単位修得済みであること。		

科目名	介護実習指導Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	八巻　貴穂、古市　孝義、小川　好子				
授業の目的 ねらい	「介護実習Ⅰ」のまとめ、「介護実習Ⅱ」の事前、事後指導を行う。利用者を理解し、介護過程の展開に必要な能力を養い、介護福祉士を目指すための個別ケア実践の学習を深める。あわせて福祉施設におけるレクリエーションの実践的な展開方法を学ぶ。グループ学習やロールプレイを通し、より実践的な学習を行う。事例学習により、より具体的な介護過程の展開方法を理解できるようにする。				
授業の目的 到達目標	(1)学内で習得する講義と演習の統合をはかりながら、利用者を理解し、個別介護の必要性を理解する。 (2)利用者主体の介護過程を展開する方法を理解する。				

授業の計画					
第1回	【テーマ】「介護実習Ⅱ」の学びの報告と事後学習のガイダンス 【計画内容】「介護実習Ⅱ」の振り返りをし自己評価を行います。「介護実習Ⅱ」の事後学習について説明をします。(八巻貴穂・古市孝義・小川好子) 【授業時間外の学修内容】実習期間中の記録を見直し、自己の実習状況について考察をすること。	A・H・L	第7回	【テーマ】「介護実習Ⅱ」報告会の準備1 【計画内容】介護実習Ⅱ報告集の作成を行います。(八巻貴穂・古市孝義・小川好子) 【授業時間外の学修内容】授業資料を確認し、原稿作成を行うこと。	A・H
第2回	【テーマ】介護過程の展開(個別介護計画と実践・評価)1 【計画内容】介護過程の実施記録と評価の視点を中心に学びます。(八巻貴穂・古市孝義・小川好子) 【授業時間外の学修内容】「受け持ち利用者の記録」を整理し、報告集原稿作成の準備をすること。	B・H	第8回	【テーマ】「介護実習Ⅱ」報告会の準備2 【計画内容】介護実習Ⅱ報告集の作成を行います。(八巻貴穂・古市孝義・小川好子) 【授業時間外の学修内容】授業資料を確認し、原稿作成を行うこと。	A・H
第3回	【テーマ】介護過程の展開(個別介護計画と実践・評価)2 【計画内容】グループワーク：各自、受け持ち利用者の事例を通して、介護過程の学びをまとめます。(八巻貴穂・古市孝義・小川好子) 【授業時間外の学修内容】前回の授業を踏まえて、自己の「受け持ち利用者の記録」を見直すこと。	B・H	第9回	【テーマ】「介護実習Ⅱ」報告会の準備3 【計画内容】介護実習Ⅱ報告会の報告原稿を作成します。(八巻貴穂・古市孝義・小川好子) 【授業時間外の学修内容】自らの報告原稿を確認し、報告原稿の作成を行うこと。	A・H
第4回	【テーマ】楽しみの支援2～レクリエーション計画実践の評価 【計画内容】レクリエーション計画と実践の記録を整理し、評価の視点を学びます。(八巻貴穂・古市孝義・小川好子) 【授業時間外の学修内容】レクリエーション実践の記録を整理し発表の準備をしておくこと。	A・B・H	第10回	【テーマ】「介護実習Ⅱ」報告会 【計画内容】介護実習Ⅱの学びを報告し、参加学生との意見交換を通し学びの共有を行います。(八巻貴穂・古市孝義・小川好子) 【授業時間外の学修内容】事前に介護実習Ⅱ報告集を熟読し、質問、意見などをまとめた上で出席すること。	F
第5回	【テーマ】事例検討会1(レクリエーション) 【計画内容】グループワーク：レクリエーション計画と実践の報告を行い学びを共有します。(八巻貴穂・古市孝義・小川好子) 【授業時間外の学修内容】レクリエーションの記録を整理し発表の準備をすること。	B・F	第11回	【テーマ】「介護実習指導Ⅲ・訪問介護実習」に向けて 【計画内容】「介護実習指導Ⅲ・訪問介護実習」ガイダンスを行います。(八巻貴穂・古市孝義・小川好子) 【授業時間外の学修内容】介護実習要項を熟読の上、受講すること。	A・H
第6回	【テーマ】事例検討会2(介護過程) 【計画内容】グループワーク：個々に取り組んだ介護過程による事例検討で、学びを深めます。(八巻貴穂・古市孝義・小川好子) 【授業時間外の学修内容】「受け持ち利用者の記録」を整理し発表の準備をすること。	B・F・J	第12回	【テーマ】「介護実習Ⅱ」個人面談 【計画内容】「介護実習Ⅱ」の実習評価に関する個人面談を行います。(八巻貴穂・古市孝義・小川好子) 【授業時間外の学修内容】授業資料・実習記録の整理をし、今後の学習への課題を明確にすること。	L

テキスト	白井孝子編、2014年、『介護福祉士養成テキストブック9 介護総合演習』、ミネルヴァ書房、9784623070251 適宜レジュメを配付します
参考書	「介護概論」及び「介護過程」、「介護技術演習」のテキスト

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			30%		50%	20%
補足			事前学習、提出物、報告集			口頭発表、グループワーク

課題に関するフィードバックの方法	実習準備のために必要な課題、レポートなどはその都度確認し指導を行う。	
実務経験と授業の関連	経験内容	
	科目との関連	
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。	
資格	[健]介護福祉士_必修	
その他	2年後学期(集中)の「介護実習Ⅰ」と3年前学期(集中)の「介護実習Ⅱ」を連続・並行で履修すること。 『介護実習要項』に定める履修要件を満たしていること。 本科目の受講状況その他により介護実習への準備不足と評価した場合は「介護実習Ⅱ」の履修を延期する場合がある。 「介護実習指導Ⅰ」を履修済みであること。	

科目名	介護実習指導Ⅲ	授業形態	演習・実習	単位数	1
教員名	八巻　貴穂、梶　晴美、竹田　千春、古市　孝義				

授業の目的	ねらい	本科目は、介護実習の総まとめとして展開され、利用者の生活を包括的にとらえる視点を育成する。介護福祉士に必要な社会性や人間性を育成する場とし、個々の学生の自己覚知を促し、「訪問介護実習」へ意欲的に取り組む姿勢を育成する。在宅で生活する利用者の生活状況を理解し、介護サービスの在り方を考える。在宅生活支援の特質を理解すると同時に、施設で生活する利用者支援との共通性も確認し、介護福祉サービスの生活支援の意義を理解する。
	到達目標	(1)訪問介護サービスの発達の沿革と在宅生活を支える制度を理解する。 (2)高齢者の在宅生活を支える訪問介護の現状と課題を学ぶ。 (3)障がい者の在宅生活を支える訪問介護の現状と課題を学ぶ。 (4)訪問介護実習報告会に参加し、多様な在宅支援のあり様を学ぶ。 (5)介護実習全体をとおしての介護福祉の理解を確認する。

授業の計画					
第1回	【テーマ】「介護実習指導Ⅲ」ガイダンス 【計画内容】介護実習＜第7段階＞の意義を理解します。訪問介護実習に必要な記録用紙などを配付し、個々の実習課題を検討するなど、実習の準備学習をスタートします。 (八巻貴穂・古市孝義) 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容と「介護実習要項」の該当箇所を読んで講義に臨むこと。	A・H	第9回	【テーマ】訪問介護実習① 【計画内容】配属された実習機関において、オリエンテーションを受けます。(八巻貴穂・古市孝義) 【授業時間外の学修内容】これまでの学びを復習して、訪問介護実習に臨むこと。	D
第2回	【テーマ】ホームヘルプサービスの制度の概要 【計画内容】高齢者福祉、障害者福祉の変遷の中でのホームヘルプサービス確立の沿革を理解します。(八巻貴穂・古市孝義) 【授業時間外の学修内容】配付資料とともに、『介護の基本Ⅰ』p.76-p.79を読んでおくこと。	A・H	第10回	【テーマ】訪問介護実習② 【計画内容】配属された実習機関において訪問介護員に同行して利用者宅を訪問し、訪問介護の実際を学びます。 (八巻貴穂・古市孝義) 【授業時間外の学修内容】これまでの学びを復習して、訪問介護実習に臨むこと。	D
第3回	【テーマ】訪問介護の視点と役割(高齢者編) 【計画内容】介護保険制度における訪問介護サービスについて学び、映像資料などから在宅で暮す高齢者のニーズや訪問介護の視点と役割を考えます。(八巻貴穂・古市孝義) 【授業時間外の学修内容】配付資料に示す制度や専門用語について調べておくこと。	A・H	第11回	【テーマ】訪問介護実習③ 【計画内容】配属された実習機関において訪問介護の反省会を行い、各自の訪問介護実習を振り返ります。 (八巻貴穂・古市孝義) 【授業時間外の学修内容】訪問した事例についてまとめ、質問・考察を整理しておくこと。	D・L
第4回	【テーマ】訪問介護の視点と役割(障がい者編) 【計画内容】障害者総合支援制度における訪問介護サービスについて学び、映像資料などから在宅で暮す障がい者のニーズや訪問介護の視点と役割を考えます。(古市孝義) 【授業時間外の学修内容】配付資料に示す制度や専門用語について調べておくこと。	A・H	第12回	【テーマ】訪問介護実習のまとめ①　記録の整理 【計画内容】訪問介護実習後の学びを報告用記録用紙に整理して学びを深めます。訪問介護実習の全記録を見直し、各自が報告会資料を作成します。(八巻貴穂・古市孝義) 【授業時間外の学修内容】テキスト『介護総合演習』の第8章を読んで授業に臨むこと。	A・H・J
第5回	【テーマ】訪問介護実習の記録、事前学習について 【計画内容】訪問介護実習の記録について、記録の視点や方法を説明します。事前学習については、各自のテーマに沿って調べを進めます。(八巻貴穂・古市孝義) 【授業時間外の学修内容】配付資料をよく読むこと。各自の事前学習テーマについて調べること。	A・H	第13回	【テーマ】訪問介護実習のまとめ②　報告会の準備 【計画内容】報告会に向けて、報告会資料のまとめ方の指導を受けながら、学びが深まるよう報告内容と質疑応答について考えます。(八巻貴穂・古市孝義) 【授業時間外の学修内容】報告会に向けて、口頭報告の原稿準備・発表準備をすること。	A・H・J
第6回	【テーマ】事前学習発表の準備 【計画内容】各自の事前学習テーマについて調べ、発表資料の作成をします。(八巻貴穂・古市孝義) 【授業時間外の学修内容】各自の事前学習テーマについて、資料および発表原稿を作成すること。	G	第14回	【テーマ】訪問介護実習報告会 【計画内容】実習学生の報告から、それぞれの個別的な学びを共有し、意見交換することで学びを深めます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】事前に配付した「報告資料集」を熟読してしておくこと。	F
第7回	【テーマ】事前学習の発表 【計画内容】各自の事前学習テーマに沿った発表と質疑応答を行い、訪問介護実習の準備とします。(八巻貴穂・古市孝義) 【授業時間外の学修内容】「事前学習発表資料集」を読み、質疑応答の準備をすること。	F	第15回	【テーマ】在宅事例の検討 【計画内容】各自が実習で出会った在宅介護の事例について、「報告資料集」に基づき事例検討を行い、意見交換を行いながら在宅介護および在宅生活支援について理解を深めます。 (八巻貴穂・古市孝義) 【授業時間外の学修内容】各自の訪問事例を整理し、報告する準備をすること。	H・J
第8回	【テーマ】訪問介護実習事前指導 【計画内容】訪問介護実習の諸注意について、最終的な確認をします。また、配属先の実習機関の概要と実習内容を確認します。(八巻貴穂・古市孝義) 【授業時間外の学修内容】テキスト『介護総合演習』の第6章を読んで授業に臨むこと。	A・H			

テキスト	白井孝子編、2014年、『介護福祉士養成テキストブック9 介護総合演習』、ミネルヴァ書房、9784623070251 適宜プリントを配付します
参考書	「介護概論」、「介護過程」、「介護技術演習」のテキスト

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%		30%	30%
	補足			事前学習・レポート・報告会資料			実習・実習記録・発表

課題に関するフィードバックの方法	実習に必要な課題についてはその都度確認し指導します。		
実務経験と授業の関連	該当	経験内容	梶晴美 / 看護師　竹田千春、古市孝義、八巻貴穂 / 介護福祉士
		科目との関連	上記に基づく業務経験をもとに実務に即した指導を行う。
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。		
資格	[健]介護福祉士_必修		
その他	「介護実習指導Ⅱ」「介護実習Ⅱ」を修得済みであること。 本科目の受講状況その他により介護実習への準備が不足と判断した場合は、訪問介護実習を延期する場合があります。		

科目名	医療的ケア演習	授業形態	演習	単位数	1
教員名	竹内　美幸				
授業の目的 ねらい	医療的ケアⅠ・Ⅱで学んだ基礎知識をもとに、たんの吸引、経管栄養に関する基本的な仕組み、留意点、方法などの実践を目指す。				
授業の目的 到達目標	(1)基本的な知識を理解した上で、安全な喀痰吸引(口腔内・鼻腔内・気管カニューレ内)が評価項目の手順通りに実施できる。 (2)基本的な知識を理解したうえで、安全な経管栄養(胃ろう、経鼻経管栄養)が評価項目の手順通りに実施できる。				

授業の計画					
第1回	【テーマ】授業ガイダンス 【計画内容】15回の授業展開、演習の進め方について説明します。 【授業時間外の学修内容】医療的ケアⅠ・Ⅱで学んだ基礎知識を復習しておく。	A・N・B・E	第9回	【テーマ】気管カニューレ内喀痰吸引演習3 【計画内容】気管カニューレ内喀痰吸引をシミュレーターを用いて、評価項目に沿って手順通りに実施する 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所と配付プリントに目を通しておくこと。	B・E・L
第2回	【テーマ】喀痰吸引演習1 【計画内容】口腔内喀痰吸引をシミュレーターを使って、手順通りに実施する。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所、プリントに目を通しておくこと。	B・E・L	第10回	【テーマ】胃ろう経管栄養演習1 【計画内容】胃ろう経管栄養をシミュレーターを用いて、評価項目に沿って手順通りに実施する 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所と配付プリントに目を通しておくこと。	B・E・L
第3回	【テーマ】喀痰吸引演習2 【計画内容】口腔内喀痰吸引をシミュレーターを用いて、評価項目に沿って手順通りに実施する。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所と配付プリントに目を通しておくこと。	B・E・L	第11回	【テーマ】胃ろう経管栄養演習2 【計画内容】胃ろう経管栄養をシミュレーターを用いて、評価項目に沿って手順通りに実施する 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所と配付プリントに目を通しておくこと。	B・E・L
第4回	【テーマ】口腔内喀痰吸引演習3 【計画内容】口腔内喀痰吸引をシミュレーターを用いて、評価項目に沿って手順通りに実施する。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所と配付プリントに目を通しておくこと。	B・E・L	第12回	【テーマ】胃ろう経管栄養演習3 【計画内容】胃ろう経管栄養をシミュレーターを用いて、評価項目に沿って手順通りに実施する 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所と配付プリントに目を通しておくこと。	B・E・L
第5回	【テーマ】鼻腔内喀痰吸引演習1 【計画内容】鼻腔内喀痰吸引をシミュレーターを用いて、評価項目に沿って手順通りに実施する。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所と配付プリントに目を通しておくこと。	B・E・L	第13回	【テーマ】経鼻経管栄養演習1 【計画内容】経鼻経管栄養をシミュレーターを用いて、評価項目に沿って手順通りに実施する 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所と配付プリントに目を通しておくこと。	B・E・L
第6回	【テーマ】鼻腔内喀痰吸引演習2 【計画内容】鼻腔内喀痰吸引をシミュレーターを用いて、評価項目に沿って手順通りに実施する。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所と配付プリントに目を通しておくこと。	B・E・L	第14回	【テーマ】経鼻経管栄養演習2 【計画内容】経鼻経管栄養をシミュレーターを用いて、評価項目に沿って手順通りに実施する 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所と配付プリントに目を通しておくこと。	B・E・L
第7回	【テーマ】気管カニューレ内喀痰吸引　演習1 【計画内容】気管カニューレ内喀痰吸引をシミュレーターを用いて、評価項目に沿って手順通りに実施する。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所と配付プリントに目を通しておくこと。	B・E・L	第15回	【テーマ】全体の振り返りとまとめ 【計画内容】演習のまとめと陥りやすい危険因子について確認する 【授業時間外の学修内容】全体を振り返り、理解不足な部分を整理しておく。	B・L
第8回	【テーマ】気管カニューレ内喀痰吸引演習2 【計画内容】気管カニューレ内喀痰吸引をシミュレーターを用いて、評価項目に沿って手順通りに実施する 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所と配付プリントに目を通しておくこと。	B・E・L			

テキスト	介護福祉士養成講座編集委員会編、2019年、『最新介護福祉士養成講座15』、中央法規出版、978-4-8058-5775-5
参考書	プリントを使用する

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		80%			20%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連	該当	経験内容	看護師
		科目との関連	看護師の経験を活かし、介護福祉士が実施できる医療的ケアについて教授する。

質問への対応	授業終了時随時、直接担当者まで
資格	[健]介護福祉士_必修
その他	休んだ場合、補講対象となります。 規定回数をクリアできなければ、単位認定ができない為資格取得できなくなります。

講義要綱

SYLLABUS

生涯スポーツ学部　4年次

2021年4月　発行

北翔大学・北翔大学短期大学部

〒069-8511　江別市文京台23番地

TEL（011）386－8011

FAX（011）387－1542